

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	A
施策の体系(柱)	1	農地や農業用施設などの整備	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の集積・集約、耕作放棄地解消 ・健全農地確保に向けた鳥獣・病害虫対策強化 ・家畜伝染病予防に向けた防疫体制強化 ・生産性向上に向けた、ほ場、用水路、取水口、農道の基盤整備 ・水路を含む農業用施設の維持・長寿命化支援 ・農地・農業用施設の被災への備え、速やかな復旧体制構築
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な営農を支える農業基盤、農業用施設等の整備や維持管理の実施による農業生産性の向上 ・意欲ある担い手への農地の集積・集約による耕作放棄地の解消

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	農地費	農業用施設を管理し施設の有効活用・長寿命化を図る	4,483	農政課	A	
2	土地改良事業助成金	地元が土地改良施設の改修等を行う際の70%助成を行う	15,236	農政課	A	●
3	多面的機能支払交付金事業	農地の多面的な機能を維持するために各活動組織が行う維持活動等への補助	94,823	農政課	A	●
4	県営かんがい排水事業負担金	県営下井手及び上井手改修工事に伴う負担金	572	農政課	A	
5	畜産業費	鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が万一発生した場合の初動防疫体制の事前整備	3,366	農政課	A	
6	鳥獣害防止対策事業	鳥獣害により農作物に被害が及ばないよう電気柵等の設置費用補助	1,827	農政課	A	
7	有害鳥獣捕獲事業	有害鳥獣による農作物被害に対処するため、大津町有害鳥獣捕獲隊・大津町広域協定運営委員会に対する助成	2,799	農政課	A	
8	農地管理費	農業振興地域整備計画に基づく農振農用地の適正管理	196	農政課	A	
9	農業委員会費	耕作放棄地の解消、担い手への農地集積・集約化などの農地の保全・有効活用を推進	12,680	農業委員会	B	●
10	矢護川地区 経営体育成基盤整備事業	県営圃場整備事業（農地中間管理機構関連農地整備事業）の実施	6,330	農政課	A	●
11	農地中間管理機構事業	意欲ある担い手に農地を集積・集約化するため、農地中間管理機構を通じた農地の貸借を推進	2,363	農政課	A	
12	人・農地問題解決加速化支援事業	地域の話合いを基本に地域の中心となる担い手を決定・育成し、農地集積による経営の大規模化・効率化を図るための「地域計画(人・農地プラン)」の策定	19,596	農政課	A	
13	菊池台地農業用施設更新事業	護川畑総、大津北部畑総事業で整備した幹線用水管の機能診断・施設保全計画に基づいた更新	17,259	農政課	A	●

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	12	1	0	0	13		A
合計点数	1200	75	0	0	1275	98.1	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	多面的機能支払交付金事業						解決した課題	広域化（29組織を統一）したことにより、交付金を効率的に活用できる体制となった。
事業概要	農地の多面的な機能を維持するために各活動組織が行う維持活動等への補助						残された課題	高齢化により今後10年の間に実作業に支障が出てくることが予想される。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		94,823 千円			今後の施策展開の方向性	自動草刈り機等の機械導入等で、高齢化による作業効率の低減防止をしていく必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
活動組織	組織	1	1	1		1		

事業名	菊池台地農業用施設更新事業						解決した課題	令和3年度の事業として、菊池台地のモデル地区として機能診断・保全計画策定事業が採択された。本年度調査実施。R7年度は実施計画を策定する。
事業概要	護川畑総、大津北部畑総事業で整備した幹線用水管の機能診断・施設保全計画に基づいた更新						残された課題	パイプライン更新のための延長がまだ残っている。また、県宮畑総事業における農道のアスファルト舗装事業が追加された。引き続き建設課との協議を行っていく必要がある。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		17,259 千円			今後の施策展開の方向性	機能保全計画に基づき、令和22年度（予定）まで、更新整備を行っていく。また、一部農道の整備も並行して行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
パイプライン更新	m	0	0	0		8005		

事業名	土地改良事業助成金						解決した課題	農業用施設の修繕や更新により、長寿命化を図ることができた。
事業概要	地元が土地改良施設の改修等を行う際の70%助成を行う						残された課題	多面的機能支払交付金事業の活動区域に入っていない地区の土地改良事業を本事業でどの程度カバーできるか検討する必要がある。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		15,236 千円			今後の施策展開の方向性	多面的機能支払交付金事業のエリア見直しにより、本事業の縮小を図っていきたい。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
事業費補助	件	9	11	14		10		

事業名	農業委員会費						解決した課題	農地中間管理事業推進法での貸借権設定により、担い手への集積率は目標値を上回っている。
事業概要	耕作放棄地の解消、担い手への農地集積・集約化などの農地の保全・有効活用を推進						残された課題	耕作条件不利地（狭小、不整形、大型機械利用困難、耕作進入路無し、鳥獣害、山間部等）の耕作放棄地解消は困難な状況。
担当課	農業委員会	R6事業費 (千円)		12,680 千円			今後の施策展開の方向性	R7年度以降の農地貸借は関連法の改正に伴い中間管理法の農地利用等促進計画に1本化された。併せて、担い手への農地集積を具現化（地図化）する地域計画がR6年度中に策定されたため、担い手への農地集積が重要な取り組みとなる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
耕作放棄地の解消率	%	2.5	18.1	14.9		8.5		

事業名	矢護川地区経営体育成基盤整備事業						解決した課題	上中・真木地区については、令和6年7月に計画変更の採択となった。
事業概要	県営圃場整備事業（農地中間管理機構関連農地整備事業）の実施						残された課題	片俣地区の事業計画の変更。下中・御願所地区の圃場整備事業への同意推進や未相統地の解消。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		6,330 千円			今後の施策展開の方向性	上中・真木地区は令和7年11月より工事着手予定としている。また、次期地区として片俣地区の準備を進めており、令和10年度に事業着手ができるように準備を進めている。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
面工事	ha	0	0	0		100		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 A
基本施策	1	農林業の振興	
施策の体系(柱)	2	多様な担い手の育成・仕組みづくり	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人設立や機能強化支援による営農体制確立 ・ICTを活用したスマート農業や作業委託等の支援 ・農業の安定的な経営を支える総合的な支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を支える人や組織等の支援による営農体制の確立及び担い手の確保と育成 ・人・農地プランや認定農業者制度を活用し、農業の安定的な経営を支える仕組みを構築する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	担い手育成総合支援事業	地域農業の担い手に対する支援や各種交付金事業	42,795	農政課	A	●
2	農業指導費（認定農業者協議会）	今後の地域農業を担う認定農業者の育成と連携を推進	156	農政課	B	●
3	農業制度資金利子補給事業	県・町・関係機関が定める要綱等に基づき貸付けされた農業制度資金に対し、各機関が行う利子補給	741	農政課	A	●
4	人・農地問題解決加速化支援事業（再掲）	地域の話合いを基本に地域の中心となる担い手を決定・育成し、農地集積による経営の大規模化・効率化を図るための「地域計画(人・農地プラン)」の策定	19,596	農政課	A	●
5	鳥獣害防止対策事業（再掲）	鳥獣害により農作物に被害が及ばないよう電気柵等の設置費用補助	1,827	農政課	A	
6	有害鳥獣捕獲事業（再掲）	有害鳥獣による農作物被害に対処するため、大津町有害鳥獣捕獲隊・大津町広域協定運営委員会に対する助成	2,799	農政課	A	
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	5	1	0	0	6		A
合計点数	500	75	0	0	575	95.8	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	担い手育成総合支援事業						解決した課題	新たに2名が認定新規就農者、7名が認定農業者となり、各種補助事業を活用し、機械導入等に取り組むことができた。また、新たにスマート農業機械導入の補助を行い、農作業の効率化・省力化を図り、経営体の確保につながった。サツマイモ基腐病については、発生圃場等の土壌消毒に要する費用を補助対象に組み込み、基腐病対策に係る補助の見直しを行った。
事業概要	地域農業の担い手に対する支援や各種交付金事業						残された課題	高齢化により認定農業者の更新をされない人も出てきており、担い手の確保が難しくなっている。また、サツマイモ基腐病については、消毒等の対策を周知していく必要がある。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		42,795			今後の施策展開の方向性	スマート農業機械導入の補助を行い、農作業の効率化・省力化を図り、既存の経営体の維持と新たな担い手の発掘を推進する。また、サツマイモ基腐病の防除強化及び生産振興に向けた取り組みを行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
農業の中心となる経営体	経営体	188	187	196		178		

事業名	人・農地問題解決加速化支援事業（再掲）						解決した課題	農業者へのアンケート調査や地域における協議の場の設置を経て、農業経営基盤強化促進法の改正に伴う地域計画の策定及び公表を実施した。
事業概要	地域の話合いを基本に地域の中心となる担い手を決定・育成し、農地集積による経営の大規模化・効率化を図るための「地域計画（人・農地プラン）」の策定						残された課題	地域計画の実現及びより地域に根差した計画への修正を図っていく必要がある。また、計画の変更に伴う事務運用の整理が課題として挙げられる。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		19,596			今後の施策展開の方向性	地域計画の実現及びより地域に根差した計画への修正を図っていくことで農地や担い手の確保をしていき、効率的・効果的に継続的な農業の振興を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
プラン策定地区数	地区	9	9	9		9		

事業名	農業制度資金利子補給事業						解決した課題	10件の申請に対し支給を行った。
事業概要	県・町・関係機関が定める要綱等に基づき貸付けされた農業制度資金に対し、各機関が行う利子補給						残された課題	認定新規就農者や認定農業者等が規模拡大に取り組めるように農業資金制度の周知が必要となる。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		741			今後の施策展開の方向性	県・町・関係機関が定める要綱等に基づき貸し付けされた農業制度資金のため、今後も要綱等に基づいた運営を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
農業の中心となる経営体	経営体	188	187	196		178		

事業名	農業指導費（認定農業者協議会）						解決した課題	収入保険制度の研修会を実施し、農業経営安定に向けた取り組みを行った。また、先進地研修（全国農業担い手サミット及び九州農業担い手サミット）は令和5年度よりも多くの参加があり、他市町の認定農業者協議会員と意見交換を行うことができた。
事業概要	今後の地域農業を担う認定農業者の育成と連携を推進						残された課題	高齢化により認定農業者の更新をされない人が多く、担い手の確保が難しくなっている。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		156			今後の施策展開の方向性	研修会の参加や会員の相互交流、関係機関との連携により、農業の担い手の中心となる認定農業者の育成と更なる発展を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
協議会会員数	名	122	115	110		130		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 B
基本施策	1	農林業の振興	
施策の体系(柱)	3	農産物のブランド化と流通の促進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物ブランドの確立、PR・販路開拓推進 ・からいも（甘藷）の更なる付加価値創出に向けた取り組み推進 ・優良牛の導入や生産基盤拡充等の補助事業推進 ・地産地消の推進による安定した販路開拓
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド確立を通じた認知度向上と差別化による消費拡大 ・町内農業団体と連携した地産地消の推進による町農畜産物の振興と安定した販路開拓

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	経営所得安定対策推進事業	国の施策のもと、米の生産数量目標調整のため、JAと組織する「大津町農業再生協議会」の推進費補助	2,981	農政課	A	●
2	畜産振興対策事業	優良系統種牛豚導入・保留への助成 害虫駆除・畜舎消毒等、環境対策への助成	5,230	農政課	B	●
3	農業指導費（農産振興対策事業）	JA菊池の各生産部会等を活用し、流通対策、持続的農業対策等の事業効果を検証	2,600	農政課	B	●
4	畜産業費（再掲）	鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が万一発生した場合の初動防疫体制の事前整備	3,366	農政課	A	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		B
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	畜産振興対策事業						解決した課題	優良畜牛導入事業、乳質改善事業等により高品質な畜産物の生産につなげ、畜産経営の安定化と地域ブランド化を推進することができた。
事業概要	優良系統種牛豚導入・保留への助成 害虫駆除・畜舎消毒等、環境対策への助成						残された課題	町農畜産物のPR、消費拡大、地産地消の推進に向け、農業関係団体が持つブランドとの協力を強化していく。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		5,230			今後の施策展開の方向性	菊池管内ブランド牛等の確立を目指した事業の推進に向け、関係機関との協議を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
菊池管内ブランドの確立	品目	0	0	0		1		

事業名	経営所得安定対策推進事業						解決した課題	大津町農業再生協議会を中心に経営所得安定対策及び産地交付金等を活用し戦略作物の生産振興及び地域農業の振興を図るため、作付確認等現地対応を行った。
事業概要	国の施策のもと、米の生産数量目標調整のため、JAと組織する「大津町農業再生協議会」の推進費補助						残された課題	高齢化による農家減少や集落営農法人のオペレーターの高齢化に伴い、水田農業全体の労働力不足が進んでいる。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		2,981			今後の施策展開の方向性	飼料用米・麦・大豆等の戦略作物を中心に、二毛作・構築連携を推進し、水田のフル活用及び磁力維持向上と低コスト化による農家の所得向上を図ることで、水田の農業全体の担い手を確保していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
戦略作物作付面積	ha	981	1,006	986		950		

事業名	農業指導費（農産振興対策事業）						解決した課題	ゆうパックカタログ販売や販売促進等による消費拡大やPR強化、甘藷品質向上販売等の持続的農業対策事業の実施によるサツマイモ基腐病対策等により、農家所得の向上と経営の安定を図った。
事業概要	JA菊池の各生産部会等を活用し、流通対策、持続的農業対策等の事業効果を検証						残された課題	高齢化や労働力不足、高齢者育成への対策を検討する必要がある。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		2,600			今後の施策展開の方向性	安心・安全な農産物生産の支援と町独自ブランド確立による農家所得向上を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町独自ブランドの確立	品目	0	0	0		1		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	A
施策の体系(柱)	4	林業基盤の整備と適正な維持管理	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画に基づく計画的な整備や維持管理 ・木材需要の拡大支援、担い手の確保・育成 ・森林整備や林内道路などの生産基盤整備 ・森林保全に対する町民意識醸成
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の維持管理や活用のための支援等の実施による適正な森林の保全 ・森林とのふれあい・憩いの場の整備による森林の保全に対する町民の意識の醸成

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	林業総務費	町有林保全のための巡視費用、保険料、負担金	17,084	農政課	A	●
2	町有林保育事業	下刈、間伐、枝打ち、植栽等	49,126	農政課	A	●
3	私有林間伐促進事業	私有林間伐補助	3,400	農政課	A	
4	森林公園整備事業	森林公園トイレ清掃及び森林公園内道路改修等施設保全	62,760	農政課	B	●
5	林業振興費	林地台帳管理システム保守委託	330	農政課	A	
6	熊本県特定鳥獣適正管理事業	ニホンジカの捕獲、鳥獣処分手数料	72	農政課	A	
7	森林管理意向調査事業	森林管理意向調査		農政課		
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	5	1	0	0	6		A
合計点数	500	75	0	0	575	95.8	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	森林公園整備事業						解決した課題	森林公園内の遊歩道630.8m、及び作業道舗装50.0mを整備済み。
事業概要	森林公園トイレ清掃及び森林公園内道路改修等施設保全						残された課題	町民の公園への認知度が低い状況である。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		62,760			今後の施策展開の方向性	森林公園を活用したイベントを開催して町民への認知度を上げていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
トイレ清掃	箇所	2	2	2		2		

事業名	町有林保育事業						解決した課題	下刈や間伐等の保育事業を行うことにより森林の持つ多面的機能の維持が出来た。
事業概要	下刈、間伐、枝打ち、植栽等						残された課題	戦後植林された針葉樹が適正伐期を迎えているが、木材価格が安定せず収入見込みがたてづらい。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		49,126			今後の施策展開の方向性	地下水涵養能力を調査し、協力企業を募り持続可能な森林管理を図っていきたい。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町森林施策計画執行率	%	100	100	100		100		

事業名	林業総務費						解決した課題	水源涵養や山地災害防止等、多くの公益的機能を持つ森林を町民の財産として守り育てる意識醸成が少しずつではあるが図られている。
事業概要	町有林保全のための巡視費用、保険料、負担金						残された課題	全国的に国産材の需要が上昇しているが、林業自体の活性化に繋がっていない。
担当課	農政課	R6事業費 (千円)		17,084			今後の施策展開の方向性	森林所有者の高齢化や未相続により森林環境の悪化が懸念される為、森林環境譲与税を活用して環境保全に繋げていきたい。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町有林野面積維持	ha	600	600	600		600		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 A
基本施策	2	工業の振興	
施策の体系(柱)	1	企業誘致の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町のアドバンテージを生かした戦略的企業誘致 ・町内産業構造の多様化、工業活性化 ・誘致候補先企業への迅速かつ的確なプロモーションやセールス
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の推進による新たな企業進出や雇用の拡大 ・大津町の特性に応じた新たな成長分野の企業の進出の検討

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	企業誘致推進事業	企業誘致は、本町の工業振興はもとより、町発展のための大きな役割を担っている。そのために、新たな企業の誘致や、町内企業が安定して操業を行えるように側面からの支援を行っている。	52,365	企業振興課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	企業誘致推進事業							解決した課題	TSMCの進出発表以降、関連企業等の進出や立地相談が増加している。企業誘致パートナー制度により金融機関や不動産関係から物件情報を入手しながら、企業誘致を行うことができた。	
事業概要	企業誘致は、本町の工業振興はもとより、町発展のための大きな役割を担っている。そのために、新たな企業の誘致や、町内企業が安定して操業を行えるように側面からの支援を行っている。									
担当課	企業振興課		R6事業費 (千円)		52,365			千円	残された課題	TSMC第2工場進出決定もあり、更なる企業進出相談が予想される。早急に企業進出の受け皿となる工業団地整備を進めていく必要がある。
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
新規企業立地協定数 (増設含む)		件／年	4	5	13		4	今後の施策展開の方向性	民間事業者（金融機関・不動産関係等）との連携を強化し、売買可能な民地の情報把握・情報提供を行いながら企業誘致を進行するとともに、町の工業団地整備を早期に進めていく。	

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課				R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	2	工業の振興	A
施策の体系(柱)	2	工業基盤の整備および維持管理	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 工業用水道の適切な維持管理、工業団地内インフラ環境整備推進 工場用地の確保に向けた用地の調査・分析 産業道路などの環境整備推進 必要に応じた用途指定の調整や基盤整備推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 新規工業団地の早期整備及び企業への売却 新規工業団地周辺のインフラ整備

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	工業団地整備事業	企業進出の受け皿となる工業用地を確保するため、新たに工業団地を整備する。	31,620	企業振興課	A	●
2	大津町工業用水道事業	中核工業団地内における、工業用水道の安定供給	96,306	工業用水道課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		A
合計点数	200	0	0	0	200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	大津町工業用水道事業						解決した課題	給水開始から３０年以上経過しており施設の老朽化が不安視されていたが、中長期的な設備の更新計画を策定し更新を進めており、第２水源地の受電設備の更新を完了することができた。
事業概要	中核工業団地内における、工業用水道の安定供給						残された課題	現状６社に給水を行っている。工業用水道の安定供給のため、更新計画をもとに耐用年数が経過し老朽化した施設の更新を計画的に進める必要がある。
担当課	工業用水道課		R6事業費 (千円)		96,306 千円			今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
工業用水の水質検査項目の基準値以内数		項目	10	10	10		10	

事業名	工業団地整備事業							解決した課題	事業同意のための用地交渉を継続的に実施した。併せて、地質調査や基本設計業務委託の発注も行い、着実に事業を進めてきた。
事業概要	企業進出の受け皿となる工業用地を確保するため、新たに工業団地を整備する。							残された課題	事業同意は全地権者から取り付けられたが、契約締結は次年度以降となった。 1日でも早く、整備完了できるようスピードアップを図る必要がある。
担当課	企業振興課		R6事業費 (千円)		31,620			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
購入した土地面積		ha	0	0	0		10		

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 A
基本施策	2	工業の振興	
施策の体系(柱)	3	人材の確保	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地場企業と被雇用者を結び取り組み推進 ・Iターン、Uターン等に向けた情報発信、マッチング推進 ・若年層の情報認知や興味関心を高める周知・啓発活動
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の地元就職率、定着率の向上 ・Iターン、Uターン等による県外からの人材確保

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	雇用確保推進事業	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取り組みなどを行う。	1,000	企業振興課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	雇用確保推進事業							解決した課題	企業連絡協議会主催では、企業ガイダンスや学校の進路担当者との意見交換、工場見学会を実施するなど、地元就職のメリットなどをアピールできた。また、熊本県産業エキスポにも出展し、参加した高校生に対し、町のPRや企業紹介を行った。
事業概要	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。								
担当課	企業振興課		R6事業費 (千円)		1,000 千円			残された課題	企業が求める人材と就職を希望する学生とのギャップを精査し、確実な人材確保につなげていくために、学校や企業などと意見交換等を行いながら、雇用につなげる事業を更に展開する必要がある。
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内高校における町内企業就職率		%	19.3	24.6	28.1		20	今後の施策展開の方向性	高校生向けの企業ガイダンスだけではなく、大学・専門学校等に通う学生等にも、地元企業をアピールする機会を設けるなど、継続的に事業を展開する。

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 B
基本施策	3	商業の振興	
施策の体系(柱)	1	中心市街地の機能強化と周辺地域への誘導	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源と食のコラボレーション等の施策検討 ・肥後大津駅や周辺商業施設に車でアクセスしやすい環境整備 ・大型ショッピングモール誘致推進 ・シティプロモーションによる魅力の外部向け情報発信推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・肥後大津（阿蘇くまもと空港）駅周辺においてハード・ソフト事業を実施することによる商店街の活性化 ・町商工会や明日の観光大津を創る会、肥後おおづ観光協会などとの連携による商店街の活性化や観光の振興 ・宿場町としての景観の創出により訪れる人の増加

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	商工会助成金	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。	12,676	商業観光課	B	●
2	店舗改装等利子補給事業	改装等のために融資を受けた中小企業借入金の利子を援助する。	885	商業観光課	B	
3	たばこ販売協同組合助成金	たばこ販売協同組合の活動支援をすることで、たばこ販売拡大を目指し経営の安定を図るための事業に補助を行う。	200	商業観光課	A	●
4	企業誘致推進事業（再掲）	企業誘致は、本町の工業振興はもとより、町発展のための大きな役割を担っている。そのために、新たな企業の誘致や、町内企業が安定して操業を行えるように側面からの支援を行っている。	52,365	企業振興課	A	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		B
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	商工会助成金						解決した課題	TSMCの進出以後、町内の経済が大きな変化を遂げる中地域商工業者への経営革新やIT活用支援、税務相談などを行い、事業者の経営安定化を図った。また、創業者支援、金融機関と町との情報交換会を実施した。
事業概要	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。						残された課題	
担当課	商業観光課	R6事業費 (千円)		12,676 千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		新規加入がある一方で脱会する商工業者もいる。また、新型コロナウイルス感染症関連の相談も多く、支援の充実を図る必要がある。 町の経済の活性化を図るには、商工業者の振興が不可欠であり、各種相談や講習会等を実施する大津町商工会へ支援を行う。
経営相談件数	件	1431	906	832		1,500		

事業名	たばこ販売協同組合助成金						解決した課題	美化活動や未成年者の喫煙防止活動等をと し、喫煙者のマナー向上につながった。
事業概要	たばこ販売協同組合の活動支援をすることで、たばこ販売拡大を目指し 経営の安定を図るための事業に補助を行う。						残された課題	健康面や嫌煙により、たばこ販売は厳しい状況 が続くと考えられる。また、たばこ農家も減少 する中、たばこを取り巻く環境を注視していく 必要がある。
担当課	商業観光課		R6事業費 (千円)		200 千円			今後の施策展 開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
たばこ税納税額		千円	381,361	383,285	355,966		344,000	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 B
基本施策	3	商業の振興	
施策の体系(柱)	2	地場産業の経営支援	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人材マッチング検討、大津町商工会の機能支援 ・ＩＴやＩＣＴを活用した事業間連携促進 ・既存事業の付加価値創出、新規ビジネス創出推進 ・地場企業への愛着等を養う周知啓発活動
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・人材マッチング検討、大津町商工会の機能支援 ・ＩＴやＩＣＴを活用した事業間連携促進 ・既存事業の付加価値創出、新規ビジネス創出推進

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	商工会助成金（再掲）	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。	12,676	商業観光課	B	●
2	雇用確保推進事業（再掲）	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。	1,000	企業振興課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0	2		B
合計点数	100	75	0	0	175	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	商工会助成金（再掲）						解決した課題	TSMCの進出以後、町内の経済が大きな変化を遂げる中地域商工業者への経営革新やIT活用支援、税務相談などを行い、事業者の経営安定化を図った。また、創業者支援、金融機関と町との情報交換会を実施した。
事業概要	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。						残された課題	新規加入がある一方で脱会する商工業者もいる。また、新型コロナウイルス感染症関連の相談も多く、支援の充実を図る必要がある。
担当課	商業観光課		R6事業費 (千円)		12,676 千円		今後の施策展開の方向性	町の経済の活性化を図るには、商工業者の振興が不可欠であり、各種相談や講習会等を実施する大津町商工会へ支援を行う。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
経営相談件数	件	1,431	906	832		1,500		

事業名	雇用確保推進事業（再掲）						解決した課題	企業連絡協議会主催では、企業ガイダンスや学校の進路担当者との意見交換、工場見学会を実施するなど、地元就職のメリットなどをアピールできた。また、熊本県産業エキスポにも出展し、参加した高校生に対し、町のPRや企業紹介を行った。
事業概要	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。						残された課題	企業が求める人材と就職を希望する学生とのギャップを精査し、確実な人材確保につなげていくために、学校や企業などと意見交換等を行いながら、雇用につなげる事業を更に展開する必要がある。
担当課	企業振興課		R6事業費 (千円)		1,000 千円		今後の施策展開の方向性	高校生向けの企業ガイダンスだけではなく、大学・専門学校等に通う学生等にも、地元企業をアピールする機会を設けるなど、継続的に事業を展開する。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内高校における町内企業就職率	%	19	25	28		20		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 B
基本施策	4	観光の振興	
施策の体系(柱)	1	観光資源の磨き上げおよびPR強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化、自然などの資源を活かした動線づくり、更なる魅力化 ・肥後大津駅周辺から町全体へ向けた賑わいづくり ・民間企業との連携、マーケティング手法活用推進、情報発信強化 ・町のファンづくりとICTを活用した広報戦略
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・肥後大津（阿蘇くまもと空港）駅周辺において、ハード・ソフト事業を実施することによる商店街の活性化 ・ふるさと寄附による町内事業者の活性化及び町外への魅力発信、関係人口の創出

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	地方創生事業	町の地方創生の方向性をまとめた「第2期大津町まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策・事業を進行する。企業版ふるさと納税による寄附金を財源とした事業を行う。	40,111	総合政策課	A	●
2	ふるさと寄附事業	ふるさと寄附を募り、寄附者に対しお礼品を送付する。また、随時新規お礼品の開拓を行う。	358,908	総合政策課	B	●
3	観光振興事業	特産品を広くPRすると共に、地域の特性を活かした観光振興により地域経済の活性化を図る。	11,880	商業観光課	B	●
4	日本一のつつじの里づくり事業	つつじ苗を自治会などに無料配布（道路沿線等の公共施設に植栽）。また、花苗は団体（半額負担）に春と秋に配布して花いっぱい運動を展開している。	360	商業観光課	A	
5	地蔵祭補助金	大津町地蔵祭実行委員会の開催する大津地蔵祭の事業費に対し補助を行い、地域の活性化を図る。	6,500	商業観光課	A	
6	明日の観光大津を創る会助成金	イベントの強化や新たな観光資源の創出を図り、交流人口を増やすための事業に補助を行う。	11,000	商業観光課	A	●
7	大津町ビジターセンター管理費	ビジターセンターの施設管理運営を行う。	18,131	商業観光課	B	●
8	大津町交流センター管理費	交流センターの施設管理、運営を行い、町民の生活向上及び地域の活性化を図る。	5,451	商業観光課	B	
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	4	4	0	0	8		B
合計点数	400	300	0	0	700	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	ふるさと寄附事業						解決した課題	・前年度より多くの寄附を集めることができた ・返礼品数を増やすことができた
事業概要	ふるさと寄附を募り、寄附者に対しお礼品を送付する。また、随時新規お礼品の開拓を行う。						残された課題	・寄附額を上げていくための取り組み ・魅力的な返礼品を増やすこと ・地場産業を活かした返礼品の開発
担当課	総合政策課	R6事業費 (千円)		358,908 千円			今後の施策展開の方向性	・既存返礼品において寄附額を上げるための施策の検討 ・地場産業活性かつ寄附額向上に寄与する魅力的な返礼品の開発
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
ふるさと納税寄附額・E C販売額	千円/年	1,032,454	633,014	742,184		800,000		

事業名	地方創生事業						解決した課題	企業版ふるさと納税を活用し、大津町運動公園にインクルーシブ遊具を整備した。
事業概要	町の地方創生の方向性をまとめた「第2期大津町まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策・事業を進行する。企業版ふるさと納税による寄附金を財源とした事業を行う。						残された課題	・総合戦略に基づく具体的施策・事業の取りまとめと進行管理。 ・振興総合計画と総合戦略の進行管理における運動性の検討。
担当課	総合政策課	R6事業費 (千円)		40,111 千円			今後の施策展開の方向性	次期計画を第7次大津町振興総合計画と併せて策定する。 企業版ふるさと納税による寄附金を財源とした事業を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町の人口	人	35,843	35,945	36,470		36,500		

事業名	大津町ビジターセンター管理費						解決した課題	利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理ができた。また、問い合わせ等に対しても適切に対応できた。
事業概要	ビジターセンターの施設管理運営を行う。						残された課題	観光拠点としての利用法を検討する必要がある。
担当課	商業観光課	R6事業費 (千円)		18,131 千円			今後の施策展開の方向性	肥後大津駅南口を観光の拠点として、今後の活用方法を検討していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
来館者数	人	54,228	80,703	84,800		60,000		

事業名	観光振興事業						解決した課題	観光協会ホームページ、マップ、ポスターと視覚化できるものが増加した、またにぎわい創出として夜市を4回開催することが出来た。
事業概要	特産品を広くPRすると共に、地域の特性を活かした観光振興により地域経済の活性化を図る。						残された課題	持続可能な事業展開を図るため、体験型観光の創出やスポーツコンベンションの推進、ふるさと納税返礼品の開発などを進めていく必要がある
担当課	商業観光課	R6事業費 (千円)		11,880 千円			今後の施策展開の方向性	観光協会の組織体制の安定化を図り、歴史、文化、自然を活かした体験型観光や地元企業と連携した産業観光の創出、スポーツコンベンションの推進など、経済効果につながる事業を展開し、地域の活性化を図る
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
観光入込客数	人	2,173,545	1,511,759	1,598,938		1,600,000		

事業名	明日の観光大津を創る会助成金						解決した課題	つつじ祭りとからいもフェスティバルの2大イベントが実施でき、町のPRと活性化につながった。
事業概要	イベントの強化や新たな観光資源の創出を図り、交流人口を増やすための事業に補助を行う。						残された課題	会員の高齢化や減少による組織の見直しや、イベント経費の増大による事業の見直しが必要。
担当課	商業観光課	R6事業費 (千円)		11,000 千円			今後の施策展開の方向性	「ふれあいの中のふるさとづくり」をもとに、交流人口の増加と地域の活性化を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
観光入込客数	人	2,173,545	1,511,759	1,598,938		1,600,000		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 B
基本施策	4	観光の振興	
施策の体系(柱)	2	滞在型・体験型観光の振興	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅大津やH S R九州等の民間企業との連携・協力体制強化 ・農山村生活、伝統的な武道や文化体験、ヘルスツーリズム等の展開 ・町内目玉施設の活用強化 ・各種団体、近隣市町村との連携、より合理的な協力体制構築推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町商工会や肥後おおづ観光協会等との連携と地域おこし協力隊による地域資源の掘起しや新たな観光資源の創出 ・農業体験や自然と触れ合える体験型観光など、地域特性を活かした観光振興による交流人口（観光客）の拡大

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	観光振興事業（再掲）	特産品を広くPRすると共に、地域の特性を活かした観光振興により地域経済の活性化を図る。	11,880	商業観光課	B	
2	地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活動に対して支援を行う。	8,581	商業観光課	B	●
3	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。	800	商業観光課	B	●
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	3	0	0	3		B
合計点数	0	225	0	0	225	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域おこし協力隊事業						解決した課題	つつじ祭り、からいもフェスティバル、夜市等のポスター・チラシを作成し、広報活動を行うことが出来た。
事業概要	地域おこし協力隊の活動に対して支援を行う。						残された課題	6年度中に任期満了、中途退職が出ており、地域おこし協力隊の採用が出来ていない。
担当課	商業観光課		R6事業費 (千円)		8,581 千円			今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
イベント開催数		回	2	4	2		10	

事業名	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金						解決した課題	「スポーツ・文化と地域づくり」に関する講演会及び住民ワークショップを開催、また、台湾への視察研修を行い、今後の取組みに大いに参考となる内容であり、提案されたアイデアから次年度以降の取組みを行う。
事業概要	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。						残された課題	発足当初から構成組織の状況、課題に変化が見られ、それぞれの組織課題、コミッションとしての取組みについて調査整理が必要。
担当課	商業観光課		R6事業費 (千円)		800		千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
体験型プログラム参加者数		人	612	256	0		200	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	B
基本施策	4	観光の振興	
施策の体系(柱)	3	スポーツコンベンションの推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・大型大会誘致、施設を活かしたスポーツコンベンション推進 ・スポーツ合宿やキャンプの誘致 ・農業、畜産業、商工業、宿泊業、飲食業等との連携体制構築 ・「スポーツの森駅」の新設や近隣への商業施設等誘致検討
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・大型大会誘致や施設を活かしたスポーツコンベンション推進 ・スポーツ合宿やキャンプの誘致

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金（再掲）	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。	800	商業観光課	B	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		B
合計点数	0	75	0	0	75	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	1	健康・保健の充実	A
施策の体系(柱)	1	健康づくりの推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 健康アプリを活用した健康づくり事業実施 運動の定着と民間企業と連携した健康運動事業実施 ライフステージに応じた食育指導や健康教室等推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 健康アプリを活用して健康に対する無関心層も含めた住民へのアプローチを行い、運動習慣を定着化。 (株)ルネサンスが培ってきた民間企業としてのノウハウを生かし、生活習慣としての運動の定着化と注目の拡大を推進。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	健康増進事業	がん検診や健診等における指導、住民の健康づくりに関する事業。	63,591	健康保険課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	健康増進事業							解決した課題	血糖値や血圧などが受診勧奨値の人に保健師等が訪問し、重症化予防の指導を行った。また、健康アプリの登録者がR5年度末と比較して約400人増加した。
事業概要	がん検診や健診等における指導、住民の健康づくりに関する事業。							残された課題	重症化予防訪問指導率が低下しているため、対象者の見直しと訪問体制の整備を行うことで、特に指導が必要な人に適切な訪問指導ができるようにする。
担当課	健康保険課		R6事業費 (千円)		63,591			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
運動習慣の割合		%	39.1	45.6	42.3		50		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価 A
基本施策	1	健康・保健の充実	
施策の体系(柱)	2	保健予防の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムに重点を置いた乳幼児健診等保健指導実施 ・電子申請による健診等申込体制整備 ・電話や訪問による保健指導等強化 ・生活習慣病重症化予防、生活習慣改善に向けた特定保健指導推進 ・各種予防接種、予防啓発活動 ・「こころの健康」の啓発、相談しやすい体制整備
想定する事業の成果	・菊池郡市医師会等に定期と任意の予防接種委託をすることで、住民が必要な時期にワクチンを接種できる体制を整備。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	予防接種事業	定期、任意の予防接種を医療機関に委託し、感染症予防のための予防接種を行う。	139,423	健康保険課	A	●
2	新型インフルエンザ対策事業	新型インフルエンザ等の発生時に迅速かつ適切な対応を行うことができるように体制を整える事業。	26	健康保険課	A	
3	食品監視活動補助金	食品衛生に関する指導等活動費に対し助成を行う。	80	健康保険課	A	
4	母子保健事業	母子保健法に基づく乳幼児健診、妊婦・乳児訪問指導等の保健事業を行い、生涯を通じて健やかな生活をおくるために、望ましい生活習慣の基盤を固めるための保健指導を行うもの。	84,221	健康保険課	A	●
5	養育医療事業	身体の発育が未熟なまま出生し入院が必要な未熟児に対し、指定医療機関で養育に必要な医療給付を行う（母子保健法第20条）	3,544	健康保険課	A	
6	新型コロナウイルスワクチン接種事業	接種希望者全員が接種ができるよう、医師会等に委託し接種体制整備を行う。	29,262	健康保険課	A	●
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	6	0	0	0	6		A
合計点数	600	0	0	0	600	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	予防接種事業							解決した課題	子宮頸がん予防ワクチンのR6年度キャッチアップ対象者へ個別通知や広報、ホームページ、LINEにより周知を実施した。	
事業概要	定期、任意の予防接種を医療機関に委託し、感染症予防のための予防接種を行う。									
担当課	健康保険課		R6事業費 (千円)		139,423			千円	残された課題	子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種期間が延長されたことや風しん追加的対策が予防接種のみ継続となったため、対象者や医療機関へ必要な情報提供を行う。
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
風しん患者発生(菊池保健所)		人	0	0	0		0		今後の施策展開の方向性	定期接種は必要な時期にワクチン接種が受けられるよう、今後も周知啓発を行う。また、帯状疱疹予防接種の開始や四種混合ワクチンの市場流通終了などについて、対象者や医療機関へ必要な情報提供を行う。

事業名	母子保健事業							解決した課題	令和6年4月に「こども家庭センター」を設置し、子育て支援課や関係機関と連携し、妊娠期から子育て期の継続的な支援を行った。	
事業概要	母子保健法に基づく乳幼児健診、妊婦・乳児訪問指導等の保健事業を行い、生涯を通じて健やかな生活をおくるために、望ましい生活習慣の基盤を固めるための保健指導を行うもの。									
担当課	健康保険課		R6事業費 (千円)		84,221			千円	残された課題	課題を抱える妊婦の把握のため、妊娠届出時面談・アセスメントによる要支援者把握を継続し、定期的にフォローしていく必要がある。また、将来的な生活習慣病発症予防のために、早産予防対策や保健指導を継続実施する必要がある。
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
低出生体重児出生率		%	9.8	8.5	7.8		5	今後の施策展開の方向性	令和7年度から開始する「妊婦支援給付金」による経済的な支援とともに伴走型相談支援を行い、妊娠期から子育て期の継続的な支援を実施する。また、産後ケア事業の拡充や母子手帳アプリの導入など母子保健事業の充実を図る。	

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業							解決した課題	令和6年度から定期接種となったが、町内医療機関協力のもとで円滑にワクチン接種事業を行うことができ、高齢者の重症化予防には効果があった。
事業概要	接種希望者全員が接種ができるよう、医師会等に委託し接種体制整備を行う。							残された課題	R6年度から定期接種となったことに伴い接種率が減少した。また、感染法上の位置づけが5類に移行したことで、町内における感染者数の全数把握はできなくなったが、引き続き感染予防対策を行い重症化リスクの軽減に努める。
担当課	健康保険課		R6事業費 (千円)		29,262 千円				今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
60歳以上高齢者の感染率		%	24.4	21.7	-		20		

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価 A
基本施策	1	健康・保健の充実	
施策の体系(柱)	3	地域医療との連携充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・菊池圏域医療機関による休日・夜間の診療体制維持 ・町民への適切な情報提供に基づく救急医療機関の適正利用推進
想定する事業の成果	・菊池圏域4市町で費用の一部分を負担することで、日曜や休日、夜間の診療体制を整える。 ・救急医療体制を構築することで、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる医療体制を維持。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	地域救急医療対策事業	県保健医療計画に基づき、休日・夜間の診療体制を整えることにより地域医療の充実を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる医療体制の構築を図る。	2,887	健康保険課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域救急医療対策事業						解決した課題	菊池圏域の救急指定医療機関の協力により、救急医療体制や休日の診療体制を維持することができた。
事業概要	県保健医療計画に基づき、休日・夜間の診療体制を整えることにより地域医療の充実を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる医療体制の構築を図る。						残された課題	人材不足を理由に1か所の医療機関が令和4年度以降の救急医療輪番制事業の協力を辞退されたことで、他の医療機関の負担が増えている。
担当課	健康保険課	R6事業費 (千円)		2,887 千円			今後の施策展開の方向性	住み慣れた地域で安心して暮らせるための事業であるため、今後も継続して休日や夜間の診療体制を維持していく必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
休日・夜間診療体制	%	100	100	100		100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	1	健康・保健の充実	A
施策の体系(柱)	4	健康保険制度の円滑な運営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な国民健康保険制度の運営 ・健康課題の見える化、重症化予防のための保健事業実施 ・適正な後期高齢者医療制度の運営 ・高齢者の保健事業および介護予防事業等実施 ・こども医療費助成制度の持続的な実施に向けた適切な受診啓発推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・財政運営主体である熊本県と連携した国民健康保険の財政基盤の強化、負担の公平化、医療費適正化 ・特定健診受診率の受診率の向上、保健事業による医療費の抑制 ・後期高齢者医療保険料の収納率向上や医療費の抑制 ・熊本県後期高齢者医療広域連合や介護保険課との連携による切り目のない支援に向けた保健事業の実施 ・こども医療の助成対象の拡大による子どもの疾病の早期治療と適正な受診に向けた啓発

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	国民健康保険特別会計繰出金（一般会計）	以下の法定負担分を一般会計から国民健康保険特別会計に繰出す。 ①保険基盤安定制度分、②事務費分、③出産育児一時金分、④財政安定化支援事業分	306,550	健康保険課	A	●
2	後期高齢者医療費事業（一般会計）	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。	527,875	健康保険課	A	●
3	こども医療費助成事業	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。	223,891	健康保険課	A	●
4	国民健康保険税の賦課徴収事務	国民健康保険税の適正な賦課、徴収、収納管理業務	1,985	税務課	A	
5	国民健康保険特別会計事業	「国民健康保険法」に基づき、国民健康保険被保険者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。	2,882,894	健康保険課	A	●
6	国民健康保険保健事業（保健事業）	健診等の保健事業を実施することにより、国民健康保険被保険者の疾病の早期発見、早期治療を図り、健康管理に寄与すると共に医療費の抑制を図る。	40,968	健康保険課	A	
7	後期高齢者医療特別会計事業	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。	474,023	健康保険課	A	●
8	後期高齢者医療保健事業（保健事業）	後期高齢者の疾病の早期発見、早期治療を図り、健康管理に寄与すると共に医療費の抑制を目的とする。	11,569	健康保険課	A	
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	8	0	0	0	8		A
合計点数	800	0	0	0	800	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	国民健康保険特別会計事業						解決した課題	13年ぶりに税率等の引き上げを行い、単年度収支の赤字軽減となった。
事業概要	「国民健康保険法」に基づき、国民健康保険被保険者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。						残された課題	基金も残高不足となり、やむを得ず法定外繰入を実施した。国保税収入の減少や医療費の増加に伴う国保事業費納付金が増加傾向にあり、単年度収支は赤字が続いており、今後も財政的な負担が継続することが予想される。
担当課	健康保険課	R6事業費 (千円)		2,882,894 千円			今後の施策展開の方向性	国保被保険者の負担に配慮しながら、持続可能な国民健康保険の安定的な財政運営のために法令に基づく継続した事業の実施が必要。令和8年度に向け税率等を分析検討し、不足分については一般会計からの法定外繰入を実施予定。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	340,036	336,110	347,625		330,000		

事業名	国民健康保険特別会計繰出金（一般会計）						解決した課題	13年ぶりに税率等の引き上げを行い、単年度収支の赤字軽減となった。
事業概要	以下の法定負担分を一般会計から国民健康保険特別会計に繰出す。 ①保険基盤安定制度分、②事務費分、③出産育児一時金分、④財政安定化支援事業分						残された課題	基金も残高不足となり、やむを得ず法定外繰入を実施した。国保税収入の減少や医療費の増加に伴う国保事業費納付金が増加傾向にあり、単年度収支は赤字が続いており、今後も財政的な負担が継続することが予想される。
担当課	健康保険課	R6事業費 (千円)		306,550 千円			今後の施策展開の方向性	国保被保険者の負担に配慮しながら、持続可能な国民健康保険の安定的な財政運営のために法令に基づく継続した事業の実施が必要。令和8年度に向け税率等の引き上げを検討し、不足分については一般会計からの法定外繰入を実施予定。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	千円	0	0	100,000		0		

事業名	後期高齢者医療特別会計事業						解決した課題	高齢化の進展等により、年々医療費が増加傾向であり、介護保険課と連携した「高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な事業」を実施し、継続した生活習慣病など重症化リスクの高い高齢者へ保健指導等を実施した。
事業概要	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。						残された課題	団塊の世代が後期高齢者となり、加入者増が見込まれるため、健康寿命の延伸や医療費の抑制に向けて、高齢者の保健事業と医療費の適正化の推進が必要。
担当課	健康保険課	R6事業費 (千円)		474,023 千円			今後の施策展開の方向性	熊本県後期高齢者医療広域連合や介護保険課と連携し、高齢者への切れ目のない支援を行い、高齢者の保健事業等を進めることで医療費の抑制や保険料の収納率向上に努め、後期高齢者医療制度の安定した運営を達成していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	1,128,212	1,140,544	1,095,027		1,000,000		

事業名	後期高齢者医療費事業（一般会計）						解決した課題	高齢化の進展等により、年々医療費が増加傾向であり、介護保険課と連携した「高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な事業」を実施し、継続した生活習慣病など重症化リスクの高い高齢者へ保健指導等を実施した。
事業概要	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。						残された課題	団塊の世代が後期高齢者となり、加入者増が見込まれるため、健康寿命の延伸や医療費の抑制に向けて、高齢者の保健事業と医療費の適正化の推進が必要。
担当課	健康保険課	R6事業費 (千円)		527,875 千円			今後の施策展開の方向性	熊本県後期高齢者医療広域連合や介護保険課と連携し、高齢者への切れ目のない支援を行い、高齢者の保健事業等を進めることで医療費の抑制や保険料の収納率向上に努め、後期高齢者医療制度の安定した運営を達成していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	1,128,212	1,140,544	1,095,027		1,000,000		

事業名	こども医療費助成事業						解決した課題	ジェネリック医薬品の活用や子ども医療電話相談の普及など適正受診について、広報やホームページで周知を実施した。こども医療の新規、変更手続きのオンライン申請を活用し、保護者の負担軽減を図った。
事業概要	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。						残された課題	医療水準が新型コロナウイルス流行以前の医療水準に戻ってきているが、全体的な助成額、一人当たりの助成額ともに高額な状態である。
担当課	健康保険課	R6事業費 (千円)		223,891 千円			今後の施策展開の方向性	令和5年度から熊本県のこども医療助成対象が拡充され、また、令和6年度から国民健康保険の子どもの医療費に関する国庫負担の減額調整も廃止された。子どもの疾病の早期治療等は、子育て支援の対策として有効であり、持続可能な取り組みとするために、適切な受診に向けた啓発を引き続き実施していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり助成額	円	24,979	30,698	30,111		23,750		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	2	子ども・子育て支援の充実	A
施策の体系(柱)	1	子育て支援の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・子ども医療費の無償化、多子世帯への保育料軽減の継続 ・多様かつ分かりやすい情報発信・サービス周知 ・相談窓口の機能強化、各種関係機関への適切な連携
想定する事業の成果	・子どもや妊産婦に係る各種医療費助成や保育料の軽減 ・子育て家庭に対する経済的支援やひとり親家庭の自立に向けた日常生活支援、就業支援及び経済的支援の充実

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	児童手当支給事業	子育て支援として、中学校修了前（令和6年10月分からは高校生年代まで）の児童の父母などの養育者に対して手当を支給する。	825,415	子育て支援課	A	●
2	子育て短期支援事業	子どもの養育が一時的に困難になった場合、緊急一時的に児童擁護施設等に短期入所することで、子どもの健全育成を図る。	0	子育て支援課	B	
3	乳幼児健康支援訪問ヘルパー事業	出産後間もないため、家事や育児が困難な核家族家庭等に対して、ヘルパーが訪問し支援を行う。	18	子育て支援課	A	
4	養育支援訪問事業	養育困難な家庭を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことで、当該家庭の適切な養育の実施につなげる。	0	子育て支援課	B	
5	多子世帯への保育料軽減	国多子事業、県多子事業の要件に該当する場合、2人目の保育料が半額、3人目以降の保育料が無料。	0	子育て支援課	A	
6	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等における医療費の一部を補助	10,762	福祉課	B	●
7	ひとり親家庭福祉協議会補助金	大津町ひとり親家庭福祉協議会に対し、活動経費の補助を行う。	60	福祉課	A	
8	こども医療費助成事業（再掲）	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。	223,891	健康保険課	A	●
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	5	3	0	0	8		A
合計点数	500	225	0	0	725	90.6	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	児童手当支給事業						解決した課題	R5.2月よりびったりサービスが開始され、マイナンバーカードを取得している受給者は簡単にオンライン手続きできるようになり、利用者も増加してきており利用者の負担軽減につながっている。
事業概要	子育て支援として、中学校修了前（令和6年10月分からは高校生年代まで）の児童の父母などの養育者に対して手当を支給する。						残された課題	びったりサービスの利用は、高校生まで対象が拡大したことに伴い増加したが、引き続き便利な電子申請を活用してもらうよう、周知を行う必要がある。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		825,415 千円			今後の施策展開の方向性	令和6年度に大幅な制度改正があり、対象者の増加及び金額内容の変更等もあったため、正確な支給事務と制度の周知を遂行していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
電子申請利用件数	件	0	12	124		15		

事業名	こども医療費助成事業（再掲）						解決した課題	ジェネリック医薬品の活用や子ども医療電話相談の普及など適正受診について、広報やホームページで周知を実施した。こども医療の新規、変更手続きのオンライン申請を活用し、保護者の負担軽減を図った。
事業概要	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。						残された課題	医療水準が新型コロナウイルス流行以前の医療水準に戻ってきているが、全体的な助成額、一人当たりの助成額ともに高額な状態である。
担当課	健康保険課	R6事業費 (千円)		223,891 千円			今後の施策展開の方向性	令和5年度から熊本県のこども医療助成対象が拡充され、また、令和6年度から国民健康保険の子どもの医療費に関する国庫負担の減額調整も廃止された。子どもの疾病の早期治療等は、子育て支援の対策として有効であり、持続可能な取り組みとするために、適切な受診に向けた啓発を引き続き実施していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり助成額	円	24,979	30,698	30,111		23,750		

事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業						解決した課題	現物給付化を行ったことにより、申請の手間が少なくなり、ひとり親家庭の経済的負担軽減につながった。
事業概要	ひとり親家庭等における医療費の一部を補助						残された課題	資格の申請や、現物給付で対応していない場合の手続きが負担となり、申請をされない世帯があるため、引き続き対象者の手続きの簡便化を図る必要がある。
担当課	福祉課	R6事業費 (千円)		10,762 千円			今後の施策展開の方向性	申請のデジタル化やオンライン化を検討する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
受給資格率の増加	%	92	85	86		98		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	2	子ども・子育て支援の充実	A
施策の体系(柱)	2	保育サービスの充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な保育ニーズに備える、多様なサービスの充実 ・医療的ケアを要する子どもや家庭を支援できる体制整備 ・待機児童ゼロの維持、入所率の適正化 ・保育人材確保に向けた就労状況・賃金等の処遇改善推進 ・「公立保育等再編基本方針」に基づく再編、公立認定こども園設置協議
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の負担軽減や待遇向上により保育士を確保し、保護者の多様な保育ニーズへの対応や待機児童ゼロの維持につながる。 ・保護者の多様な就労形態に対応した保育サービスの提供につながる。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	障害児保育事業	対象児童が入所している町内私立保育所に委託し、受け入れ保育所に保育士の加配費用等を助成、入所を促進する。	17,319	子育て支援課	A	●
2	延長保育事業	町内の保育所及び認定こども園に事業を委託し、18時から19時までの1時間の延長保育を実施。(一部の園では20時まで利用可)	9,575	子育て支援課	A	●
3	一時預かり事業	保護者の疾病やその他理由により家庭での育児が一時的に困難な場合に対応するため、保育所や認定こども園等で一時預かりを実施する。一般型と幼稚園型がある。	18,774	子育て支援課	A	●
4	施設型給付費・地域型保育給付費	国が定める保育単価に基づき、大津町の児童が入所する保育所・地域型保育事業所等に給付費を支出する。	1,898,682	子育て支援課	A	●
5	施設等利用給付費	施設等利用給付認定を受けた児童が利用する幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設利用料、新制度未移行幼稚園利用料について施設又は保護者に給付する。	11,647	子育て支援課	A	●
6	保育園管理運営事業(大津保育園)	園児の健やかな成長と発達を支える保育及び園舎の維持管理・運営を行う。	90,384	子育て支援課	A	
7	休日保育事業(大津保育園)	保護者の就労形態の多様化等により、日曜や休日における家庭での保育が困難な児童の保育を行う。	2,848	子育て支援課	A	
8	待機児童対策事業(待機児童支援助成事業補助金)	待機児童となった児童が認可外保育園に入所する場合に、認可外保育園と認可保育園の保育料の差額を助成し、保護者の負担軽減を図るとともに、待機児童の解消につなげる。	5	子育て支援課	A	
9	待機児童対策事業(保育士就職支援助成金)	町内の認可保育園等に正規職員として就職した保育士に助成金を出し、保育士の待遇向上を図り、保育士の確保につなげる。	2,150	子育て支援課	A	
10	保育補助者雇上強化事業	保育士資格を目指す保育補助者を雇い上げ、保育士の業務負担を軽減し、離職防止を図る。	17,913	子育て支援課	A	
11	保育体制強化事業	清掃業務や給食の配膳等、保育に係る周辺業務を行う保育士資格を持たない補助者を配置し、保育士の業務負担の軽減を図る。	12,655	子育て支援課	A	
12	待機児童対策事業(予備保育士雇い上げ補助金)	年度後半に向かって増える保育需要に対応するため、予備保育士を雇用するための費用を助成し、年度当初に予備保育士の確保を図る。	4,857	子育て支援課	A	
13	子育て支援拠点整備事業	子育て支援拠点としての公立認定こども園及び子育て支援施設の一体的な整備。	4,675	子育て支援課	A	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	13	0	0	0	13		A
合計点数	1300	0	0	0	1300	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	施設型給付費・地域型保育給付費						解決した課題	ここ10年、就学前人口は減少傾向にあるものの、保育の利用ニーズの増加に伴う受け皿確保が必要なため、引き続き待機児童解消のための保育士確保等の対策を進めていく。
事業概要	国が定める保育単価に基づき、大津町の児童が入所する保育所・地域型保育事業所等に給付費を支出する。						残された課題	入所児童数が減少傾向であり、各施設における利用定員や実際の受入人数調整の見直しが必要。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		1,898,682 千円			今後の施策展開の方向性	児童数の推移を見ながら、保育の受入確保のための保育士の確保に向けて、保育サービスの充実、保育の質の向上を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内保育所等入所児童数	人	1479	1477	1463		1450		

事業名	一時預かり事業						解決した課題	一時的に家庭で保育ができない保護者のニーズに対応することができた。
事業概要	保護者の疾病やその他理由により家庭での育児が一時的に困難な場合に対応するため、保育所や認定こども園等で一時預かりを実施する。一般型と幼稚園型がある。						残された課題	令和8年度から実施予定のこども誰でも通園制度と一時預かり事業(一般型)において、受け入れ体制の確保と実施方法について検討が必要である。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		18,774 千円			今後の施策展開の方向性	利用者が希望する日に利用することができるよう、利用実績が少ない事業所の集約を含めた受け入れ体制の再構築を検討していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用児童数	人	339	259	368		500		

事業名	障害児保育事業						解決した課題	障がい児及び軽度障がい児の受入れにより、支援が必要な児童に対し適切な支援を行い、同年代の児童との集団保育を実施することができた。
事業概要	対象児童が入所している町内私立保育所に委託し、受け入れ保育所に保育士の加配費用等を助成、入所を促進する。						残された課題	対象児童が増加しており、従来と同様にサポートに入る職員の確保が課題となってきた。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		17,319 千円			今後の施策展開の方向性	今後も支援が必要な児童に対し適切な支援を行い、障がいがある児童への理解を深めるとともに、就学後も適切な支援が受けられるよう、保育園と学校の連携や情報の共有を促進していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
障害児受入数	人	24	27	36		16		

事業名	施設等利用給付費						解決した課題	保護者の経済的な負担を軽減し、保護者の多様な働き方に応じた保育を行うことで、子育て支援を行うことができた。
事業概要	施設等利用給付認定を受けた児童が利用する幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設利用料、新制度未移行幼稚園利用料について施設又は保護者に給付する。						残された課題	引き続き、支給要件を満たす対象者に対して適切に給付を行う必要がある。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		11,647 千円			今後の施策展開の方向性	今後も引き続き、無償化対象施設及び保護者への制度周知等を継続し、施設等利用費の給付事務等を滞りなく行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用人数	人	1,194	1,156	913		1,200		

事業名	延長保育事業						解決した課題	町内の全保育園において、安心して子育てができるように仕事と子育ての両立支援に努めた。
事業概要	町内の保育所及び認定こども園に事業を委託し、18時から19時までの1時間の延長保育を実施。(一部の園では20時まで利用可)						残された課題	今後も延長保育の需要が見込まれるため、町内各園が継続して延長保育を実施していけるよう支援を行う必要がある。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		9,575 千円			今後の施策展開の方向性	働き方改革等により就労形態は多様化してきているが、保護者の延長保育に対するニーズはあるため、継続して保育所等での延長保育を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用児童数	人	15,011	15,153	14,491		12,800		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつながり元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	2	子ども・子育て支援の充実	A
施策の体系(柱)	3	子どもを安心して生み育てられる地域づくり	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・切れ目ない支援に向けた、関係機関連携強化 ・支援の地域格差解消に向けた保育園への相談窓口設置 ・地域子育て支援拠点事業の充実 ・こども家庭センター設置 ・「ファミリー・サポート・センター事業」の充実 ・働きながら安心して子育てできる環境の更なる充実
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の子育てと就労の両立 ・子育ての孤立感、不安感の解消

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	地域子育て支援拠点事業	育児等について相談する相手もなく、子育てに孤立感・閉塞感を募らせている親子に、気軽に集い精神的な安心感をもたらす場を提供する。	15,291	子育て支援課	A	●
2	要保護児童対策協議会事業	児童虐待の防止と早期発見、早期対応を行うため要保護（要支援）児童家庭の訪問及び個別対応支援を行う。	13,690	子育て支援課	A	●
3	ファミリー・サポート・センター事業	子どもを預けたい保護者と子どもを預かってくれる人を会員登録し、必要時に調整を行うことにより、育児中や仕事を持つ保護者の子育て支援を行う。	9,846	子育て支援課	A	●
4	病児・病後児保育事業	病後児保育施設で病気・病後回復期児童の預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を図る。	10,208	子育て支援課	A	●
5	放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により昼間家庭にいない、小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。	187,209	子育て支援課	A	●
6	母子保健事業（再掲）	母子保健法に基づく乳幼児健診、妊婦・乳児訪問指導等の保健事業を行い、生涯を通じて健やかな生活をおくるために、望ましい生活習慣の基盤を固めるための保健指導を行うもの。	84,221	健康保険課	A	
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	6	0	0	0	6		A
合計点数	600	0	0	0	600	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	放課後児童健全育成事業						解決した課題	家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや生活の指導を行うことにより、その児童の健全な育成を図るとともに、保護者が仕事と子育てを両立できるよう支援に努めた。
事業概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない、小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。						残された課題	児童数は減少傾向にあるものの、共働きの家庭が増えるなど、学童保育に関するニーズは引き続き増加が予想されるため、受入枠の確保や支援員の確保と資質向上が求められる。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		187,209 千円			今後の施策展開の方向性	今後も学童保育に対するニーズは大きいまま推移すると予想されるため、施設整備を含めた受入枠の確保に努める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用児童数	人	772	813	889		900		

事業名	地域子育て支援拠点事業						解決した課題	要保護児童対策及びDV防止対策地域協議会において、児童虐待防止などの啓発、早期発見、関係機関とのネットワークの強化に努めた。
事業概要	育児等について相談する相手もなく、子育てに孤立感・閉塞感を募らせている親子に、気軽に集い精神的な安心感をもたらす場を提供する。						残された課題	虐待等のハイリスク家庭の把握や具体的な支援に関する情報共有、個別の相談支援などのソーシャルワークを担う等機能の強化及び関係機関との共通理解のもと、連携体制強化を図っていくこと。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		15,291 千円			今後の施策展開の方向性	引き続き虐待等ハイリスク事案について、関係機関との連携を強化し、一体的支援を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
新規相談件数	件	85	110	129		80		

事業名	要保護児童対策協議会事業						解決した課題	地域子育て支援拠点事業を2か所で実施し、子育てで親子が気軽に集える場を提供できている利用者についても年々増加している。
事業概要	児童虐待の防止と早期発見、早期対応を行うため要保護（要支援）児童家庭の訪問及び個別対応支援を行う。						残された課題	直近3年間で利用者が再び増加する中、親子が気軽に集い、語らいや相談ができ、ニーズに寄り添った場づくり、雰囲気づくりができるよう委託事業者と進めていく。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		13,690 千円			今後の施策展開の方向性	地域の身近な親子ふれあいの場所、町子育て・健診センター内の「子育て支援センター」を核として、町全体の子育て中の家族を支援していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用者数	人	5,917	9,247	11,903		20,000		

事業名	病児・病後児保育事業						解決した課題	病気または病気回復期の児童を預かることで、仕事と子育ての両立支援を行った。
事業概要	病後児保育施設で病気・病気回復期児童の預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を図る。						残された課題	今後も予約や予約状況の確認をオンラインで確認できるLINE公式アカウントの周知が必要である。定員が少ないためすぐに定員に達し、利用ができないことがある。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		10,208 千円			今後の施策展開の方向性	核家族化、共働きの家庭の増加により、今後も病児・病後児保育の需要が見込まれるため、これまで同様事業を展開していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用者数	人	202	264	226		250		

事業名	ファミリー・サポート・センター事業						解決した課題	協会員が依頼会員の様々なニーズに応えた預かりに対応し、子育て中の家庭を支えることができた。
事業概要	子どもを預けたい保護者と子どもを預かってくれる人を会員登録し、必要時に調整を行うことにより、育児中や仕事を持つ保護者の子育て支援を行う。						残された課題	子どもを預けたい保護者への制度の周知と、依頼会員のニーズに応えるため協会員の確保が必要。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		9,846 千円			今後の施策展開の方向性	会員相互に助け合う活動に関する連絡、調整機関として、地域の子育て支援の充実を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用件数	件	1,070	864	1,246		2,000		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	B
基本施策	3	高齢者福祉の充実	
施策の体系(柱)	1	高齢者が活躍する場の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・シルバー人材センターの新規会員数拡大・利用促進、雇用創出活性化 ・老人クラブへの新規加入者獲得や担い手確保推進 ・ボランティアやまちづくり団体等の各種コミュニティとのマッチング
想定する事業の成果	・高齢者がこれまで培ってきた能力や経験を活かせる場の形成 ・高齢者が地域の助け合い活動の主体となる場の形成

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	シルバー人材センター育成事業	大津町シルバー人材センターに補助することによりシルバー人材センターの育成を行う	9,130	介護保険課	B	●
2	金婚表彰事業	熊日新聞社と共催で金婚夫婦表彰式を開催し記念品を贈呈する	503	介護保険課	A	●
3	敬老事業	100歳到達者へ敬老祝金を贈呈する	827	介護保険課	A	●
4	老人クラブ補助事業	単位老人クラブと老人クラブ連合会に補助することにより老人クラブの運営を支援する	1,796	介護保険課	B	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		B
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	シルバー人材センター育成事業						解決した課題	R6年度も継続してシルバー人材センターによる会員拡大・維持のための後押しを行うことができた。
事業概要	大津町シルバー人材センターに補助することによりシルバー人材センターの育成を行う						残された課題	さらなる会員数の増加が望まれる。
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		9,130 千円			今後の施策展開の方向性	シルバー人材センターや就労支援コーディネーターと連携しながら、高齢者の生きがいづくりにつなげていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
会員数	人	306	295	280		320		

事業名	老人クラブ補助事業						解決した課題	地域貢献活動や健康づくり活動が行われ、高齢者の介護予防を促進することができた。また、地域の重要な交流の場として活用されている。
事業概要	単位老人クラブと老人クラブ連合会に補助することにより老人クラブの運営を支援する						残された課題	単位老人クラブ団体の減少や新規クラブ加入者減少、クラブ運営の担い手不足への対応について検討する必要がある。
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		1,796 千円			今後の施策展開の方向性	クラブ加入者減少及びクラブ存続への対策として、広報誌やパンフレット等を活用し、クラブの活動状況をPRし加入者増を図るとともに、クラブの運営担い手確保について老人クラブ連合会と連携しながら検討していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
老人クラブ加入者数	回	506	441	399		450		

事業名	敬老事業						解決した課題	百歳を迎えた方に敬老祝金等を提供することができ、長寿のお祝いを行うことができた。
事業概要	100歳到達者へ敬老祝金を贈呈する						残された課題	感染症対策により面会制限がある施設の入所者への対応には配慮を要する。
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		827 千円			今後の施策展開の方向性	引き続き、百歳到達者に祝金等を贈呈したことを広報等で大きく記事にし、健康志向の啓発につなげていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
100歳到達者	人	12	24	13		-		

事業名	金婚表彰事業						解決した課題	金婚式により、夫婦お互いの健康と長寿を喜び、町民とともに祝福することができた。
事業概要	熊日新聞社と共催で金婚夫婦表彰式を開催し記念品を贈呈する						残された課題	広報で周知はしているが、記事を見落とす可能性もある。できるだけ多くの高齢者夫婦が参加するよう、周知方法の工夫が必要である。
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		503 千円			今後の施策展開の方向性	熊日新聞が実施する金婚表彰にあわせて、町が金婚を祝い、長年の労苦に感謝と敬意を表すことはニーズがあり、今後も実施する予定である。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
金婚申込夫婦数	組	56	40	49		65		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

＜★施策シート＞

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	B
基本施策	3	高齢者福祉の充実	
施策の体系(柱)	2	高齢者福祉サービスの充実と地域包括ケアシステムの構築	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・効果的な予防事業実施、啓発強化による健康づくりのすそ野拡大 ・地域人材の育成と活躍の場の提供支援 ・生活支援等サービスの充実、「高齢者等見守りネットワーク」の拡充 ・認知症の早期発見・早期ケア、認知症の人や介護者を支える体制整備 ・住まい・医療・介護等の地域内での一体的な提供体制推進 ・専門員の配置を含めた総合相談機能充実
想定する事業の成果	・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「地域包括ケアシステム」の構築

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	家族介護用品支給事業	在宅で要介護者を介護する家族に対し介護用品給付券の支給を行う	2,247	介護保険課	A	
2	楽善ふれあいプラザ指定管理委託	介護予防拠点である楽善ふれあいプラザの指定管理委託における修繕費	488	介護保険課	A	
3	高齢者住宅改造成事業	住宅の大規模な改造等が必要な高齢者に改造費用の一部を補助する	0	介護保険課	B	
4	老人保護措置委託	経済的、環境上の理由から在宅で生活することが困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置を行う	27,386	介護保険課	A	
5	高齢者外出支援サービス事業	身体状況により運転、公共交通機関の利用、家族による移送が困難な高齢者に対して、タクシー費用の一部又は全部を助成し、生活支援を行う。	3,598	介護保険課	B	
6	高齢者保健事業と介護予防の一体的実施事業費（介護分）	健康診査・保健指導の結果に基づき抽出した対象者や健康状態不明者への訪問等による個別指導を実施し、必要な人を医療・介護サービスへ繋ぐ。	3,344	介護保険課	B	●
7	地域介護予防活動支援事業（重層的な地域づくり事業）	・まごころ生活支援事業 ・地域介護予防活動支援事業委託（介護予防サポーター養成講座・介護予防サポーター地域活動育成委託）	1,097	介護保険課	B	
8	地域包括支援センター運営事業（重層的な包括相談支援事業）	①介護予防ケアマネジメント業務②総合相談支援事業③権利擁護④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	48,540	介護保険課	B	●
9	生活支援体制整備事業（重層的な地域づくり事業）	生活支援コーディネーターを中心に関係者間で組織する協議体において地域の課題やそれに係る解決策等について協議し新たな資源開発等を推進する。	11,446	介護保険課	C	●
10	大津町権利擁護推進センター事業	成年後見制度の利用についての相談支援を行い、認知症や障がい等により判断能力が不十分な人の権利を確保する。	8,814	介護保険課	A	
11	介護予防・生活支援サービス事業	①総合事業として、高齢者ホームサポート（訪問型サービス・活動A）、介護予防はつらつ元気づくり事業（通所型サービス・活動A）、ほりだし健康教室（通所型サービス・活動C）を実施する。②総合事業に係る事業費等を介護サービス事業所等に支払う。	70,903	介護保険課	A	
12	一般介護予防事業	介護専門職派遣事業の高齢者本人へのアプローチのほか、地域づくりを含めた介護予防型ミニデイ事業や通いの場の取り組み推進を行い、介護予防につなげる。	12,379	介護保険課	A	
13	介護予防ケアマネジメント事業	要支援者・事業対象者に対し、適切な介護予防、生活支援サービス等が、包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助を行う。	6,945	介護保険課	B	
14	在宅医療・介護連携推進事業（包括的推進事業 社会保障充実分）	医療・介護の多職種連携を実現するために、多職種連携・協働に関する研修を行う。看取りに関する普及啓発を行う。	2,581	介護保険課	A	●
15	認知症施策推進事業（包括支援事業 社会保障充実分）	住民への情報提供や認知症疾患医療センターや医療・介護の関係機関等の連携を行い、早期発見・早期診断・早期対応の体制構築を図る。	3,146	介護保険課	A	●
16	地域ケア会議推進事業	保険医療と福祉に関する専門職や支援者により、高齢者個人のケース検討を行い、高齢者自身の自立支援や地域課題の解決を検討する。	290	介護保険課	B	
17	任意事業	②家族介護支援事業（認知症高齢者見守り事業）③その他の事業（成年後見制度利用支援事業、住宅改修支援事業助成金、認知症サポーター養成講座、介護相談員派遣事業、食の自立支援事業、ホットライン体制整備事業）	15,946	介護保険課	B	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	8	8	1	0	17		B
合計点数	800	600	50	0	1450	85.3	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域包括支援センター運営事業（重層的包括相談支援事業）						解決した課題	住民からの複合的な課題に関する相談に対して、関連部署と連携し適切な助言を行うことができた。
事業概要	①介護予防ケアマネジメント業務②総合相談支援事業③権利擁護④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業						残された課題	住民からのニーズの多様化により専門職一人だけでは対応が困難な事例も多く、関係部署との連携や役割の明確化を行うことが必要。
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		48,540			今後の施策展開の方向性	住民からのニーズの多様化に伴い地域包括支援センターが行っている事業の見直しを行い、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
相談件数	件	1494	894	940		2000		

事業名	生活支援体制整備事業（重層的地域づくり事業）						解決した課題	地域活動の拠点として、新たな通いの場を4か所創出できた。また、研修等を受けた高齢者が介護アシスタントとして活動し、介護事業所の業務負担軽減と高齢者の生きがい活動や社会参加を実現した。
事業概要	生活支援コーディネーターを中心に関係者間で組織する協議体において地域の課題やそれに係る解決策等について協議し新たな資源開発等を推進する。						残された課題	高齢者の移動に関する課題解決に向けて協議を進めているが、解決まで至っていない。
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		11,446			今後の施策展開の方向性	介護予防等に取り組む通いの場等を地域活動の拠点として強化する。また、高齢者の移動に関する課題解決に向け、関係機関との協議を進める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
協議体開催数	回	12	4	1		5		

事業名	高齢者保健事業と介護予防の一体的実施事業費（介護分）						解決した課題	委託業者からの訪問結果の報告頻度を増やし、連携を密にすることにより訪問後の包括支援センターからのフォロー体制を整えた。
事業概要	健康診査・保健指導の結果に基づき抽出した対象者や健康状態不明者への訪問等による個別指導を実施し、必要な人を医療・介護サービスへ繋ぐ。						残された課題	健康診査・健康診断の受診率を向上させるための周知啓発・受診促進活動が必要。また、フレイル予防のため保健・栄養指導、社会参加の促進など多角的なアプローチを行うことが必要。
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		3,344			今後の施策展開の方向性	切れ目のない医療・介護サービスの連携、介護予防事業等を活用し、住民の健康寿命の延伸を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
ハイリスク該当者のうち支援数の割合	%	94	91	72		81		

事業名	認知症施策推進事業（包括支援事業 社会保障充実分）						解決した課題	認知症の人とその家族等が気軽に集うことができる場であるオレンジカフェを定期的に開催することができた。
事業概要	住民への情報提供や認知症疾患医療センターや医療・介護の関係機関等の連携を行い、早期発見・早期診断・早期対応の体制構築を図る。						残された課題	・オレンジカフェの周知啓発活動、増設 ・認知症本人が参画した施策づくり
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		3,146			今後の施策展開の方向性	地域のかかりつけ医との密な連携により、早期発見、早期ケア体制の構築を目指す。 「新しい認知症観」に立ち、本人参画で共生社会の実現を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
もの忘れ相談件数	件	18	34	34		32		

事業名	在宅医療・介護連携推進事業（包括的推進事業 社会保障充実分）						解決した課題	菊池圏域の在宅医療介護連携事業担当者合同で入院支援ガイドブックの更新を行った。
事業概要	医療・介護の多職種の連携を実現するために、多職種連携・協働に関する研修を行う。看取りに関する普及啓発を行う。						残された課題	・医師会を含めた、医療・介護連携の強化 ・看取り、ACP、人生会議等の普及啓発活動
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		2,581			今後の施策展開の方向性	定期的に会議・研修会を開催し、医療・介護関係者が双方の専門性や役割への理解を深める。 幅広い世代に対しての看取り、ACP、人生会議等に関する普及啓発活動を計画する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修実施回数	回	1	1	1		1		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価 A
基本施策	3	高齢者福祉の充実	
施策の体系(柱)	3	介護保険制度の円滑な運営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型のケアマネジメント推進 ・生活の質を維持・向上させる、適正な介護保険制度運営 ・ICT導入支援、介護アシスタントの養成・施設等とのマッチング ・外国人労働者確保に向けた取り組み推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付の適正化により、利用者へ適切な介護サービスを提供することができ、不適切な給付の削減もできる ・元気な高齢者が施設等で働くことで生きがいを持つことができる

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	一般管理費	被保険者に対する各種通知や制度改正に合わせたシステム改修	5,167	介護保険課	A	
2	介護サービス等諸費、高額介護サービス等費、高額医療合算介護サービス等費、その他諸費	国民健康保険連合会に審査・支払を委託し、給付費等を介護保険施設等に支払う	2,565,104	介護保険課	A	●
3	介護給付費等費用適正化事業	国保連帳票の点検とケアプラン点検	762	介護保険課	A	●
4	認定調査等費	介護認定調査員による認定調査を行う	27,276	介護保険課	A	●
5	介護認定審査会費	菊池広域連合で認定審査会を実施するための事務	9,985	介護保険課	A	
6	介護保険住宅改修申請支援事業助成金	住宅改修理由書を作成した介護支援専門員に1件あたり2,000円を助成する	2	介護保険課	A	
7	介護保険低所得者対策事業	対象となる利用者に「社会福祉法人等利用者負担軽減確認証」を発行し、実際に軽減を行い、一定額以上に至った場合に社会福祉法人からの申請により補助する	0	介護保険課	A	
8	介護給付費準備基金積立金、第1号被保険者保険料還付金、償還金、第1号被保険者還付加算金、一般会計繰出金	基金積立、過誤納保険料の還付、決算に伴う一般会計繰出し等	91,764	介護保険課	A	
9	計画策定等委員会費	介護保険事業計画策定に関する事務と地域密着型サービス及び地域包括支援センターの運営委員会に関する事務	47	介護保険課	A	
10	介護保険特別会計繰出金	介護サービス等にかかる町の法定負担分、低所得者保険料軽減負担金の国県町分、介護保険運営に係る事務費等を介護保険特別会計に繰り入れる	425,346	介護保険課	A	
11	賦課徴収費	保険料の賦課徴収	1,229	介護保険課	A	
12	介護基盤緊急整備特別対策事業補助金	施設整備に係る事業者への補助金	2,541	介護保険課	A	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	12	0	0	0	12		A
合計点数	1200	0	0	0	1200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	介護サービス等諸費、高額介護サービス等費、高額医療合算介護サービス等費、その他諸費						解決した課題	第9期計画に基づき、介護サービスや高額介護サービス及び高額医療合算サービス等を提供できた。
事業概要	国民健康保険連合会に審査・支払を委託し、給付費等を介護保険施設等に支払う						残された課題	2040年を見据え、要介護認定者が更に増加していくため、在宅サービスの受け皿やその給付費確保（適正な保険料設定）のための分析を引き続き、実施していく必要がある。
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		2,565,104 千円			今後の施策展開の方向性	地域包括ケアシステムの理念のとおり、在宅サービスの質の向上と選択肢の幅を広げること、生涯住み慣れた地域で生活が維持していくためにも、在宅サービスの充実とニーズに応じた介護サービスを提供していく必要がある。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
在宅・居住系サービス利用率	%	81.4	84.8	83.9		84		

事業名	認定調査等費						解決した課題	認定調査員の研修により職員のスキルアップを図ることができた。
事業概要	介護認定調査員による認定調査を行う						残された課題	申請から30日以内に認定結果を出さなければならないが、間に合わない件数も多い現状がある。（主治医意見書の到着待ちや審査会の件数制限の要因もある）
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		27,276 千円			今後の施策展開の方向性	適切かつ迅速な認定調査を行うため、引き続き認定調査員それぞれが1件当たりに係る時間を短縮できるようにスキル向上や業務改善等を行っていく。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
30日以内に認定した割合	%	17.4	15.7	32.2		20		

事業名	介護給付費等費用適正化事業						解決した課題	ケアプラン点検を積み重ね、ケアプラン記載内容がより具体的になった。町の助言から適正なケアマネジメント実践に努めようとするケアマネジャーが以前より増えている。
事業概要	国保連帳票の点検とケアプラン点検						残された課題	依然として、事業所間またはケアマネジャー間で、自立支援に資する適正なケアマネジメントを作成できる資質に差がある。
担当課	介護保険課	R6事業費 (千円)		762 千円			今後の施策展開の方向性	引き続き対象件数を絞り、精査・助言を必要とする事業所やケアマネジャーを中心として点検を行う。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
評価平均点	点	1.6	1.5	1.6		2		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価 B
基本施策	4	障がい者福祉の充実	
施策の体系(柱)	1	障がい者支援の総合的推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・緻密な実態調査に基づく次期障がい福祉計画策定 ・発達障がいの早期発見に向けた巡回相談実施 ・適切な療育へ早期につなげるための療育機関との体制整備 ・「ふくしの相談窓口」のさらなる周知と機能強化 ・各種関係機関との連携、専門職増加等による体制整備と伴走型支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉に関する啓発活動や住民同士が触れ合う場・機会づくりを設けることで地域社会が障がいのある人への理解を深める ・障がい福祉に関する情報提供や相談体制の充実・強化

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	日中一時支援事業	障がいのある人に、日中活動の場を提供し、見守りや日常的な訓練を行うことで、その家族の就労及び一時的な休息を支援する。	4,766	福祉課	B	
2	意思疎通支援事業	意志疎通を図ることに支障がある聴覚障がい者等に手話通訳、要約筆記等の方法により、意思疎通を仲介するサービス。	2,006	福祉課	A	
3	移動支援事業	屋外での移動が困難な障がい者等を対象に外出のための支援を行う。(地域生活支援事業の中の一つ)	2,085	福祉課	B	
4	相談支援事業	障がいのある方等からの相談に応じ、情報提供や必要な援助を行うことにより、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。	19,956	福祉課	B	
5	日常生活用具事業	障がい程度に応じた日常生活用具(入浴補助用具、排泄管理支援用具等)の給付を行う。(地域生活支援事業の中の一つ)	6,716	福祉課	A	
6	補装具交付事業	身体障がいの部分を補い、生活しやすくするために必要な用具の給付・貸付・修理を行う。	7,342	福祉課	A	
7	自立支援医療費給付事業 (更生医療)	障がいの軽減や回復のために必要な医療(人工透析等)に対し、医療費の一部を公費で負担する。	26,667	福祉課	A	
8	重度心身障害者医療費助成事業	重度の心身障がい者を対象に医療機関ごとに通院1,000円、入院2,000円を超えた額を助成する。	55,320	福祉課	A	●
9	障害福祉サービス事業	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。	916,438	福祉課	A	●
10	障害児通所支援事業	児童発達支援や放課後等デイサービスなどの支給量を決定する。サービス費用の一部を保護者が負担する。	580,708	福祉課	A	●
11	障害者虐待防止事業	障害者虐待防止法の規定に基づき、町虐待防止センターを設置、虐待発覚時の事実確認や措置を行う。	80	福祉課	A	
12	難聴児補聴器購入費助成事業	軽度・中度の難聴障がいがある児童に対し、補聴器の購入費の助成を行う。	98	福祉課	B	
13	自立支援医療費給付事業 (育成医療)	障がいのある児童や今後障がいを残す恐れのある児童で、確実な治療効果があるものに対し、医療費の一部を給付する。	593	福祉課	A	
14	訪問入浴サービス事業	自宅での入浴が困難な障がい者に対する入浴支援。サービスの利用に応じ、事業所へ利用料を支払う。	1,403	福祉課	A	
15	理解促進研修・啓発事業	地域住民に対し、障がい者等に対する理解を深めるために、教室等の開催やイベント開催、広報活動を行う。	291	福祉課	B	
16	巡回支援専門員派遣事業	専門員が学校などを巡回し、職員や保護者に早期発見のための助言を行う。	7,737	福祉課	B	●
17	手話奉仕員養成研修事業	聴覚に障がいのある方への理解を深め、社会参加を促進するために手話奉仕員を養成するもの。	155	福祉課	B	

18	ペアレントプログラム事業	保護者や支援者が、子どもの行動の客観的な理解方法を学び、子育てに自信を身につける専門的な講座を開催。	540	福祉課	B	●
19	自立支援医療（精神通院）事業	精神疾患に関する通院医療費について、限度額認定を行い、負担の軽減を図る。	0	福祉課	A	
20	身体障害者相談員・知的障害者相談員設置事業	身体障害者等の福祉の増進を図るため、相談員を設置し、各種相談に応じ必要な指導及び助言を行う。	20	福祉課	B	
21	特別児童扶養手当・特別障害者手当・障害児福祉手当事業	中程度以上の障がいをもつ障がい児の養育者や、重度障がい者（児）本人に手当を支給する。	0	福祉課	A	
22	障害者福祉費総務費	支援区分認定調査員等の人件費や意見書作成手数料、審査会や自立支援協議会等に要する負担金等。	9,736	福祉課	A	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	13	9	0	0	22		
合計点数	1300	675	0	0	1975	89.8	B

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	障害福祉サービス事業						解決した課題	支給決定者も増加しており、利用者がそれぞれの生活支援や就労支援などのサービスを利用されることで、安定した生活環境を提供することができた。
事業概要	障害支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。居宅介護、施設入所、就労移行支援等。						残された課題	障害者支援施設への入所希望に対し、待機期間が長い施設がある。また、新規のサービス利用希望者が多くなることで給付費が増加が今後も続く見込み。
担当課	福祉課	R6事業費 (千円)		916,438			今後の施策展開の方向性	対象者のニーズを確認しながら、相談支援事業所やサービス提供事業所との連携のもと、適正な支給決定を行う。また、共生社会の実現にむけて、住み慣れた地域で生活できるよう、地域移行も含めた福祉サービスの提供を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実利用率	%	92.1	93.8	90.1		100		

事業名	障害児通所支援事業						解決した課題	実利用人数は増加し、児童が将来自立した生活ができるよう、療育支援を中心にサポートすることができた。
事業概要	児童発達支援や放課後等デイサービスなどの支給量を決定する。サービス費用の一部を保護者が負担する。						残された課題	新規の利用希望者の増加に伴い、給付費が増加の一途を辿っており、今後もこの傾向が続く見込み。また、放課後等デイサービスの定員がいっぱいで受入が難しい状況もあるため、新規事業者数を増やし、実利用率の増加を計っていく。
担当課	福祉課	R6事業費 (千円)		580,708			今後の施策展開の方向性	療育事業所のみでなく、家庭、学校、園等が連携し、共通認識のもとで療育支援を提供することにより自立した生活に繋がるよう、引き続き1人1人に応じたサービス提供を実施する。また、障がい福祉計画に基づき、利用者数の増加に応じて新規事業所の創設を推進する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実利用率	%	97	89.4	96.5		100		

事業名	重度心身障害者医療費助成事業						解決した課題	給付件数と金額はともに増加している。重度の障害がある人に対し、必要な医療費を助成し、負担軽減を図った。R6年8月より、国保と社保については現物給付、後期高齢については自動償還払いを開始し、利用者に対するサービスが向上した。(R3年6,900件、R4年6,836件、R5年7,156件、R6年8,712件)
事業概要	重度の心身障がい者を対象に医療機関ごとに通院1,000円、入院2,000円を超えた額を助成する。						残された課題	現物給付により、利用者に対するサービスは向上し、従来の紙面申請による事務負担は軽減されたものの、医療保険に応じた高額医療や付加給付の確認作業、後期高齢データの確認等の事務が煩雑であり、誤りなく適正な給付を行うために、事務処理手順の確立と効率化を行う必要がある。
担当課	福祉課	R6事業費 (千円)		55,320			今後の施策展開の方向性	利用者に対する適切な給付と事務負担軽減のために、事務処理手順を適時確認・見直し、効率化を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
給付率	%	100	100	100		100		

事業名	巡回支援専門員派遣事業						解決した課題	障がいの早期発見・早期対応のための助言等の支援を目的に、計42カ所の園・学校等へ巡回支援及び講演会等を開催することができた。
事業概要	専門員が学校などを巡回し、職員や保護者に早期発見のための助言を行う。						残された課題	巡回支援後、対象児童に対するサポートを充実させるために、園・学校・療育関係機関などの連携を強化する必要がある。
担当課	福祉課	R6事業費 (千円)		7,737			今後の施策展開の方向性	園・学校等に対する環境設定及び保護者や支援者（保育士や教師等）の子どもへの関わり方に対する助言を通じ、支援が必要な子どもと保護者への支援を継続していく。また、巡回支援後、必要な療育関係機関へ繋がるような丁寧な相談支援を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
巡回相談支援回数	回	229	414	512		280		

事業名	ペアレントプログラム事業						解決した課題	令和6年度は3クールで17人修了された。修了者は、家庭内で継続して子どもの成長を支援していく意向がある。
事業概要	保護者や支援者が、子どもの行動の客観的な理解方法を学び、子育てに自信を身につける専門的な講座を開催。						残された課題	講座は少人数で行う必要があり、今後は、修了者が講師的な役割となって講座を実施または講座内容を周知できるような体制となるよう、修了者を増やしていく必要がある。
担当課	福祉課	R6事業費 (千円)		540			今後の施策展開の方向性	継続した講座の実施に加え、修了者による講座実施や講座内容の周知ができるような方法を検討し、家庭内及び地域で子どもの成長をサポートする療育支援体制の強化を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
年間修了者	人	21	17	17		30		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	4	障がい者福祉の充実	B
施策の体系(柱)	2	自立・社会参加と地域共生社会の実現	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・多様な雇用や就労環境整備、居住環境整備の支援、啓発活動実施 ・生活基盤確保、就労継続支援事業充実、一般就労への移行支援 ・趣味や文化・学習活動等への参加の場の提供と情報発信
想定する事業の成果	・多様な雇用や就労環境整備の支援による障がいがある人の雇用の場が確保できる ・障がいのある人がスポーツ、レクリエーション、文化・学習活動等に参加できる場の確保と機会が充実する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	障害者住宅改造成事業	障がい者の在宅環境の改善のため、段差解消や玄関、浴室、台所等の改造成費を一部助成する	1,800	福祉課	A	
2	意思疎通支援事業（再掲）	意思疎通を図ることに支障がある聴覚障がい者等に手話通訳、要約筆記等の方法により、意思疎通を仲介するサービス。	2,006	福祉課	A	
3	地域活動支援センター事業	障がい者等に創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することで、障がい者等の地域生活支援の促進を図る。	4,819	福祉課	B	
4	移動支援事業（再掲）	屋外での移動が困難な障がい者等を対象に外出のための支援を行う。（地域生活支援事業の中の一つ）	2,085	福祉課	B	
5	相談支援事業（再掲）	障がいのある方等からの相談に応じ、情報提供や必要な援助を行うことにより、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。	19,956	福祉課	B	
6	社会参加促進事業	障がい者に対して、自動車運転免許の取得・自動車の改造に要する費用の一部を助成する。（費用の2/3以内で上限10万円）	600	福祉課	A	
7	日常生活用具事業（再掲）	障がい程度に応じた日常生活用具（入浴補助用具、排泄管理支援用具等）の給付を行う。（地域生活支援事業の中の一つ）	6,716	福祉課	A	
8	補装具交付事業（再掲）	身体障がいの部分を補い、生活しやすくするために必要な用具の給付・貸付・修理を行う。	7,342	福祉課	A	
9	障害福祉サービス事業（再掲）	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。	916,438	福祉課	A	●
10	成年後見制度利用支援事業	町長が後見等開始の審判請求を行った場合に、後見人等の報酬の全部又は一部を助成する。	0	福祉課	A	
11	理解促進研修・啓発事業（再掲）	地域住民に対し、障がい者等に対する理解を深めるために、教室等の開催やイベント開催、広報活動を行う。	291	福祉課	B	
12	手話奉仕員養成研修事業（再掲）	聴覚に障がいのある方への理解を深め、社会参加を促進するために手話奉仕員を養成するもの。	155	福祉課	B	
13	障害者優先調達推進事業	国等による障害者就労支援施設等からの物品調達の推進を進める。毎年度調達方針を策定、前年度の調達実績とあわせて公表する。	0	福祉課	B	
14	身体障害者福祉会補助金	大津町身体障害者福祉会の活動に要する経費に対し補助を行う。	40	福祉課	B	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	7	7	0	0	14		B
合計点数	700	525	0	0	1225	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	障害福祉サービス事業（再掲）						解決した課題	支給決定者も増加しており、利用者がそれぞれの生活支援や就労支援などのサービスを利用されることで、安定した生活環境を提供することができた。
事業概要	障害支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。居宅介護、施設入所、就労移行支援等。						残された課題	障害者支援施設への入所希望に対し、待機期間が長い施設がある。また、新規のサービス利用希望者が多くなることで給付費が増加が今後も続く見込み。
担当課	福祉課	R6事業費 (千円)		916,438 千円			今後の施策展開の方向性	対象者のニーズを確認しながら、相談支援事業所やサービス提供事業所との連携のもと、適正な支給決定を行う。また、共生社会の実現にむけて、住み慣れた地域で生活できるよう、地域移行も含めた福祉サービスの提供を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実利用率	%	92.1	93.8	90.1		100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価 B
基本施策	5	地域福祉の充実	
施策の体系(柱)	1	包括的支援体制の構築	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・役場関連部局、各支援機関が連携して対応できる体制づくり ・スムーズな連携に向けたコーディネート役の資質向上、役割明確化 ・個別の相談事例分析を通じた事例別支援方法の一般施策化 ・地域に密着した各種福祉活動の活発化
想定する事業の成果	福祉関連の総合的な相談窓口整備や専門人材の強化・活用による福祉サービスの充実

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	多機関の協働による包括的支援体制構築事業	国の多機関の協働による包括的支援体制構築事業を活用し、福祉総合相談窓口（ふくしの相談窓口）を設置し、横断的な相談体制の確立を図る。	10,966	福祉課	B	●
2	地域づくり推進事業	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。	30,298	福祉課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		
合計点数	0	150	0	0	150	75	B

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域づくり推進事業							解決した課題	第4期大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定にあたり、高校生ワークショップ等を開催し、地域の支え合いに関する課題の整理・分析を行った。また、重層的支援体制整備事業における地域づくり事業を実施する事業者の連絡会を開催し、それぞれの連携を図った。	
事業概要	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。									
担当課	福祉課		R6事業費 (千円)		30,298			千円	残された課題	社会情勢の変化に伴い、住民の地域コミュニティに対する意識が希薄化してきており、各地域で活動を実施することが難しくなっている。住民自らが地域の課題を解決できる体制づくりに向け、地域住民に働きかけを行っていく必要がある。
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
「地域福祉の充実」に対する満足度		%	21.2	19.2	18.0		40.0	今後の施策展開の方向性	地域共生社会の実現に向け、第4期大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、地域住民と町、社協、その他関係機関が連携し、地域支え合いの取り組みを進めるため、積極的に地域に介入し働きかけを行う。併せて、課題解決のための地域資源の掘り起こしとマッチングを進める。	

事業名	多機関の協働による包括的支援体制構築事業							解決した課題	包括化推進会議や重層的支援会議等とおして、様々なケースの情報共有や関係機関の連携が図られ、支援につなげることができた。令和6年度も、前年度に引き続き、関係機関からの相談が多く、相談窓口の関係機関からの認知度も高まってきている。（R6相談件数100件 終結件数37件）	
事業概要	国の多機関の協働による包括的支援体制構築事業を活用し、福祉総合相談窓口（ふくしの相談窓口）を設置し、横断的な相談体制の確立を図る。									
担当課	福祉課		R6事業費 （千円）		10,966			千円	残された課題	終結割合が減少傾向にある。相談者の課題を解決するための社会資源が十分ではないため、終結させることが困難となり、長期的に伴走的支援を行っている事例が多くなっている。相談者に寄り添い、課題解決ができるよう、さらに社会資源の開発、関係機関との連携強化を進める必要がある。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
相談終結割合		%	48	40	37			70	今後の施策展開の方向性	住民の様々な課題解決のため、ふくしの相談窓口の更なる周知、関係機関等との連携強化を行っていく。

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価 B
基本施策	5	地域福祉の充実	
施策の体系(柱)	2	地域福祉意識の高揚	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・平時でも地域での支え合いが実現できる仕組みの共有化・改善 ・地域福祉活動を実施する地区の増加 ・地域課題を議論・解決できる体制構築に向けた地域福祉実践支援 ・災害時の避難行動、適切なケアにつながる受援・支援体制強化 ・孤立を生まない地域福祉に向けた啓発
想定する事業の成果	・民生委員児童委員等の活動支援、災害時における避難行動要支援者を地域で支える仕組みの充実等による地域主体の地域づくり体制の構築

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	災害時避難行動要支援者支援事業	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。	2,231	福祉課	B	●
2	更生保護女性会補助金	「大津町更生保護女性会」の活動に要する経費に対し補助を行う。	40	福祉課	A	
3	保護司会大津支部補助金	法務大臣より委嘱を受けた保護司で組織する「大津町保護司会大津支部」に対し、活動経費の補助を行う。	50	福祉課	A	
4	民生委員・児童委員活動補助金	大津町民生委員児童委員協議会の活動に要する経費に対し補助を行う。	7,766	福祉課	B	●
5	大津町社会福祉協議会補助金	大津町社会福祉協議会の運営に要する経費に対し補助を行う。	25,172	福祉課	B	●
6	老人福祉センター運営事業	高齢者の各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に付与する施設として設置されている大津町老人福祉センターの施設管理運営を行う。	22,707	福祉課	B	
7	災害救助費	大津町災害見舞金支給要綱に基づき、住民が風水害や火災等で被害を受けた際に見舞金を支給する。福祉避難所の運営費用を支給する。	255	福祉課	A	
8	地域づくり推進事業（再掲）	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。	30,298	福祉課	B	●
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	3	5	0	0	8		B
合計点数	300	375	0	0	675	84.4	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域づくり推進事業（再掲）						解決した課題	第4期大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定にあたり、高校生ワークショップ等を開催し、地域の支え合いに関する課題の整理・分析を行った。また、重層的支援体制整備事業における地域づくり事業を実施する事業者の連絡会を開催し、それぞれの連携を図った。
事業概要	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。						残された課題	社会情勢の変化に伴い、住民の地域コミュニティに対する意識が希薄化してきており、各地域で活動を実施することが難しくなっている。住民自らが地域の課題を解決できる体制づくりに向け、地域住民に働きかけを行っていく必要がある。
担当課	福祉課		R6事業費 (千円)		30,298		千円	今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
「地域福祉の充実」に対する満足度		%	21.2	19.2	18.0		40.0	

事業名	大津町社会福祉協議会補助金							解決した課題	社協運営費を補助することにより、安定した運営基盤の確保ができ、各種事業が円滑に遂行できた。
事業概要	大津町社会福祉協議会の運営に要する経費に対し補助を行う。							残された課題	社会福祉協議会自体が、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体のため、営利主導の大幅な収入源確保が見込めない。クラウドファンディング等、自主収入財源の確保について検討も行っているが、具体的な方針は定まっていない
担当課	福祉課		R6事業費 (千円)		25,172 千円				
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	今後も、国や県社協等から新たな事業実施が求められることも想定されるため、社会福祉協議会の人員体制や実施事業の見直し・検討を行っていく。
小地域福祉活動推進地区数		箇所	18	19	20		27		

事業名	民生委員・児童委員活動補助金						解決した課題	地域における委員による支援、見守り活動や相談活動が継続して行なわれており、必要に応じて関係機関へ相談、支援の緊ぎを行っている。また、令和7年度の一斉改選に向け、各行政区とも協議を行い、民生委員の負担軽減のため、定数を1名増員するよう県に申請を行った。	
事業概要	大津町民生委員児童委員協議会の活動に要する経費に対し補助を行う。								
担当課	福祉課		R6事業費 (千円)		7,766		千円	残された課題	地域住民の多様化、困りごとの複雑化により、民生委員活動の困難さも増してきている。負担軽減のため、定数増加による担当区域の分割も検討しているが、候補者選定が難しいことが課題となるため、引き続き各地域との協議が必要である。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
相談件数	回	1,195	962	1166		1,600	今後の施策展開の方向性	地域づくり事業や多機関協働事業等の事業と連携し、民生委員・児童委員の活動について周知・啓発を行い、活動しやすい環境を整えていく。併せて、各種研修等を通じ、民生委員・児童委員自身の資質向上を図り、地域福祉を推進していく。	

事業名	災害時避難行動要支援者支援事業							解決した課題	前年度に引き続き、名簿活用フローやマニュアルを用い、各種会議等で要支援者名簿について説明し、名簿の活用や地域版防災計画の策定を推進した。
事業概要	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。							残された課題	地域においても要支援者名簿の必要性、有用性は認識されている。一方で、3年おきの一斉同意確認では、同意者、不同意者は減少傾向で、支援不要または未提出者が大きく増加したこともあり、同意者数の割合は減少した。地域住民一人ひとりの意識の醸成を図っていく必要がある。
担当課	福祉課		R6事業費 (千円)		2,231 千円				今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
災害時避難行動要支援者名簿記載情報の提供同意者割合		%	46.8	44.8	39.9		55.0		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	1	家庭教育への支援	A
施策の体系(柱)	1	基本的生活習慣の形成・確立	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが健康で知性と感性に富み、人間性豊かに育つ環境づくり 「家庭教育力」の向上 学校・家庭・地域の連携による「地域とともにある学校づくり」
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの育みにかかる共通目標としての「育ちのステップ」の活用と関係機関の連携の構築 子どもの育ちを応援する親同士の交流の促進や、乳幼児期から学齢期につながる切れ目のない子どもの育ちの支援による家庭教育力の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	「大津町学校教育ビジョン」における共通実践事項の評価	取組状況について、学校・園ごとに評価したものを集約し、その達成度について検証を行う。	0	学校教育課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

⑤-1 主要な事業の状況									
事業名	「大津町学校教育ビジョン」における共通実践事項の評価						解決した課題	全校での継続した取組により、高い水準を保っている。	
事業概要	取組状況について、学校・園ごとに評価したものを集約し、その達成度について検証を行う。								残された課題
担当課	学校教育課		R6事業費 (千円)		0		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	1	家庭教育への支援	B
施策の体系(柱)	2	親力・家庭教育力の向上	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちや保護者の相談に対応することで、学習の機会及び楽しい学校生活を確保する ・子どもたちが健康で知性と感性に富み、人間性豊かに育つ環境づくり ・「家庭教育力」の向上 ・学校・家庭・地域の連携による「地域とともにある学校づくり」
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒が相談機関につながっている割合の向上 ・子どもの育みにかかる共通目標としての「育ちのステップ」の活用と関係機関の連携の構築 ・子どもの育ちを応援する親同士の交流の促進や、乳幼児期から学齢期につながる切れ目のない子どもの育ちの支援による家庭教育力の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	教育相談事業	いじめ・不登校をはじめとする教育や子育てに関する専門的な相談業務を実施する。	22,451	学校教育課	A	●
2	くまもと「親の学び」推進事業	・くまもと「親の学び」プログラムの推進	0	生涯学習課	B	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0	2		B
合計点数	100	75	0	0	175	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	教育相談事業						解決した課題	S S W など関係機関との連携により、継続的に対応ができています。
事業概要	いじめ・不登校をはじめとする教育や子育てに関する専門的な相談業務を実施する。						残された課題	対象児童生徒数の増加により、現在の組織では対応が追い付かない状態になってきている。
担当課	学校教育課	R6事業費 (千円)		22,451 千円			今後の施策展開の方向性	校内教育支援センターの設置や多様な支援の在り方を検討し、より早期に児童生徒の様子の変化にアプローチし、より身近に相談できる体制整備を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
関係機関から支援を受けている割合	%	94	100	94		100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	1	家庭教育への支援	A
施策の体系(柱)	3	困難を抱える家庭への支援	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・ おかれた家庭の状況に関わらず、すべての子どもたちが安心して学ぶことができる環境整備
想定する事業の成果	・ 対象となる世帯が漏れなく申請を行い、受給につながった割合の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業	要保護・準要保護世帯の児童生徒に対して援助を行う。	47,482	学校教育課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業						解決した課題	援助を行うことにより保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等の一助とすることができた。
事業概要	要保護・準要保護世帯の児童生徒に対して援助を行う。						残された課題	
担当課	学校教育課	R6事業費 (千円)		47,482 千円			今後の施策展開の方向性	制度の周知方法の見直しや支給費目の拡大など制度の一層の充実に向けて検討を重ねる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
認定者数	人	497	528	551		—		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	2	幼児教育・学校教育の充実	A
施策の体系(柱)	1	幼児教育（就学前教育）の充実と学校教育との連携強化	

1. 施策の目的（PLAN）

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、保育所、認定こども園等における質の高い幼児教育の提供 ・ 幼児期の学び・育ちを基礎として、小学校での学校生活に円滑に移行する ・ 保護者の育ちの支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「親の学び」プログラムを活用した保育所、幼稚園、認定こども園等の割合の向上 ・ 保育の質の向上 ・ 就学を見据えた教育内容の充実 ・ 保護者支援の充実

2. 目的達成に向けた実施事業（DO）

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	陣内幼稚園管理費	・ 幼児教育機関として、教育課程に基づく保育・教育活動を行う。併せて、幼保小中連携や人権教育の推進、地域との交流等も行う。	19,264	子育て支援課	A	●
2	くまもと「親の学び」推進事業（再掲）	・ くまもと「親の学び」プログラムの推進	0	生涯学習課	B	
3	保育園管理運営事業（大津保育園）（再掲）	・ 園児の健やかな成長と発達を支える保育及び園舎の維持管理・運営を行う。併せて、幼保小中連携等も推進する。	90,384	子育て支援課	A	●
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	1	0	0	3		A
合計点数	200	75	0	0	275	91.7	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	保育園管理運営事業（大津保育園）（再掲）						解決した課題	保護者の育児相談への対応を行うことで、保護者支援につながった。
事業概要	・園児の健やかな成長と発達を支える保育及び園舎の維持管理・運営を行う。併せて、幼保小中連携等も推進する。						残された課題	保護者のニーズの多様化、園児の多国籍化、特別な支援を要する園児等への細やかな対応と家庭支援を行うこと。出生数の減少が園児数の減少につながっている。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		90,384 千円			今後の施策展開の方向性	多様化する保護者のニーズに対応する保育を構築していく。大津町公立保育等再編方針に基づき、公立認定こども園の整備を行っていく。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
園児数	人	125	114	107		120		

事業名	陣内幼稚園管理費						解決した課題	園児数は減少しているが、幼稚園教育を望まれている保護者やその他の事情により本園に入園を希望される保護者のニーズには応えることができた。
事業概要	・幼児教育機関として、教育課程に基づく保育・教育活動を行う。併せて、幼保小中連携や人権教育の推進、地域との交流等も行う。						残された課題	園児数の減少、施設の老朽化、大津町公立保育等再編計画に伴う保護者の不安解消。
担当課	子育て支援課	R6事業費 (千円)		19,264 千円			今後の施策展開の方向性	令和10年度の公立認定こども園開園を視野に入れ、公立園同士、情報共有を行いながら、取り組みを進めていく。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
登録者数	人	37	35	37		30		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	2	幼児教育・学校教育の充実	A
施策の体系(柱)	2	確かな学力の育成	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを最大限活用した学びの実現に向けた授業改善 ・自然災害等でも途切れず、学びの保障が可能なICT環境の適切な維持と活用 ・教職員の実践的指導力を高めるための研修会や先進地研修等を実施することで、育成すべき児童生徒像を共有し、共通実践を図る。
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力の向上 ・教職員の資質向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	情報教育関連事業	GIGAスクール構想により、ICT環境の整備を行う。 情報機器の活用促進・向上を行う。	62,436	教育施設課	A	
2	学校人材育成事業補助金	小中学校等の教職員の実践的指導力を高めるための研修会や先進地研修等に要する経費を補助する。	520	学校教育課	A	
3	研究指定校補助金	各学校の教育課題等の改善に関する研究に要する経費を補助することで、教職員の指導力向上や課題解決意識の向上を支援する。	1,000	学校教育課	A	
4	中体連及び九州大会出場補助金	中体連及び九州大会に出場する選手や指導者に対し、補助を行う。	1,364	学校教育課	A	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	4	0	0	0	4		A
合計点数	400	0	0	0	400	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	2	幼児教育・学校教育の充実	A
施策の体系(柱)	3	豊かな心・人間性の育成	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的実践力や人権感覚を培うための道徳教育や人権教育の充実 ・いじめの問題や不登校への対応に向けた、教育相談体制等の推進 ・児童生徒への適切な指導を進める体制の整備 ・子どもたちがふるさとの歴史と文化に誇りが持てる教育の推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育や人権教育の充実 ・校内組織や関係機関との報告・連絡・相談の徹底 ・ソーシャルワーカーや、臨床心理士による専門的な支援、および教育支援センターを活用した児童・生徒・家庭・学校のサポートの充実 ・体験活動の充実、地域における学びの機会の充実や副読本「私たちの大津町」の活用による大津の歴史と文化にふれる教育機会の充実

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	学校教育推進事業補助金	各学校に補助を行う ①放課後スポーツクラブ活動補助(中学校のみ) ②地域を巻き込んだ人権教育推進に関する補助 ③特色ある学校づくりに対する補助 ④進路指導の充実に対する補助(中学校のみ)	4,934	学校教育課	A	●
2	教育相談事業	いじめ・不登校をはじめとする教育や子育てに関する専門的な相談業務を実施する。	22,451	学校教育課	A	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		A
合計点数	200	0	0	0	200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	学校教育推進事業補助金						解決した課題	S S W など関係機関との連携により、継続的に対応ができています。
事業概要	各学校に補助を行う ①放課後スポーツクラブ活動補助（中学校のみ） ②地域を巻き込んだ人権教育推進に関する補助 ③特色ある学校づくりに対する補助 ④進路指導の充実に対する補助（中学校のみ）						残された課題	対象児童生徒数の増加により、現在の組織では対応が追い付かない状態になってきている。
担当課	学校教育課	R6事業費 (千円)		4,934 千円			今後の施策展開の方向性	校内教育支援センターの設置や多様な支援の在り方を検討し、より早期に児童生徒の様子の変化にアプローチし、より身近に相談できる体制整備を行う。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
関係機関から支援を受けている割合	%	94	100	94		100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	2	幼児教育・学校教育の充実	A
施策の体系(柱)	4	健やかな体・健康の増進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたって健康でいられる体力づくりの推進 ・自ら健康管理や安全管理ができる子どもの育成や食と地域を結ぶ意識の醸成 ・安全安心な魅力ある給食の提供
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・体育学習の充実や社会体育と連携したスポーツ環境の創造による子どもの体力の強化 ・栄養教諭等を活用した食育の推進により、自ら健康管理ができる子どもの育成と大津産品の理解の醸成 ・施設の改善・維持管理の他、学校給食衛生管理の基準を遵守することによる安全安心な給食の提供

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	給食センター管理運営事業	バランスの取れた安心安全でおいしい給食を提供するとともに食育の推進を行う。	173,487	学校教育課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	給食センター管理運営事業						解決した課題	給食の時間を活用した食材説明や学校との連携による「食の大切さ」を学ぶ取り組みを実践することができた。
事業概要	バランスの取れた安心安全でおいしい給食を提供するとともに食育の推進を行う。						残された課題	家庭での食習慣改善や朝食欠食対策など、学校給食だけでは解決できない課題が残っている。
担当課	学校教育課	R6事業費 (千円)		173,487 千円			今後の施策展開の方向性	学校と連携した食に関する授業の実施や残さいの削減を意識した食育の実施。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
給食センターの学校訪問指導	回	22	33	37		24		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	2	幼児教育・学校教育の充実	B
施策の体系(柱)	5	国際社会を生きる力の育成	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・英語力や国際感覚の向上 ・一人ひとりの社会的・職業的自立に向けたキャリア教育及び自ら将来を考える力の育成 ・郷土への誇りや愛着、時代の担い手意識を育む伝統と文化を学ぶ地域学習や主権者教育の充実
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・中学3年生で英検3級以上を取得または相当する力を持つ生徒の割合の向上 ・中学1学年および2年生で英語の勉強が好きな生徒の割合の向上 ・国際的視野を持った人材の育成による町民の国際感覚の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	英検受験料補助金	小中学生の英検受験料を一部補助する。	2,131	学校教育課	A	
2	国際交流事業	姉妹都市とのホームステイプログラムや国際交流員による交流プログラムを通して、異文化に触れる機会を創出し、国際的視野を持った人材を育てる。	21,018	総合政策課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0	2		B
合計点数	100	75	0	0	175	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	国際交流事業						解決した課題	外国人相談窓口の運用によって、町内在住の外国人に対する支援を継続している。
事業概要	姉妹都市とのホームステイプログラムや国際交流員による交流プログラムを通して、異文化に触れる機会を創出し、国際的視野を持った人材を育てる。						残された課題	・水難事故検証委員会報告書の提言を踏まえた姉妹都市交流事業の方向性の検討
担当課	総合政策課	R6事業費 (千円)		21,018 千円			今後の施策展開の方向性	・大津町国際交流協会等と協力しながら、増加する外国人への支援を行う。 ・多言語化などの多文化共生の取り組みは、全庁的に必要となるため、各課と連携しながら課題の把握に努める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
国際交流員派遣事業数	回	229	214	243		-		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	2	幼児教育・学校教育の充実	A
施策の体系(柱)	6	教育環境の整備・充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 施設の経年や児童生徒数の状況に応じた計画的な施設整備 学習支援指導員を配置し、より手厚い授業を行うことで、全ての子どもたちが「わかる喜び」を感じ、自主的に積極的な学習意欲を高める。
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 安全な教育環境の維持 学力調査の正答率の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	学校教育施設運営、管理事業	町内小中学校の施設整備、営繕を行う。	180,648	教育施設課	A	
2	学校教育備品	学校の教育備品の整備を行う。	6,205	教育施設課	A	
3	小中学校増築及び改修工事	小中学校の増築、改修工事を計画的に行う。	1,114,626	教育施設課	A	
4	学習支援指導員、特別支援・学校生活支援補助員配置事業	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校に学習支援指導員を配置し、基礎学力の向上を図る。 各小中学校に学校支援員を配置し、支援を要する児童生徒の学習・生活の支援を行う。 	127,971	学校教育課	A	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	4	0	0	0	4		A
合計点数	400	0	0	0	400	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

01 主要な事業の状況									
事業名	学習支援指導員、特別支援・学校生活支援補助員配置事業							解決した課題	学習支援指導員による学習のサポート、学校支援員による支援を要する児童生徒への学習・生活への個別の支援が充実した。
事業概要	・各小中学校に学習支援指導員を配置し、基礎学力の向上を図る。 ・各小中学校に学校支援員を配置し、支援を要する児童生徒の学習・生活の支援を行う。							残された課題	医療的ケアが必要な児童生徒に支援を行う特別支援補助員（看護師）の確保に苦慮することがある。
担当課	学校教育課		R6事業費 (千円)		127,971 千円			今後の施策展開の方向性	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに的確に対応することができるよう、また、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、適切に指導員等を配置する。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町学力調査正答率（小）		点	98	98	97		100以上		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	3	生涯学習・生涯スポーツの推進	B
施策の体系(柱)	1	生涯学習の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズを捉えた多様な魅力ある生涯学習講座等の開催およびSNS等も活用した多様な世代の参加促進と地域人材の後継者育成 ・図書館の魅力化による利用促進に向けた各種イベント・講座の開催や資料の充実 ・地域学校協働活動推進員や学校と共に進める地域の特色を生かした活動、子どもの居場所づくりの推進（地域と共にある学校づくり）
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や立場に応じて多様な学習機会が提供され、生涯学習を通じて自己実現や生きがいを持つことができること、また健康・福祉・趣味・キャリアアップ形成など生活全般の質の向上に寄与する。 ・公民館・図書館・生涯学習施設などの利活用が進み公共施設の役割を高め、新しい「学びの形」や地域の発展に寄与する。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	生涯学習推進事業	生涯学習事業の実施や家庭教育の推進を図る	12,769	生涯学習課	B	●
2	公民館運営事業	各種学級、講座の充実と地域人材の育成	7,442	生涯学習課	B	
3	子ども読書活動推進事業	第四次大津町子ども読書活動推進計画に基づき子どもの読書活動の推進を図る	330	生涯学習課	B	
4	移動図書館の運行	図書館から遠い地域や学校等へ移動図書館を運行し、どこでも読書活動ができる環境を作る	494	生涯学習課	A	
5	各種イベント・講座実施事業	住民の図書館利用を促進するため、各種イベント・講座を開催する	45	生涯学習課	A	
6	図書館施設整備事業	図書館を適正に管理運営するために、必要に応じて計画的に施設の整備改修を行う	13,097	生涯学習課	B	●
7	図書館の運営	資料の充実と整備。利用のための相談対応。他の図書館との連携。読書会等の開催、時事に関する情報の紹介及び提供	43,300	生涯学習課	A	●
8	蔵書の充実	新しく出版される図書やリクエストされる図書の中から、町民に広く利用されることが見込まれるものを選定し購入する	14,768	生涯学習課	A	
9	社会教育関係団体体育成費	活動費負担・補助	900	生涯学習課	B	
10	文化事業助成金	文化ホール事業を実施する文化ホール事業運営委員会に対して、事業費の補助を行う	4,500	生涯学習課	A	
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	5	5	0	0	10		B
合計点数	500	375	0	0	875	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	図書館の運営						解決した課題	全国的な課題である読書離れの傾向は懸念されるが、図書館が固いイメージではなく、読書以外の活用できる自己実現の場となる地域の拠点施設として認知されてきた。
事業概要	資料の充実と整備。利用のための相談対応。他の図書館との連携。読書会等の開催、時事に関する情報の紹介及び提供						残された課題	公共図書館の基本的な役割は変わらないものの、社会の変化に対応した図書館像が求められている。地域活性化の拠点やビジネス支援等への対応が必要。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		43,300 千円			今後の施策展開の方向性	これからの「おおづ図書館像」については、「集える・憩える・役に立つ」をコンセプトに、選書基準の見直しや他機関との連携を図り、さらに充実を図っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
来館目的達成度	%	79	70	65		100		

事業名	図書館施設整備事業						解決した課題	開館22年を過ぎ経年劣化はみられるが、施設使用は維持できている。空調機、自動ドア、エレベーター、電動書架は更新の時期を超えている。
事業概要	図書館を適正に管理運営するために、必要に応じて計画的に施設の整備改修を行う						残された課題	更新時期を超えた設備が不能となった場合に急きょ閉館等の措置を取り、図書館サービスの停止を招けば、町民に著しい損失を与えることになる。計画的な更新工事が必要と思える。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		13,097 千円			今後の施策展開の方向性	大規模改修事業の計画は後倒しとなっているためメンテナンスに注意し業務継続を行う。遅れた期間を有効活用し、これから住民に求められる図書館運営ができるリニューアルも検討する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実施した施設整備進捗度	%	100	100	100		100		

事業名	生涯学習推進事業						解決した課題	社会教育事業については、秋季体験キャンプ・お茶の淹れ方講座などを計画し貴重な体験学習の機会を提供できた。地域学校協働活動推進員と連携し、各地区での事業推進ができた。
事業概要	生涯学習事業の実施や家庭教育の推進を図る						残された課題	学習効果を活用する機会を整備し、継続して学習できる環境を整える必要がある。また、学校区により、推進状況に差が生じているため、校区をまたいだ活動や情報共有の強化も必要。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		12,769 千円			今後の施策展開の方向性	町民ニーズが多様化しているため、従来行っていた事業実施方法を見直していく。また、社会教育指導員が行う業務を整理し、様々な業務に携わることで係としての業務を円滑に進めていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
コーディネーター会議開催数	回	2	2	3		3		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	3	生涯学習・生涯スポーツの推進	B
施策の体系(柱)	2	生涯学習環境の整備	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働と積極的な情報発信による地域施設の利活用の推進および生涯学習や地域コミュニティの拠り所である集会所等への支援 ・老朽化が進むとともに大きな事業費が必要となる生涯学習センターの改修に向けた効率的な整備運用の本格検討
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設等の環境改善により誰もが学び続けられる基盤・安心して活動を行う拠点が整う。 ・生涯学習を基盤とした地域文化の継承や地域づくり活動が広がる。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	生涯学習施設運営費	町民のふれあい、生涯学習、文化活動及びサークル活動の場として、町民をはじめ町内外の利用者が安価で利用できる場として、施設の貸し出しと適切な管理運営を実施する。	25,287	生涯学習課	B	●
2	公民館管理費	全町民を対象に様々な公民館活動・生涯学習の拠点として活用されている公民館分館（大津・陣内）の管理、施設設備の充実を図る	9,857	生涯学習課	B	●
3	生涯学習センター管理運営事業	公民館講座、会議及び研修会等に活用するために、生涯学習センターの管理運営を適正に行う	33,563	生涯学習課	B	●
4	地域学習センター整備費	各行政区が行う集会所等の改修、整備、用地取得、備品購入に一定の補助を行うことにより、地域コミュニティの醸成やあらゆる地域活動の拠点づくりを支援する	416	生涯学習課	A	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	3	0	0	4		B
合計点数	100	225	0	0	325	81.3	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	生涯学習施設運営費						解決した課題	野外活動等研修センターをLED化するとともに、野外ミーティングルーム、矢護川コミュニティセンター体育館など応急的な修理を行った。
事業概要	町民のふれあい、生涯学習、文化活動及びサークル活動の場として、町民をはじめ町内外の利用者が安価で利用できる場として、施設の貸し出しと適切な管理運営を実施する。						残された課題	施設の老朽化が進み、修理・補修の費用が増大している。また、予約システムにも改善の余地があるため、改修等について検討していく。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		25,287 千円			今後の施策展開の方向性	安全管理を徹底するとともに、利用者ニーズを把握することで、誰もが気軽に利用できるような施設管理に努める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用者数	人	21,208	27,513	32,144		28,000		

事業名	公民館管理費						解決した課題	オンラインでの施設予約システムを導入し、住民が利用しやすい環境を整えた。
事業概要	全町民を対象に様々な公民館活動・生涯学習の拠点として活用されている公民館分館（大津・陣内）の管理、施設設備の充実を図る						残された課題	陣内地区公民館分館は、全体として老朽化が進んでおり適正に維持管理するには多くの費用を要する。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		9,857 千円			今後の施策展開の方向性	公民館分館の施設管理を適切に行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
施設稼働率	%	55	59	58		60		

事業名	生涯学習センター管理運営事業						解決した課題	建物・設備の老朽化に伴い文化ホール排煙口や天井・壁の一部、調理室のガス設備等の修繕を行った。
事業概要	各行政区が行う集会所等の改修、整備、用地取得、備品購入に一定の補助を行うことにより、地域コミュニティの醸成やあらゆる地域活動の拠点づくりを支援する						残された課題	全体的に老朽化が進んでおり、小規模の修繕では対応できない部分も出てきている。大規模改修に向けた改修計画の策定が必要である。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		33,563 千円			今後の施策展開の方向性	安全管理を徹底するとともに利用者のニーズを的確に把握することで、誰もが、いつでも、楽しく有意義に利用できるような施設管理を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
施設稼働率	%	46	50	51		60		

事業名	地域学習センター整備費						解決した課題	地域集会所等に必要な施設整備を行うことができた
事業概要	公民館講座、会議及び研修会等に活用するために、生涯学習センターの管理運営を適正に行う						残された課題	全額一般財源での対応となるため、財源の確保が必要
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		416 千円			今後の施策展開の方向性	行政嘱託員会議の中での制度の案内を行った上で、見込みの調査を行い区長との連絡を密にし対応していく
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
施設改修等	件	4	4	4		4		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	3	生涯学習・生涯スポーツの推進	B
施策の体系(柱)	3	スポーツ環境の基盤整備・活用	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い町民のスポーツ活動を支え推進する指導者の人材育成および支援 ・個別施設計画に基づいたスポーツ施設の計画的な改修および効率的・効果的な施設運営に向けた指定管理も含めた運用検討・改善 ・スポーツコミッション等との情報共有・連携による効率的・合理的なスポーツ大会・合宿等の誘致 ・商業・観光分野との連携強化による、施設利用者がもたらす町の経済効果の創出・最大化
想定する事業の成果	

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	スポーツ団体歓迎等事業費	スポーツ施設を生かしたスポーツコンベンションの推進を図る	228	生涯学習課	B	●
2	体育施設費	指定管理者制度の導入によりスポーツ施設の維持管理を行う	156,615	生涯学習課	B	●
3	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金(再掲)	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。	800	商業観光課	B	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	3	0	0	3		B
合計点数	0	225	0	0	225	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	体育施設費						解決した課題	社会体育施設の指定管理へ移行し2年目。コロナ禍で減少した各種大会やイベントも活動が再開し、利用者数も増加傾向となる。
事業概要	指定管理者制度の導入によりスポーツ施設の維持管理・運営を行う。老朽化した体育施設について、優先順位等を考慮しながら中長期計画により進めていく。						残された課題	老朽化した施設も多く施設の長寿命化や大規模改修を計画的に進める必要がある。優先順位を考え取り組まなければならない。併せてその財源確保も課題である。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		156,615 千円			今後の施策展開の方向性	スポーツ施設の計画的な改修等を行いながら、利用者の安全を第一に考え、民間のノウハウを最大限に生かしながら多様なニーズに十分答えられ、全市民が恩恵を受けることができるよう取り組んでいく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
運動公園利用者数	人	206,657	282,398	287,653		200,000		

事業名	スポーツ団体歓迎等事業費						解決した課題	運動公園を中心に宿泊を伴う大会等、利用団体数を増やすことが出来た。
事業概要	スポーツ施設を生かしたスポーツコンベンションの推進を図る						残された課題	熊本県及び町スポーツ文化コミッションと町指定管理者等と更なる連携の取り組みの計画実施
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		228 千円			今後の施策展開の方向性	町のスポーツ施設を有効的・効率的に活用することによるスポーツ・健康・観光等との連携した取組の計画実施
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
宿泊者数	人	3,448	3,082	4,161		5,500		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	3	生涯学習・生涯スポーツの推進	B
施策の体系(柱)	4	スポーツ活動の場および機会の提供	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ関係団体の支援と組織強化。また、幅広い市民のスポーツ活動を支援推進する指導者の人材育成等 ・スポーツ関係団体と連携し市民のスポーツ実施率の向上を図るため初心者を対象としたスポーツ教室等実施 ・中学校部活動の休日の地域展開の推進 ・スポーツコミッション等との情報共有・連携による効率的・合理的なスポーツ大会・合宿等の誘致 ・商業・観光分野との連携強化による、施設利用者がもたらす町の経済効果の創出・最大化
想定する事業の成果	

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	保健体育総務費	生涯スポーツ推進に必要な事業費	16,160	生涯学習課	B	●
2	ふれあいスポーツ事業	市民のスポーツ実施率の向上を図るために初心者を対象としたスポーツ教室等を開催する	178	生涯学習課	B	●
3	スポーツ振興負担金及び補助金	生涯スポーツの推進を図るために各種団体等への負担金及び補助金を支出する	6,828	生涯学習課	B	●
4	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金（再掲）	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。	800	商業観光課	B	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	4	0	0	4		B
合計点数	0	300	0	0	300	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	保健体育総務費						解決した課題	コロナ禍後のスポーツ活動や各団体競技種目の活動及び施設の利用者増に繋がっている
事業概要	生涯スポーツ推進に必要な事業費						残された課題	中学校部活動の休日における地域展開に向け、更なる組織体制・人材確保・財源の確保などが課題である
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		16,160 千円			今後の施策展開の方向性	各種目において大津町にゆかりのトップアスリートも多く輩出されつつあり、スポーツのまち大津を推進し子ども達や高齢者の健康づくりも見据えた組織・人材育成の取り組みと推進が求められる
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
学童スポーツ参加者数	人	196	202	226		200		

事業名	ふれあいスポーツ事業						解決した課題	指定管理へ移行し2年目。施設管理だけでなく自主事業として各種教室・講座を展開し利用者は増加傾向にある。それとは別に町や関係団体による事業やイベントが行われている。
事業概要	町民のスポーツ実施率の向上を図るためにスポーツ関係団体と連携し、初心者を対象としたスポーツ教室等を実施していく						残された課題	スポーツ推進委員やスポーツ関連団体、その他の団体と協働と連携による取り組みが課題である
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		178 千円			今後の施策展開の方向性	今後、スポーツ、健康、観光等と連携したスポーツ機会を提供する。また、社会情勢の変化による外国籍の方々も多く、今後は多様なスポーツ機会の提供と併せた交流事業なども検討が必要である。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町民のスポーツ実施率	%	51.6	49.6	49		65		

事業名	スポーツ振興負担金及び補助金						解決した課題	令和6年度のジョギングフェスティバルは、コロナ禍前の通常の計画をし多くのスポーツ関連団体ボランティアの協力により計画実施をすることが出来た。
事業概要	生涯スポーツの推進を図るために各種団体等への負担金及び補助金を支出する						残された課題	長年、大津町の特色として活動してきた校区スポーツ振興会が社会情勢の変化などにより減少傾向にある。今後の町のスポーツ振興推進についても、健康や観光などとも連携した多様な取り組みが求められる。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		6,828 千円			今後の施策展開の方向性	本町の社会情勢の変化に伴い、各種団体との連携や健康づくりと観光部門と連携しながら町スポーツ推進の方向性を練りなおしていくことが求められる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
補助金団体	団体	5	4	4		-		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	4	地域の歴史・文化の継承と振興	B
施策の体系(柱)	1	文化の継承・振興	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財や伝統行事を正しく知り・守り・語ることの出来る人材の育成および若年層の歴史文化保全活動への参画推進 ・町民の文化活動の促進に向けた、図書館や生涯学習センター、歴史文化伝承館における町の歴史文化・伝統に関するイベントや学習機会の創出 ・町の歴史文化の発信拠点としての歴史文化伝承館の展示内容の充実 ・幅広い町民層に対して分かりやすく訴求力のある情報発信
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能や伝統行事が継続され、次世代に伝わる体制が整備される。 ・地域住民が文化活動に参加しやすくなり、生涯活動や文化活動の充実につながる。 ・子どもから高齢者まで幅広い世代が文化に触れる機会が増加し、交流や世代間理解が進む。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	文化芸術振興費	団体補助による振興・育成支援	830	生涯学習課	B	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		B
合計点数	0	75	0	0	75	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	文化芸術振興費						解決した課題	地域のイベントに参加することで、地域での学習機会の提供や町内外への広報につながった
事業概要	団体補助による振興・育成支援						残された課題	会員の高齢化や後継者不足、次世代継承者の発掘
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		830 千円			今後の施策展開の方向性	地域における認知度を高め、会の発展による伝承効果を高めるとともに、次世代へ向けた人材育成を図る
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
イベント	回	3	3	3		3		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	3	「教育・文化」ふるさとを愛し未来に夢が膨らむまち	施策評価
基本施策	4	地域の歴史・文化の継承と振興	B
施策の体系(柱)	2	文化財の保護・活用	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町民自らが文化財保護活動に参画できる取り組みの推進▶町民や地域の保有する「隠れた文化財」の掘り起こし ・学芸員を中心とした町内の文化財の調査・収集 ・「江藤家住宅」をはじめとした名所・拠点となる歴史文化資源を生かす、観光協会等とも連携した多様な情報発信とプロモーション ・町の歴史文化学習を通じた郷土への理解や誇り、地域愛の醸成 ・総合学習や地域学校協働活動など、学校教育と連携した歴史文化の継承
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を後世に引き継ぐための適切な保護・管理体制が構築される。 ・住民が地域の歴史や文化を再認識し、ほこりや愛着の醸成につながる。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	文化財保存整備費	文化財について文化財説明版・文化財標柱を設置・修理し、保護・活用を図る。町史や文化財について、一定の知識を有する人材を育成し、講座の講師やイベント時の説明・案内を依頼する。また開発行為に伴う影響の有無を事前に調査し、その保護を図る。	1,774	生涯学習課	B	●
2	文化施設運営費	町の文化財や歴史民俗資料、町内の発掘調査で出土した考古遺物を展示・公開し、整理・収蔵する	8,430	生涯学習課	B	●
3	江藤家住宅整備事業	国指定文化財である江藤家住宅を地域振興の拠点として位置づけ、所有者・地区の理解と協力を得ながら地域づくりを推進する。また、文化財の説明や地域の協力者の人材育成等も併せて推進する	2,262	生涯学習課	B	●
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	3	0	0	3		B
合計点数	0	225	0	0	225	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	文化施設運営費						解決した課題	町内の小学校からの見学者を受け入れ、地域の文化財について学ぶ機会を提供できた。また、国外からの来訪団体に対し、梅の造花の制作説明を行うなど、伝統文化に関する活動を行うことができた
事業概要	町の文化財や歴史民俗資料、町内の発掘調査で出土した考古遺物を展示・公開し、整理・収蔵する						残された課題	史跡・文化財等について、わかりやすく興味を得られるような資料の提供に努める必要がある
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		8,430 千円			今後の施策展開の方向性	収蔵資料の展示・公開の工夫および文化財等に触れる機会を拡充する。また、文化財保存活用地域計画を含めた広報活動なども積極的に行っていきたい。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
展示見学者数	人	2446	2476	2334		3400		

事業名	文化財保存整備費						解決した課題	歴史講座において文化財保護委員が受講者に説明を行い、史跡・文化財に対する関心を持たせる契機となった。
事業概要	文化財について文化財説明版・文化財標柱を設置・修理し、保護・活用を図る。町史や文化財について、一定の知識を有する人材を育成し、講座の講師やイベント時の説明・案内を依頼する。また開発行為に伴う影響の有無を事前に調査し、その保護を図る。						残された課題	説明版の老朽化のため計画的な修繕が必要。また、説明版の設置だけでなく、文化財の整理・まとめ作業等を行いHPや情報誌を活用し情報発信を行う必要がある。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		1,774 千円			今後の施策展開の方向性	身近な地域の文化財や人材を活用しながら、文化財保存活用地域計画の策定も検討する。また、地域・関係機関、団体と連携した学校教育及び生涯学習を展開する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
文化財人材登録者数	人	12	10	10		15		

事業名	江藤家住宅整備事業						解決した課題	通常の一般公開に加え附小屋（資料展示室）の公開を行い、文化財に見て触れる機会を増やすことができた
事業概要	国指定文化財である江藤家住宅を地域振興の拠点として位置づけ、所有者・地区の理解と協力を得ながら地域づくりを推進する。また、文化財の説明や地域の協力者の人材育成等も併せて推進する						残された課題	若年層や外国からのインバウンドなど町内外の見学者を増やすため、周知方法等を検討する必要がある
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		2,262 千円			今後の施策展開の方向性	地域との連携を密に行い、担い手の育成や江藤家住宅を活用した地域型学習への展開を目指す
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
見学者数	人	603	822	810		650		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	1	土地利用政策の推進	B
施策の体系(柱)	1	計画的な土地利用の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観と調和したまちづくり推進 ・計画的な土地利用推進 ・都市計画マスタープランと大津都市計画区域マスタープランの整合 ・立地適正化計画策定
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの作成 ・用途地域等の見直し

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	都市計画審議会	都市計画道路や公園、下水道などの都市に欠かせない施設の計画決定や変更、土地利用の制限などを審議するもの	65	都市計画課	B	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		B
合計点数	0	75	0	0	75	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

①、主要な事業の状況									
事業名	都市計画審議会						解決した課題		都市計画マスタープランの改定等において、都市計画上はもとより、地域住民・事業者視点でも配慮のある、有意義な審議を行うことができた。
事業概要	都市計画道路や公園、下水道などの都市に欠かせない施設の計画決定や変更、土地利用の制限などを審議するもの								
担当課	都市計画課		R6事業費 (千円)		65 千円			残された課題	今後も改定作業等の各段階毎に、継続して審議を行う必要がある。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	今後も、社会情勢の変化に注視し、土地利用の特性を考慮しながら、各種案件の審議を行う必要がある。
都市計画審議会		回	1	1	1				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 B
基本施策	1	土地利用政策の推進	
施策の体系(柱)	2	南部・北部まちづくり計画の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道路網や拠点等の整備検討 ・賑わいを生む町並みと動線づくり（南部） ・地域の交流拠点づくり（北部）
想定する事業の成果	町民が交流する場を創出することにより、施設の有効活用及び生きがいがいづくりに寄与する。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	生涯学習施設運営費	町民のふれあい、生涯学習、文化活動、サークル活動の場とし、町民をはじめ町内外の利用者が、低料金で利用できる施設として適切な管理運営を実施する。	25,287	生涯学習課	B	●
2	観光振興事業（再掲）	地域の特性を活かした観光振興により、地域経済の活性化を図る。	11,880	商業観光課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	生涯学習施設運営費						解決した課題	野外活動等研修センターをLED化するとともに、野外ミーティングルーム、矢護川コミュニティセンター体育館など応急的な修理を行った。
事業概要	町民のふれあい、生涯学習、文化活動、サークル活動の場とし、町民をはじめ町内外の利用者が、低料金で利用できる施設として適切な管理運営を実施する。						残された課題	施設の老朽化が進み、修理・補修の費用が増大している。また、予約システムにも改善の余地があるため、改修等について検討していく。
担当課	生涯学習課	R6事業費 (千円)		25,287 千円			今後の施策展開の方向性	安全管理を徹底するとともに、利用者ニーズを把握することで、誰もが気軽に利用できるよう施設管理に努める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用者数	人	21,208	27,513	32,144		28,000		

事業名	観光振興事業（再掲）						解決した課題	観光協会でホームページ、マップ、ポスターと視覚化できるものが増加した、またにぎわい創出として夜市を4回開催することが出来た。
事業概要	地域の特性を活かした観光振興により、地域経済の活性化を図る。						残された課題	持続可能な事業展開を図るため、体験型観光の創出やスポーツコンベンションの推進、ふるさと納税返礼品の開発などを進めていく必要がある
担当課	商業観光課	R6事業費 (千円)		11,625 千円			今後の施策展開の方向性	観光協会の組織体制の安定化を図り、歴史、文化、自然を活かした体験型観光や地元企業と連携した産業観光の創出、スポーツコンベンションの推進など、経済効果につながる事業を展開し、地域の活性化を図る
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
観光入込客数	人	2,173,545	1,511,759	1,598,938		1,600,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	1	土地利用政策の推進	A
施策の体系(柱)	3	新たな活力拠点の創出	

1. 施策の目的（PLAN）

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備と一体となった工業団地、物流団地、宅地開発の推進 ・肥後大津駅周辺における賑わいを生む空間整備 ・空港ライナーからの誘客促進 ・スポーツの森駅（仮称）を中心とした新たなエリア開発検討
想定する事業の成果	・「大空港構想Next Stage」との連携のもと、肥後大津駅周辺においてハード・ソフト事業を実施することによる駅南口及び周辺商店街の活性化

2. 目的達成に向けた実施事業（DO）

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	空港関係事業（空港ライナー関係）	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。	5,626	総合政策課	A	●
2	地方創生事業（再掲）	町の地方創生の方向性をまとめた「第2期大津町まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策・事業を進行する。企業版ふるさと納税による寄附金を財源とした事業を行う。	40,111	総合政策課	A	
3	工業団地整備事業（再掲）	企業進出の受け皿となる工業用地を確保するため、新たに工業団地を整備する。	31,620	企業振興課	A	
4	大津町ビジターセンター管理費（再掲）	ビジターセンターの施設管理運営を行う。	18,131	商業観光課	B	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	3	1	0	0	4		A
合計点数	300	75	0	0	375	93.8	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	空港関係事業（空港ライナー関係）						解決した課題	・利用者は過去最多となり、年間利用者数が15万人を突破する等、阿蘇くまもと空港およびその利用者の利便性向上に寄与した。
事業概要	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。						残された課題	・常時2～3台で運行しているが、利用者の増加により時間帯によっては積み残しが発生している。渋滞による定時性確保も課題のため、運行事業者や関係機関との協議を適時実施したい。
担当課	総合政策課	R6事業費 (千円)		5,626 千円			今後の施策展開の方向性	・空港は、令和3年度から完全に民営化したため、今後は各団体と協力しながら空港ライナーの継続、PRの強化に努めていく。 ・国際線の増便により外国人利用者の増加が見込まれるため、インバウンド対策の検討が必要。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
空港ライナーの利用者数/年	人	102,862	131,026	152,948		130,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	B
基本施策	2	快適な住環境の確保	
施策の体系(柱)	1	公園の整備	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・ユニバーサルデザインによる大型複合遊具新設や休憩施設改修 ・さらなる魅力化と費用効率化に向けた維持・管理推進
想定する事業の成果	・公園施設長寿命化計画に基づく老朽化した公園の改修 ・公園施設の修繕・清掃・植栽の維持管理による公園の安全性の確保

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	町立公園等管理委託事業	公園の利用者が安全に利用できるよう、施設の修繕、清掃、植栽等の維持管理を行う。	105,339	都市計画課	B	●
2	公園施設長寿命対策支援事業	老朽化した公園施設を長寿命化計画に基づき整備する。	86,041	都市計画課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	町立公園等管理委託事業						解決した課題	老朽化した施設の解体や遊歩道の改築を行った（トイレ解体1式、遊歩道改築1式、ベンチ7基設置、電灯交換1式）。
事業概要	公園の利用者が安全に利用できるよう、施設の修繕、清掃、植栽等の維持管理を行う。						残された課題	公園施設長寿命化計画に基づき、適切な時期に事業を行っていく必要がある。
担当課	都市計画課		R6事業費 (千円)		105,339 千円			今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
公園に対する満足度		%	39.7	38.2	36.3		40	

事業名	公園施設長寿命対策支援事業						解決した課題	年間の計画的な公園管理のほか、突発的な不具合箇所への補修対応等を行った。	
事業概要	老朽化した公園施設を長寿命化計画に基づき整備する。						残された課題	公園施設の老朽化等による管理を計画的に行う必要がある。	
担当課	都市計画課		R6事業費 (千円)		86,041 千円			今後の施策展開の方向性	利用者が快適に公園を利用できるよう、公園施設長寿命化計画を柱に改修等を行い、効率よく管理ができるようにしたい。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
公園に対する満足度		%	39.7	38.2	36.3		40		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 A
基本施策	2	快適な住環境の確保	
施策の体系(柱)	2	下水道の維持的経営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増等に伴う施設的能力強化、未整備地区の整備 ・ストックマネジメント調査、点検、改築・更新 ・経営健全化に向けた使用料の体系見直し ・農業集落排水処理施設の施設合理化検討 ・住宅用合併処理浄化槽への設置補助
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の状況に応じた公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽の整備及び維持・管理 ・下水道や農業集落排水施設等、複数の汚水処理施設が共同で利用できる施設整備の検討 ・財政状況の健全化に向けた適切な使用料の検討

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公共下水道事業（営業費用・建設改良費）	公共下水道の事務を行うための事務費	81,518	下水道課	A	
2	公共下水道費出資金・補助金（基準内・基準外）	一般会計から公共下水道事業会計への出資金・補助金	134,908	下水道課	B	
3	公共下水道事業（事業費：管渠）	公共下水道事業により、各家庭へ下水道の整備を行い、排出される汚水の処理を行う。	103,859	下水道課	A	
4	公共下水道事業（事業費：処理場・ポンプ場）	公共下水道事業により、下水処理場及び汚水中継ポンプ場を整備し、排出される汚水の処理を行い、公共用水域の水質保全に努める。	255,099	下水道課	A	●
5	公共下水道事業（維持管理費）	下水処理場、汚水中継ポンプ場等の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。	273,895	下水道課	A	●
6	農業集落排水事業（営業費用・建設改良費）	農業集落排水事業の事務を行うための事務費	8,736	下水道課	A	
7	農業集落排水費出資金・補助金（基準内・基準外）	一般会計からの農業集落排水事業会計への出資金・補助金	104,519	下水道課	B	
8	農業集落排水事業（維持管理費）	3地区の処理場及びマンホールポンプの適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。	36,150	下水道課	A	●
9	合併処理浄化槽設置事業	公共・農集の計画区域外未整備地区の専用住宅等について、合併処理浄化槽設置費の一部を補助する。	1,660	下水道課	A	
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	7	2	0	0	9		A
合計点数	700	150	0	0	850	94.4	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	公共下水道事業（維持管理費）						解決した課題	大津町浄化センター、汚水中継ポンプ場等の維持管理については、包括的民間委託を継続することで、臨機応変な対応が可能となり、放流水質の要求水準を遵守できた。
事業概要	下水処理場、汚水中継ポンプ場等の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。						残された課題	人口増による汚水流入量の増加や、人件費や物価の高騰による維持管理費用の増加が見込まれる。
担当課	下水道課		R6事業費 （千円）		273,895 千円			今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
要求水準書の放流水BOD値		mg/ℓ	12	12	12		12	

事業名	公共下水道事業（事業費：処理場・ポンプ場）						解決した課題	令和5年度に供用開始した水処理3系目を含め安定した運転ができ、水質汚濁防止法の規定を遵守できた。
事業概要	公共下水道事業により、下水処理場及び汚水中継ポンプ場を整備し、排出される汚水の処理を行い、公共用水域の水質保全に努める、						残された課題	供用開始から36年が経過し、更新が必要な施設が多数残る中、流入量が増加傾向にあることから、水処理施設の増設が必要である。
担当課	下水道課		R6事業費 (千円)		255,099 千円			今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
要求水準書の放流水BOD値		mg/ℓ	12	12	12		12	

事業名	農業集落排水事業（維持管理費）							解決した課題	各浄化センターにおける放流水BOD値が、水質汚濁防止法の排水基準を遵守できた。
事業概要	3地区の処理場及びマンホールポンプの適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。							残された課題	錦野・矢護川については廃止の計画があるが、機器の老朽化が進行しており、施設機能維持のための効率的な更新が求められる。
担当課	下水道課		R6事業費 (千円)		36,150			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実績排水BOD値		mg/ℓ	2.1	2.8	0.7		15		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 A
基本施策	2	快適な住環境の確保	
施策の体系(柱)	3	良質な住環境の確保	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能で良質な公営住宅運用に向けた更新の実施 ・建替、団地の統廃合、公営住宅跡地活用の検討 ・空き家の発生抑制に向けた情報提供・意識啓発 ・「空き家バンク制度」の活用、除却への支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉計画、復旧・復興計画との連携による公営住宅の検討 ・空き家・空き地調査と改善・活用の検討

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	町営住宅管理事業	町営住宅を管理・運営するために必要な業務を行う ・入退去管理 ・使用料（家賃）の収納など	4,159	都市計画課	A	●
2	町営住宅修繕事業	町営住宅の修繕等を行うために必要な業務を行う	69,445	都市計画課	A	●
3	あけぼの団地改修事業	外壁、屋根、電気、ガス、水道、生活排水などの補強及び改修また段差解消などユニバーサルデザインの整備を行う。	357,460	都市計画課	A	●
4	既存住宅解体事業	入居者退去後の住宅を解体・撤去し、跡地を整地する。	4,877	都市計画課	A	
5	耐震改修補助事業	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。	6,949	都市計画課	A	●
6	空家等対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大津町空き家バンク制度 ・老朽危険空家等除却促進事業補助金 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円）	1,587	総合政策課	A	●
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	6	0	0	0	6		A
合計点数	600	0	0	0	600	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	あけぼの団地改修事業						解決した課題	改修の結果、住民の生活環境が向上している。
事業概要	外壁、屋根、電気、ガス、水道、生活排水などの補強及び改修また段差解消などユニバーサルデザインの整備を行う。						残された課題	令和7年度に上水道改修工事における、受水槽設置工事を実施予定である。その後は建替・集約の検討を進めていく必要がある。
担当課	都市計画課	R6事業費 (千円)		357,460			今後の施策展開の方向性	長寿命化計画及び建替基本計画を基に建替・集約を進めていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
改修工事棟数	棟	1	1	1		1		

事業名	町営住宅修繕事業						解決した課題	年間302件の修繕を行い、入居者からの要望に応えることができた。
事業概要	町営住宅の修繕等を行うために必要な業務を行う						残された課題	町営住宅の老朽化（経年劣化）に伴い、年円修繕費が増加している。
担当課	都市計画課	R6事業費 (千円)		69,445			今後の施策展開の方向性	公営住宅等長寿命化計画に基づき、大規模改修等や老朽化した町営住宅の長寿命化を図る。また、維持管理の民間委託（指定管理者制度）導入を検討する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
修繕件数	件	260	317	302		300		

事業名	耐震改修補助事業						解決した課題	予定通りの広報活動、受付を行っており、補助体制は整っている。
事業概要	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。						残された課題	耐震診断までは実施しても工事費が高額だったり、知り合いの業者がいないなどの相談がある。
担当課	都市計画課	R6事業費 (千円)		6,949			今後の施策展開の方向性	申請率が上がるよう、広報活動を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
申請件数	棟	6	11	20		12		

事業名	町営住宅管理事業						解決した課題	初期滞納者に電話催告し、多額の分納誓約を締結した。
事業概要	町営住宅を管理・運営するために必要な業務を行う ・入退去管理 ・使用料（家賃）の収納など						残された課題	住宅使用料収納率の向上（滞納世帯の減少）
担当課	都市計画課	R6事業費 (千円)		4,159			今後の施策展開の方向性	住宅使用料収納事務（督促状や電話催告、連帯保証人通知など）の徹底
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
使用料収納率	%	98	97	98		99		

事業名	空家等対策事業						解決した課題	大津町空家等対策計画に基づき、空き家対策の推進を行った。
事業概要	・大津町空き家バンク制度 ・老朽危険空家等除却促進事業補助金 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円）						残された課題	・空家等対策計画次期計画の策定
担当課	総合政策課	R6事業費 (千円)		1,587			今後の施策展開の方向性	・危険老朽化空家の除却促進。 ・協議会を開催し、今後の空家対策の問題解決を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
老朽危険空家等除却事業	件	2	8	3		5		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 B
基本施策	3	道路・交通ネットワークの充実	
施策の体系(柱)	1	総合的な道路網の形成	

1. 施策の目的（PLAN）

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞緩和、災害時機能も企図した道路網整備 ・中九州横断道路早期事業化や国道443号4車線化の働きかけ ・阿蘇くまもと空港への新道路整備検討
想定する事業の成果	・幹線道路等が早期完成することで、渋滞の緩和につながる

2. 目的達成に向けた実施事業（DO）

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	計画的な幹線道路等の整備	県道改良及びバイパス計画事業	3,450	建設課	B	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		B
合計点数	0	75	0	0	75	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	計画的な幹線道路等の整備						解決した課題	県道瀬田竜田線の用地買収を実施した。	
事業概要	県道改良及びバイパス計画事業						残された課題	県道瀬田熊本線拡幅改良及び県道瀬田竜田線のバイパス化に伴う工事	
担当課	建設課		R6事業費 (千円)		3,450 千円			今後の施策展開の方向性	事業主体である熊本県と連携しながら事業推進を図る。
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
事業進捗		%	25	25	25		100		

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	B
基本施策	3	道路・交通ネットワークの充実	
施策の体系(柱)	2	安全・安心な生活道路の形成	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道路標示更新、生活道路の計画的整備 ・町中心部と南北の新設ルート検討、駅周辺への交通アクセス容易化 ・着実かつ持続可能な道路メンテナンス ・農道等の作業道整備
想定する事業の成果	・通行車両や歩行者の安全性を確保し、町民の利便性が向上する。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	道路新設事業	狭小な生活道路の拡幅や通学路の歩道整備等を行うことで町民の利便性と安全を確保する	82,178	建設課	B	●
2	道路ストック事業	老朽化した橋梁、路面等の長寿命化のための整備補修及び更新	128,580	建設課	B	●
3	地方創生整備推進交付金事業	町道と広域農道及び林道を一体的に整備し、住民はもとより工業、農業、林業に関わる方々の利便性向上や各産業の振興を行う。（舗装打替、橋梁補修、道路新設）	169,592	建設課	B	●
4	都市再生整備事業	道路整備事業 排水対策事業	217,271	建設課	B	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	4	0	0	4		B
合計点数	0	300	0	0	300	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	都市再生整備事業						解決した課題	工業団地周辺道路及び杉水西地区排水の測量設計が完了。
事業概要	道路整備事業 排水対策事業						残された課題	工業団地周辺道路及び杉水西地区排水の用地取得及び工事。（特に周辺道路（杉水水迫線新設道路）の整備は、地盤改良や盛土等、施工に長期間を要するため、早期用地取得及び工事着手が必要）
担当課	建設課	R6事業費 (千円)		217,271 千円			今後の施策展開の方向性	用地取得を進め、用地買収が完了した区間から工事着手を行っていく。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
道路改良の路線数	路線	-	-	0		3		

事業名	地方創生整備推進交付金事業						解決した課題	舗装構造調査（FWD）を対象路線分完了し、町道は馬場坂線、本田技研北通線、平川線、高尾猿渡線の一部を道路改良し、農道は中部農免道路の一部を道路改良完了。林道は、菊池人吉線に架かる東原橋の橋梁補修設計を実施した。
事業概要	町道と広域農道及び林道を一体的に整備し、住民はもとより工業、農業、林業に関わる方々の利便性向上や各産業の振興を行う。（舗装打替、橋梁補修、道路新設）						残された課題	町道8路線、農道1路線、林道1路線の対策工事。町道室工業団地4号線の用地取得及び工事。
担当課	建設課	R6事業費 (千円)		169,592 千円			今後の施策展開の方向性	町道室工業団地4号線の設計を完了し、早期に用地交渉を進め、早期工事完成を図る。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
舗装打換の路線数	路線	-	-	6		10		

事業名	道路ストック事業						解決した課題	橋梁点検38橋を実施。下井手2号橋の設計完了。源場水迫線、三吉原北出口線、片平線の舗装打替工事完了。井手上橋、新灰塚橋梁補修工事及び境目橋の架替工事を実施。
事業概要	老朽化した橋梁、路面等の長寿命化のための整備補修及び更新						残された課題	残る健全度Ⅲ判定の橋梁（12橋）における早期対策工事。
担当課	建設課	R6事業費 (千円)		128,580 千円			今後の施策展開の方向性	舗装の健全度を計測し舗装の構造を決めるFWD調査に基づき、道路修繕を計画的に行っていく。予算の平準化を図り、補助事業を活用して計画的に進めていく。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
橋梁詳細設計、工事	橋	-	6	5		-		

事業名	道路新設事業						解決した課題	杉水水迫線（4工区）の改良工事完了。中通線、引水大津線・引水前鶴線の歩道整備にかかる測量設計完了。陣内引水線・引水57号線の測量設計完了。内牧線、つつじ台中央線舗装打替工事完了。
事業概要	狭小な生活道路の拡幅や通学路の歩道整備等を行うことで町民の利便性と安全を確保する						残された課題	新生町東通線の用地取得及び拡幅工事。
担当課	建設課	R6事業費 (千円)		82,178 千円			今後の施策展開の方向性	引き続き用地交渉を継続し、早期工事完成を図る。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
道路改良の路線数	路線	3	4	6		-		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 B
基本施策	3	道路・交通ネットワークの充実	
施策の体系(柱)	3	公共交通のネットワークの構築	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の快適な生活につながる地域公共交通計画の策定 ・ 乗合タクシーの利便性向上と中心市街地を回遊する移動手段導入 ・ 公共交通の必要性や利用促進に向けたプッシュ型の情報発信 ・ 肥後大津駅を中心とした公共交通機能強化検討
想定する事業の成果	・ 交通の要衝としての重要性が増している肥後大津駅を中心とした、町内の公共交通の利便性の確保・強化

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公共交通事業	公共交通体系の検討や地域公共交通会議の運営。路線バスへの運行補助及び乗合タクシーの運行。	75,649	総合政策課	B	●
2	空港関係事業（空港ライナー関係）（再掲）	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。	5,626	総合政策課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0	2		B
合計点数	100	75	0	0	175	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	公共交通事業					解決した課題	・ 以前から要望があったセントラル病院周辺の病院を乗降場所に追加、運行時間の見直し ・ まちなかバスの実証運行を1年延長、美咲野系統を新設（令和6年10月～）
事業概要	公共交通体系の検討や地域公共交通会議の運営。路線バスへの運行補助及び乗合タクシーの運行。					残された課題	・ 乗合タクシー新規利用者の獲得、制度の周知強化 ・ 町中心部および公共交通不便地域（上井手北側等）における公共交通の検討
担当課	総合政策課	R6事業費 (千円)		75,649		今後の施策展開の方向性	町内の交通渋滞状況や、肥後大津駅周辺整備、JR輸送力強化、空港アクセス鉄道等の交通環境の変化を注視しながら、利用者の視点・生活行動等に基づく持続可能な公共交通サービスの構築を引き続き検討していく。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7		
乗合タクシー利用者数	人/年	10,897	10,045	9,620			

事業名	空港関係事業（空港ライナー関係）（再掲）					解決した課題	・ 利用者は過去最多となり、年間利用者数が15万人を突破する等、阿蘇くまもと空港およびその利用者の利便性向上に寄与した。
事業概要	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。					残された課題	・ 常時2～3台で運行しているが、利用者の増加により時間帯によっては積み残しが発生している。渋滞による定時性確保も課題のため、運行事業者や関係機関との協議を適時実施したい。
担当課	総合政策課	R6事業費 (千円)		5,626		今後の施策展開の方向性	・ 空港は、令和3年度から完全に民営化したため、今後は各団体と協力しながら空港ライナーの継続、PRの強化に努めていく。 ・ 国際線の増便により外国人利用者の増加が見込まれるため、インバウンド対策の検討が必要。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7		
空港ライナー利用者数	人	102,862	131,026	152,948			

事業名						解決した課題	
事業概要						残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7		

事業名						解決した課題	
事業概要						残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7		

事業名						解決した課題	
事業概要						残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	A
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	1	潤い豊かな水と緑の保全	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな水資源を守る「水源涵養機能」を保持するための森林管理 河川の水質保全に向けた水質調査、町民との情報共有 田畑への湛水事業促進、県や関係機関と連携した水量維持と水質保全
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 河川水質調査の実施や家庭用雨水浸透ますの設置による生活に身近な水と緑の充実 環境の森など、植林した広葉樹の管理等による良好な水質保全

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	家庭用雨水浸透ます設置事業	1基あたり10,000円 設置数は上限4基まで	10	環境保全課	A	●
2	家庭用雨水貯留タンク設置事業	貯留容量200 ^{リットル} 以上は1基あたり35,000円が上限。 貯留容量200 ^{リットル} 未満は見積額の1/2以内とし1基あたり24,000円が上限。	128	環境保全課	A	●
3	環境の森事業	下草刈等により管理を行う	0	環境保全課	B	●
4	水質等分析調査事業	河川水質調査（生活環境項目10項目、健康項目27項目）	383	環境保全課	A	●
5	漁業振興補助金	稚魚の放流や漁場の整備を行い環境保全活動を推進する。	390	商業観光課	B	●
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	3	2	0	0	5		A
合計点数	300	150	0	0	450	90	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	漁業振興補助金						解決した課題	魚類の増殖と河川の清掃活動等により地域住民への環境保全の理解を促すことが出来た。
事業概要	稚魚の放流や漁場の整備を行い環境保全活動を推進する。						残された課題	自然環境の変化で、自然繁殖は困難な状況である。
担当課	商業観光課	R6事業費 (千円)		390			今後の施策展開の方向性	今後も増殖放流事業や河川環境整備等、河川の環境回復を図り自然豊かな川と共存できる環境づくりを支援する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
稚魚放流総量	kg	4,420	4,252	3,649		5,000		

事業名	水質等分析調査事業						解決した課題	河川水質の分析において、定期的な水質検査を行い水質保全対策を行った。
事業概要	河川水質調査（生活環境項目10項目、健康項目27項目）						残された課題	河川において検査項目の数値は環境基準内を維持しており、検査を行いながら経過を見守っていく。
担当課	環境保全課	R6事業費 (千円)		383			今後の施策展開の方向性	今後も定期的な水質検査を行いながら、河川等の水質保全に努める必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
BOD基準超過箇所	箇所	0	1	0		0		

事業名	家庭用雨水貯留タンク設置事業						解決した課題	貯留タンクの設置を行い、上水道の節水や地下水量の保全を行った。
事業概要	貯留容量200ℓ以上は1基あたり35,000円が上限。 貯留容量200ℓ未満は見積額の1/2以内とし1基あたり24,000円が上限。						残された課題	地下水保全に効果的な事業であるが、周知度が低いため設置が進まない状況である。
担当課	環境保全課	R6事業費 (千円)		128			今後の施策展開の方向性	上水道の節水や地下水量の保全は重要な役割を担っているため、町民への周知方法を再検討し、今後も継続していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
設置数	基	3	1	4		9		

事業名	家庭用雨水浸透ます設置事業						解決した課題	雨水浸透ますの設置を促進し、都市型水害の軽減や地下水涵養に寄与した。
事業概要	1基あたり10,000円 設置数は上限4基まで						残された課題	住宅を新築するにあたっての補助金制度の周知が足りないため、住宅開発協議などで今後も継続して周知していく必要がある。
担当課	環境保全課	R6事業費 (千円)		10			今後の施策展開の方向性	業者による宅地開発が進んでいるため、目標値までの申請は無いものの、都市型水害の軽減や地下水涵養のためにも継続して取り組む必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
設置数	基	0	7	1		12		

事業名	環境の森事業						解決した課題	協定に基づく植林作業も順調に行われ、平成25年に植樹作業は完了している。
事業概要	下草刈等により管理を行う						残された課題	伐木適齢期までの下草刈等の管理作業
担当課	環境保全課	R6事業費 (千円)		0			今後の施策展開の方向性	協定期間の継続により、引き続き山林の管理をお願いする。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
—	—	—	—	—		—		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	A
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	2	ライフサイクル全体を通じた資源循環の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用ごみの排出量削減 ・ゴミ処理責任の原則や分別の徹底にかかる普及啓発 ・資源物の集団回収に対する団体への助成
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・4Rの促進、ごみの分別の徹底、生ごみの排出抑制 ・日常の生活からごみを出さない意識を高めるための啓発等の対策 ・事業者に対する処理責任の原則や分別の徹底にかかる普及啓発の推進

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	グリーンリサイクル事業	家庭等から出される剪定くずや小枝等をチップ化し、緑地等に還元する。	1,617	環境保全課	A	
2	ごみ減量化資源化事業	①再生資源集団回収団体への補助 ②生ごみ処理機購入補助 ③ごみ一時保管所整備補助 ④啓発活動（広報、ホームページ、説明会等）	3,667	環境保全課	A	●
3	ごみ収集運搬業務委託事業	家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬	110,315	環境保全課	A	●
4	し尿運搬搬手手数料補助費	補助金 10リットル⇒25.3円	12,993	環境保全課	A	
5	一般廃棄物処理事業	町指定ごみ袋の作成・販売 ごみカレンダー作成	46,499	環境保全課	A	●
6	菊池広域連合負担金（ごみ）	一般廃棄物の処理業務に対する負担金（均等割10%、利用割90%）	299,109	環境保全課	A	●
7	菊池広域連合負担金（し尿）	し尿及び浄化槽汚泥の処理業務に対する負担金	45,065	環境保全課	A	●
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	7	0	0	0	7		A
合計点数	700	0	0	0	700	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	菊池広域連合負担金（ごみ）							解決した課題	一般廃棄物の処理を広域的に行いごみの適正処理を行った。
事業概要	一般廃棄物の処理業務に対する負担金（均等割１０％、利用割９０％）							残された課題	分別ルールが守られていないゴミが混入し、廃棄物の処理作業中に発火する事案が発生している。
担当課	環境保全課		R6事業費 （千円）		299,109 千円			今後の施策展開の方向性	可燃ごみの量は減少傾向にあるが、町内の集合住宅や宅地造成の状況を鑑みるに、ごみの量は今後増えることが想定される。引き続きごみの減量化、資源化を推進し、分別ルールの周知を徹底していく。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
可燃ごみ量		t/年	7,817	7,583	7452		-		

事業名	ごみ収集運搬業務委託事業							解決した課題	一般廃棄物の収集運搬業務を確実にし、住民の生活環境の安定を図り、再生資源のリサイクルを推進した。
事業概要	家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬							残された課題	高齢者等でごみ出しが出来なくなる世帯が増えているため、今後その対策が必要となる。 ごみステーションはその行政区や組で管理頂いているものだが、今後それらに加入せず、ごみステーションを使用出来なくなった際のごみ収集について、町としての対応を検討していく必要がある。
担当課	環境保全課		R6事業費 (千円)		110,315 千円				
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
ごみ収集運搬量		t/年	6,771	6,510	6362		-		

事業名	一般廃棄物処理事業							解決した課題	ごみ分別アプリの多言語版の配信や外国人向けのごみ分別チラシの送付により、文化や言葉の違いによる誤った分別が減少傾向となった。	
事業概要	町指定ごみ袋の作成・販売 ごみカレンダー作成									
担当課	環境保全課		R6事業費 (千円)		46,499			千円	残された課題	ごみ処理費用が年々増えているため、ごみ分別を徹底しコスト削減を行う必要がある
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
年間ごみ量		t/年	8,872	8,580	8417		-	今後の施策展開の方向性	ごみ分別に関する広報や出前講座を活用して、ごみ分別の周知及び啓発を行う。	

事業名	菊池広域連合負担金（し尿）							解決した課題	し尿及び浄化槽汚泥を収集・運搬し、菊池広域連合の汚泥処理施設において適正に処理し、生活環境と河川水質を保全した。	
事業概要	し尿及び浄化槽汚泥の処理業務に対する負担金									
担当課	環境保全課		R6事業費 (千円)		45,065			千円	残された課題	し尿汲み取り件数は今後減少となるが、適正処理の必要性は変わらない。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
し尿・浄化槽汚泥運搬量		kl/年	5,180	5,157	5135		-	今後の施策展開の方向性	し尿処理の件数は減少が見込まれるため、処理方法の検討が必要となる。	

事業名	ごみ減量化資源化事業							解決した課題	ごみ減量化機器の普及推進により、一人あたりの年間ごみ量の削減へ繋げることが出来た。
事業概要	①再生資源集団回収団体への補助 ②生ごみ処理機購入補助 ③ごみ一時保管所整備補助 ④啓発活動（広報、ホームページ、説明会等）							残された課題	企業進出に伴い、外国人や県外からの転入者が増加している。引き続きごみ分別の啓発が必要。
担当課	環境保全課		R6事業費 (千円)		3,667 千円			今後の施策展開の方向性	①ごみ分別について更なる啓発を図る。 ②生ごみ処理機等の普及による生ごみの減量化を引き続き推進する。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
一人当たり年間ごみ排出量		kg/年	199	191	184		-		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 A
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	3	生活環境の向上	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で取り組む美化作業等推進 ・狂犬病予防接種徹底、犬や猫等の飼い主マナー向上等啓発 ・公害防止や不法投棄撲滅に向けた、美化活動やモラル向上啓発
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で取り組む美化活動の推進とそれによるコミュニケーションの場づくりと環境改善意識の強化 ・環境保全協定の締結と遵守による環境に配慮した事業活動の実施

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	スズメバチ駆除事業	住宅地等の危険個所で、住民からスズメバチ駆除の相談があった場合、専門業者に駆除を依頼する。	609	環境保全課	A	●
2	狂犬病予防事業	①未接種の方へ個別注射通知（2回） ②避妊及び去勢手術費用の2分の1を補助（上限1万円）	1,112	環境保全課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		A
合計点数	200	0	0	0	200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	狂犬病予防事業						解決した課題	畜犬の適正な管理の周知及び狂犬病の予防注射を実施し狂犬病の発生を予防した。
事業概要	①未接種の方へ個別注射通知（2回） ②避妊及び去勢手術費用の2分の1を補助（上限1万円）						残された課題	畜犬登録の周知及び、適正な飼育管理の徹底。狂犬病注射の接種率の向上。
担当課	環境保全課	R6事業費 (千円)		1,112 千円			今後の施策展開の方向性	マイクロチップの導入による管理の徹底。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
予防注射接種率	%	79.5	79.6	76.4		100		

事業名	スズメバチ駆除事業						解決した課題	攻撃性と毒性が高いスズメバチの駆除を迅速に行い、安心安全な住環境を確保できた。
事業概要	住宅地等の危険個所で、住民からスズメバチ駆除の相談があった場合、専門業者に駆除を依頼する。						残された課題	気象の影響などでハチの活動時期等が変化してきている。また、ハチの種類に関係なく相談があるため、被害が発生しないように迅速な対応が必要。
担当課	環境保全課	R6事業費 (千円)		609 千円			今後の施策展開の方向性	スズメバチの駆除は、専門的な知識と技術及び危険性を要するため専門業者に依頼している。しかし、初期対応のためには、職員も基本的な知識を習得しなければならない。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
3日以内の対応率	%	100	100	100		100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 A
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	4	温暖化対策の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー設備普及 ・町内公共設備の省エネルギー製品導入推進 ・メガソーラー設置における災害防止、情報共有、環境リスク抑制
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギー活動の啓発 ・環境情報の提供や環境学習の推進により環境に配慮したライフスタイルの展開

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	再生可能エネルギー等推進事業	再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギー活動の啓発	164	環境保全課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	再生可能エネルギー等推進事業						解決した課題	【大津町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理等に関する条例】を令和5年3月議会において議決、令和5年7月1日から施行した。同年5月、8月に連絡協議会を開催し、太陽光事業者、地域住民、役場関係課が一同に集う顔の見える関係づくりを行った。
事業概要	再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギー活動の啓発						残された課題	条例施行に伴う効果の検証を継続して行っていく。
担当課	環境保全課	R6事業費 (千円)		164			今後の施策展開の方向性	条例に基づき、住民の安心安全な生活環境を守ったうえで、再生可能エネルギーの普及を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
-	-	-	-	-		-		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	B
施策の体系(柱)	1	地域防犯地策の強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪や事故に関する積極的な情報収集・提供 ・町内全域街灯・防犯灯のLED化 ・防犯教育や啓発活動、防犯パトロールによる地域防犯力強化
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・警察や関係団体との連携による地域防犯の取り組みを強化、活動支援、町民一人ひとりの防犯意識の高揚による安全性の向上 ・防犯灯の設置、地域ぐるみの防犯パトロールの継続による安全で住みよい地域づくり

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	防犯対策事業	防犯パトロール業務委託、防犯カメラ設置事業	7,442	防災交通課	B	●
2	防犯灯・街灯設置事業	防犯灯・街灯電気代、防犯灯・街灯設置	18,907	防災交通課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	防犯灯・街灯設置事業						解決した課題	防犯灯の設置要望に対応し、防犯灯の新設を実施。また、街灯設置補助金による地域内の街灯新設を実施。
事業概要	防犯灯・街灯電気代、防犯灯・街灯設置						残された課題	都市開発が進み、既存の行政区域外への住宅新設により、街灯が設置されていない地域がある。また、新興住宅地から、通学、通勤する際、今までは交通量が少なく、防犯灯の設置されていない道を通る場合がある。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		18,907			今後の施策展開の方向性	防犯灯・街灯の維持管理を継続するとともに、住宅新設時には、開発事業者と連携して街灯の新設を推進する。地域内に照明を確保することで防犯対策につなげる。また、新興住宅地から通勤、通学する際通る機会が増えた道路について、必要があれば防犯灯の新設を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の犯罪発生件数(街頭犯罪・侵入犯罪等重点罪種の認知件数)	件	37	65	75		30		

事業名	防犯対策事業						解決した課題	小・中学生の登下校時に町内全域の防犯パトロールを実施。また、警察・防犯協会との協定に基づき防犯カメラの設置補助を実施。
事業概要	防犯パトロール業務委託、防犯カメラ設置事業						残された課題	犯罪件数が増加している状況から、防犯パトロールの強化及び防犯カメラ設置等の更なる防犯対策が必要。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		7,442			今後の施策展開の方向性	防犯パトロールや地域と連携した防犯対策の実施。警察、防犯協会と連携して防犯カメラの継続的設置することにより防犯上の死角を除去する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の犯罪発生件数(街頭犯罪・侵入犯罪等重点罪種の認知件数)	件	37	65	75		30		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 B
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	
施策の体系(柱)	2	交通安全対策の推進	

1. 施策の目的（PLAN）

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全国交通安全運動への参加等交通安全施策推進 ・高齢ドライバーへの安全運転啓発、安心して免許返納できる環境整備 ・町内道路危険個所の総点検・維持・充実化 ・町民全体への交通安全教育や啓発の徹底
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・警察、交通安全協会、学校及び地域等との連携による、園児から高齢者まで対象に応じた交通安全教育や啓発活動の実施による安全意識の向上と安全性の確保 ・交通事故を防止するため、街路灯、カーブミラーの維持・整備を実施による安全な交通環境の確保 ・運転免許証を自主的に返納した高齢者に対する支援サービスの充実による高齢者による交通事故の抑制

2. 目的達成に向けた実施事業（D0）

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	交通安全施設整備	カーブミラー設置や区画線等の設置及び修理	15,759	防災交通課	B	●
2	交通安全教育、啓発事業	交通安全教室の開催、啓発活動	8,581	防災交通課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	交通安全施設整備						解決した課題	交通安全運動をはじめとする啓発活動と学年に応じた交通安全教室を推進し交通事故防止に努めた。また、高齢者の運転免許証の自主返納支援事業も始まり、高齢者の事故防止に努めた。
事業概要	カーブミラー設置や区画線等の設置及び修理						残された課題	交通事故発生件数は前年に比べ減少したが、死亡事故も発生しており、継続した交通安全啓発が必要。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		15,759 千円			今後の施策展開の方向性	小中学生は基より事業者、高齢者に対して継続した交通安全啓発運動を推進し、強化していく。また、令和6年度より高齢者の免許返納事業が開始された為、事業の周知、推進を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の交通事故発生件数 (人身交通事故数)	件	93 0	75 0	71 1		50 0		
町内の交通事故死亡者数	件							

事業名	交通安全教育、啓発事業						解決した課題	老朽化したカーブミラーの修繕や設置及び交通安全プログラムや要望への対応等により、カーブミラー舗装をはじめとする区画線の設置、引き直し等により事故防止に努めた。
事業概要	交通安全教室の開催、啓発活動						残された課題	要望以外の老朽化したカーブミラー及び通学路以外の区画線等についても継続した更新が必要である。また、新興住宅街や、企業の進出により、生活道路などの交通事情の変化に伴う交通安全設備の設置も必要である。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		8,581 千円			今後の施策展開の方向性	区長や交通委員からの継続した情報収集や要望により、優先順位に基づいた新設及び修繕を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の交通事故発生件数 (人身交通事故数)	件	93 0	75 0	71 1		50 0		
町内の交通事故死亡者数	件							

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 A
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	
施策の体系(柱)	3	消費生活の安全強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 消費トラブルの発生情報発信、注意喚起、啓発 相談できる体制づくり、消費生活相談窓口設置推進 住民同士の声掛けや相談しあえる環境整備
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 町民自らが消費トラブルから身を守り、安心して生活する消費者となるよう支援する 消費トラブルに巻き込まれた町民に対して、的確に対応できる相談体制を整備する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	消費生活相談業務	消費生活相談窓口を週2回設置し、消費トラブルに巻き込まれた町民からの相談に対応するとともに、出前講座を開催し、消費トラブル防止の啓発を行う。	1,821	総務課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	消費生活相談業務						解決した課題	消費生活相談窓口の広域化を行うことにより多くの相談に対応することができた。
事業概要	消費生活相談窓口を週2回設置し、消費トラブルに巻き込まれた町民からの相談に対応するとともに、出前講座を開催し、消費トラブル防止の啓発を行う。						残された課題	デジタル化が進む昨今、消費者トラブルは更に多岐にわたるため、様々な情報を得て対応策を講じる必要がある。
担当課	総務課		R6事業費 (千円)		1,821 千円			今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
消費生活相談件数		件	85	90	127		75	

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 B
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	1	危機管理体制の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での実践的な住民参加型防災訓練実施 ・民間事業者との「災害時応援協定」締結 ・「避難行動要支援者」の把握と支援体制強化
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・職員や町民一人ひとりの判断力と行動力を養い、地域による避難行動・安否確認・避難所運営を実施 ・「災害時応援協定」による災害時の効果的な連携・支援を実施 ・災害発生時に自力での避難が困難な人を支援するため、避難行動要支援者の把握と個別避難計画の作成

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	災害対策事業	防災訓練実行委員会が中心となった住民参加型防災訓練の実施。 (防災訓練実行委員会負担金) 災害時応援協定の締結推進	1,000	防災交通課	B	●
2	災害時避難行動要支援者支援事業（再掲）	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。	2,231	福祉課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	災害時避難行動要支援者支援事業（再掲）						解決した課題	前年度に引き続き、名簿活用フローやマニュアルを用い、各種会議等で要支援者名簿について説明し、名簿の活用や地域版防災計画の策定を推進した。
事業概要	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。						残された課題	地域においても要支援者名簿の必要性、有用性は認識されている。一方で、3年おきの一斉同意確認では、同意者、不同意者は減少傾向で、支援不要または未提出者が大きく増加したこともあり、同意者数の割合は減少した。地域住民一人ひとりの意識の醸成を図っていく必要がある。
担当課	福祉課	R6事業費 (千円)		2,231 千円			今後の施策展開の方向性	災害時に要支援者に対する地域での避難支援ができる仕組みづくりを行い、地域防災力の向上を図るため、情報提供同意者を増やし、各地域での地域版防災計画の作成、防災訓練の実施などにつながるよう、座談会等をはじめとした各地域での福祉活動を推進していく。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
災害時避難行動要支援者名簿記載情報の提供同意者割合	%	46.8	44.8	39.9		55.0		

事業名	災害対策事業						解決した課題	衆議院選挙により、限られた内容の防災訓練となったが、地区における訓練及び災害対策本部設置訓練を実施し、行政区嘱託員との情報連携体制の構築とともに町内における災害危険箇所の確認、整理を行った。
事業概要	防災訓練実行委員会が中心となった住民参加型防災訓練の実施。（防災訓練実行委員会負担金）災害時応援協定の締結推進						残された課題	避難所運営を地域が主体となって行っていくためには、さらなる地域の理解と連携をしながら訓練を実施する必要がある。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		1,000 千円			今後の施策展開の方向性	避難所運営訓練をステップアップし、地域における避難所運営が可能となるようにする。訓練の周知及び実施方法を検討し、住民の防災訓練の実施を促す。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
災害時応援協定締結数	件	24	25	25		25		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 B
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	2	災害への対応力強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町内危険個所の正確な把握と計画的・段階的な改善 ・平時からの啓発。迅速な情報提供、防災行政無線難聴地域解消 ・各種システムなどを活用した災害時対応力強化 ・災害時の迅速な避難所開設、避難所の安全性や環境向上
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ハザードマップの作成・配布・周知の実施による住民自らの防災意識向上を図る ・防災行政無線及び公式LINE等を活用し、多くの住民に情報提供を実施 ・北部、中部、南部の地域の避難・応急対策活動を支えるための防災拠点の配置や地域に応じた機能の整備 ・避難所における生活環境確保、備蓄食料のほか生活関連物資や避難所運営資機材の計画的な更新・整備

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	防災基盤整備事業	防災行政無線の新設及び新型スピーカー改修を実施	11,521	防災交通課	B	●
2	災害対策事業	備蓄食料購入等、災害対策の全般における事業を実施。	22,297	防災交通課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	災害対策事業							解決した課題	地域住民の防災意識の向上及び備蓄計画に基づく備蓄食料の確保ができた。	
事業概要	備蓄食料購入等、災害対策の全般における事業を実施。							残された課題	ハザードマップ等を活用し、住民の更なる防災意識の向上が必要である。また、災害に備えた防災資機材等を整備する必要がある。	
担当課	防災交通課		R6事業費 (千円)		22,297			今後の施策展開の方向性	ハザードマップ等を活用し、「マイタイムライン」の普及を図る。備蓄計画に基づいた必要な防災資機材等を整備する。	
				千円						
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
備蓄食料の確保		食	48,000	60,000	60,000		60,000			

事業名	防災基盤整備事業						解決した課題	防災行政無線が聞こえにくい地域に対し、防災行政無線の新設やスピーカーの機能拡充を行い、改善を図った。また、避雷対策も併せて実施した。
事業概要	防災行政無線の新設及び新型スピーカー改修を実施						残された課題	防災行政無線が聞こえにくい地域へ更なる対応。
担当課	防災交通課		R6事業費 (千円)		11,521		今後の施策展開の方向性	防災行政無線の聞こえにくい地域へ防災行政無線の機能拡充や増設等を実施。
				千円				
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 A
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	3	災害に強い都市構造	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・耐震診断・耐震化推進、老朽空き家の調査・対策推進 ・雨水排水施設整備、豪雨を見越した防災・減災機能強化
想定する事業の成果	・大地震に備え、安心して住み続けられる「すまい」の確保をはかる。 ・局地的豪雨に耐えうる地域の整備

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	耐震改修補助事業（再掲）	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。	6,949	都市計画課	A	●
2	ブロック塀撤去補助金	危険ブロック塀の撤去費の2/3又は上限20万円を助成する	200	都市計画課	A	
3	緊急自然災害防止対策事業	県の急傾斜地指定を受けた斜面を安定勾配での切土法面処理等を行い、住民の安全を確保する	84,014	建設課	B	●
4	防災・減災対策等強化事業	集中豪雨により一時的ではあるが、冠水などの影響を受ける地域の排水対策として調整池や水路整備等を行う	17,259	建設課	B	
5	空家等対策事業（再掲）	・大津町空き家バンク制度 ・老朽危険空家等除却促進事業補助機 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円）	1,587	総合政策課	A	●
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	3	2	0	0	5		A
合計点数	300	150	0	0	450	90	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	緊急自然災害防止対策事業						解決した課題	東道免地区及び後迫地区の工事完了。
事業概要	県の急傾斜地指定を受けた斜面を安定勾配での切土法面処理等を行い、住民の安全を確保する						残された課題	残された大津地区（1工区）の対策工事。
担当課	建設課	R6事業費 (千円)		84,014			今後の施策展開の方向性	町営事業だけでなく、県営事業対象になる地域（5戸以上）についても地元調整や県への事業化要望を行っていく。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
急傾斜対策設計・工事	箇所	3	3	2		-		

事業名	耐震改修補助事業（再掲）						解決した課題	予定通りの広報活動、受付を行っており、補助体制は整っている。
事業概要	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。						残された課題	耐震診断までは実施しても工事費が高額だったり、知り合いの業者がないなどの相談がある。
担当課	都市計画課	R6事業費 (千円)		6,949			今後の施策展開の方向性	申請率が上がるよう、広報活動を行っていく。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
老朽危険空家等除却事業	件	2	8	3		5		

事業名	空家等対策事業（再掲）						解決した課題	大津町空家等対策計画に基づき、空き家対策の推進を行った。
事業概要	・大津町空き家バンク制度 ・老朽危険空家等除却促進事業補助機 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円）						残された課題	・空家等対策計画次期計画の策定
担当課	総合政策課	R6事業費 (千円)		1,587			今後の施策展開の方向性	・危険老朽化空家の除却促進。 ・協議会を開催し、今後の空家対策の問題解決を図る。
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
老朽危険空家等除却事業	件	2	8	3		5		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	B
施策の体系(柱)	4	消防・救急の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・消防と救急救命体制の充実 ・消防施設の適切な維持管理、機能の充実・強化 ・消防団の負担軽減と団員確保支援、消防力維持向上の体制整備
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・菊池広域連合消防本部の救急救命体制の充実 ・火災予防対策の消防施設の維持管理、機器の更新による火災の防止・被害の軽減 ・消防団活動が充実し、新規入団希望者の増加。 ・消防団を中心とした関係団体との連携や人材育成による地域消防力の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	常備消防費	菊池広域連合消防本部負担金	382,515	防災交通課	A	●
2	非常備消防費	消防団員報酬等の支給（R4 から個人支給） 地域の分団等の活動費として交付金を交付 新たな活動服の導入	56,855	防災交通課	B	●
3	消防施設整備事業	消防団の所有する機材の維持管理、更新 防災行政無線の維持管理 消防防災施設の維持管理	50,094	防災交通課	B	●
4	防災基盤整備事業	消防車両、小型ポンプ更新、防火水槽の設置	15,158	防災交通課	A	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		B
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	常備消防費						解決した課題	地域住民の安全安心なまちづくりの推進が図れた。
事業概要	菊池広域連合消防本部負担金						残された課題	菊池広域連合消防本部と行政及び消防団が更に連携できる体制の構築が必要。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		382,515			今後の施策展開の方向性	緊急情報を送受するシステムの向上を図る。 消防団と連携した訓練を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
建物火災件数	件	3	6	5		0		

事業名	非常備消防費						解決した課題	消防団が地域と連携し、防災力向上のために重要な役割を果たすことができた。また、令和7年度の導入に向けた機能別消防団員の制度の整備を行った。
事業概要	消防団員報酬等の支給 (R4 から個人支給) 地域の分団等の活動費として交付金を交付 新たな活動服の導入						残された課題	消防団員の確保。消防団の装備の充実。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		56,855			今後の施策展開の方向性	消防団員加入の推進・広報。機能別消防団員制度導入後の効果的な連携及び活用。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
機能別消防団員制度の導入	—	未実施	未実施	実施		実施		

事業名	消防施設整備事業						解決した課題	消防施設新設及び修繕や老朽化した消防水利の撤去を行い、充実強化を図った。
事業概要	消防団の所有する機材の維持管理、更新 防災行政無線の維持管理 消防防災施設の維持管理						残された課題	老朽化した施設及び資機材の更新。消防水利の適切な管理。老朽箇所の修繕または撤去。 防災行政無線の維持管理や避雷対策。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		50,094			今後の施策展開の方向性	消防施設の計画的な更新を実施。消防水利の一斉点検・老朽箇所の整理。 防災行政無線に避雷対策を実施。 消防団の装備品の充実。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
建物火災全焼件数	件	1	1	1		0		

事業名	防災基盤整備事業						解決した課題	消防積載車及び小型動力ポンプの購入により地域の消防力向上に繋がった。
事業概要	消防車両、小型ポンプ更新、防火水槽の設置						残された課題	消防施設の計画的な更新。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		15,158			今後の施策展開の方向性	消防施設の計画的な更新及び小型動力ポンプは計画的な更新を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
建物火災全焼件数	件	1	1	1		0		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	B
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	5	地域防災力の向上	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・「自主防災組織」設立・機能強化、地域防災リーダー育成の取組支援
想定する事業の成果	・防災指導員や防災士連絡協議会との連携による、各地域の「自主防災組織」の立ち上げや地域防災リーダーの人材育成 ・日常における地域のつながりが災害時の円滑な活動、避難支援等に結ばれることから、地域ごとの避難訓練や福祉・教育等と連携した地域のつながりを形成する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	災害対策事業	自主防災組織への活動支援補助金、防災士連絡協議会の運営補助。新たな防災士を養成するための講座の実施。	4,296	防災交通課	B	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		B
合計点数	0	75	0	0	75	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	災害対策事業						解決した課題	地域住民の防災意識の向上及び新たな防災士の養成。
事業概要	自主防災組織への活動支援補助金、防災士連絡協議会の運営補助。新たな防災士を養成するための講座の実施。						残された課題	自主防災組織の設立のない地区に対し、自主防災組織の設立を促し、地域の防災力向上を推進する。また、地区防災計画の作成を更に推進していく必要がある。
担当課	防災交通課	R6事業費 (千円)		4,296 千円			今後の施策展開の方向性	地域防災力の一層の強化を図る。また、地区防災計画については、未作成地域への支援を行うとともに作成済み地域での見直し等を行う。さらに、災害想定地域における避難対策の充実を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
自主防災組織率	%	69	70	70		80		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」「つながり」と“安心”の持てるまち	施策評価 A
基本施策	1	まちづくり参画と行政との連携	
施策の体系(柱)	1	町民と行政の連携推進に向けた情報発信	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの積極的な情報公開、事業過程の「見える化」推進 ・多様な媒体・手法による分かりやすい情報発信、まちづくり参加促進策 ・町民の声を生かすための取組実施、内容・発信の改善 ・課題解決や新たな価値創出に向けた協定の締結拡大 ・各種協議会などへの「当事者」選出推進 ・町議会でのICTを活用した議事進行、議会の見える化、充実・効率化 ・町民と議会が認識共有のための情報発信や理解促進への取組強化
想定する事業の成果	・県内の大学や企業等と連携・交流による行政サービスの向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	包括連携協定事業	各団体と協定を結び、地域課題についての調査・研究において相互協力を行う。	0	総合政策課	B	
2	自衛隊家族会補助事業	自衛隊家族会に対し補助金を交付して運営を支援することで、町、自衛隊、同会が一体となって自衛官募集業務に取り組むよう体制を整える。	80	総務課	A	●
3	広報発行事業	行政情報の提供のために毎月1回、町の情報紙「広報おおづ」を発行。	10,675	総合政策課	A	●
4	議会運営事業	定例会、臨時会、各常任委員会、各特別委員会などの町議会活動の運営及び議会の活性化や情報発信の取り組み。	93,050	議会事務局	A	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	3	1	0	0	4		A
合計点数	300	75	0	0	375	93.8	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	議会運営事業						解決した課題	区長会役員会及び大津町PTA連絡協議会との意見交換会を実施し、議会活動の情報発信に努めることができた。
事業概要	定例会、臨時会、各常任委員会、各特別委員会などの町議会活動の運営及び議会の活性化や情報発信の取り組み。						残された課題	議会活動だけではなく、議員活動の見える化についての取り組みを検討する必要がある。
担当課	議会事務局	R6事業費 (千円)		93,050			今後の施策展開の方向性	令和7年度設置の議会改革推進特別委員会を中心に、議会・議員活動の見える化による更なる情報発信の強化についての取り組みを検討し実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
傍聴者数	人	125	154	270		200		

事業名	広報発行事業						解決した課題	「広報おおづ」のフルカラー化により、編集作業が短縮化され、業務が効率化された。 ・プレスリリースの推進を図り、全庁の情報発信の意識付け強化を図った。
事業概要	行政情報の提供のために毎月1回、町の情報紙「広報おおづ」を発行。						残された課題	・広報誌、ホームページ、SNSなど情報発信全体の連携検討及び発信の質の向上。編集業務の委託検討。
担当課	総合政策課	R6事業費 (千円)		10,675			今後の施策展開の方向性	・情報のデジタル化、特にスマートフォンでの情報の取得が進んでおり、ホームページを基盤とした、情報発信体制の整備および紙媒体である広報おおづの役割検討を踏まえたリニューアル実施。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
毎月読む割合	%	62.9	62.5	65.5		72		

事業名	自衛隊家族会補助事業						解決した課題	コロナ禍で縮小していた家族会の活動をおおむね元の状態に戻すことができ、入退者数も目標値を達成することができた。
事業概要	自衛隊家族会に対し補助金を交付して運営を支援することで、町、自衛隊、同会が一体となって自衛官募集業務に取り組むよう体制を整える。						残された課題	会員全体として高齢化の傾向にあるため、今後の継続的な体制のあり方や、自衛隊等とのより良い連携体制のあり方も模索する必要がある。
担当課	総務課	R6事業費 (千円)		80			今後の施策展開の方向性	家族会の活動を活発化するためにしっかりと支援していくとともに、引き続き、同会、自衛隊、町に加え、募集相談員とも連携体制を整え、入隊者の確保につなげる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
入隊者数	人	11	4	11		10		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」「つながり」と“安心”の持てるまち	施策評価 B
基本施策	1	まちづくり参画と行政との連携	
施策の体系(柱)	2	地域コミュニティの活性化支援	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支え合う仕組みづくりの在り方検討、推進 ・ 持続可能な地域活動推進に向けた、助成や人材育成支援 ・ 各種支援制度の情報発信・周知促進 ・ 地区担当職員制度を生かした連携、要望や課題抽出による支援充実 ・ 自治会同士の好事例共有化、連携推進・支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の一体感や日常生活での安心感を作り上げ、地域住民が自ら取り組む地域づくりの推進 ・ 次世代の天津町のまちづくりやを担う人材発掘や育成 ・ 地区担当職員及び地域代表職員の配置によって地域と町の協力関係を強化し、地域の共助と活性化を推進

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	東熊本青年会議所助成事業	東熊本青年会議所の活動のうち、地域貢献に関するものに対する補助金を交付し、同団体の活動を通じて、住民と町の連携を推進していく。	140	総務課	B	
2	区長会助成事業	天津町区長会に補助金を交付することで、同会の活動を支援し、地域の共助や活性化を推進するとともに、地域と町の協力関係を強化する。	732	総務課	A	●
3	地域づくり活動支援事業補助金	地域の住民同士の顔が見える関係を築いて、地域の一体感や日常生活での安心感を作り上げるために、地域住民が自ら取り組む地域づくり活動に対して補助金を支援する。	3,026	総合政策課	A	●
4	まちづくり担い手育成事業補助金	次代の天津町のまちづくりの担い手となる人材を育成するために、団体が行う研修等の経費に対し補助金を交付する。	8	総合政策課	B	●
5	元気天津づくり活動事業 （「水水」ポイント）	町民が自発的な意思に基づき、地域社会に貢献する目的を持って行う「元気天津づくり活動」に対し、水水ポイントを付与し、活動を促進する。	946	総合政策課	B	●
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	3	0	0	5		B
合計点数	200	225	0	0	425	85	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域づくり活動支援事業補助金						解決した課題	事業実施団体数は、コロナ禍前と同程度になり、事業の活用によって活動の幅を広げる地域も見られるようになった。
事業概要	地域の住民同士の顔が見える関係を築いて、地域の一体感や日常生活での安心感を作り上げるために、地域住民が自ら取り組む地域づくり活動に対して補助金を支援する。						残された課題	人口の減少や高齢化などにより事業実施が困難である地域もあり、補助制度の活用に地域差が生じている。補助制度のPRを強化し、自主的な地域の取組の促進が必要である。
担当課	総合政策課		R6事業費 (千円)		3,026 千円			今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	
事業実施団体		地区	28	25	29		35	

事業名	元気大津づくり活動事業（「水水」ポイント）						解決した課題	平成３０年度の制度改正以降、実活動人数は増加傾向にある。	
事業概要	町民が自発的な意思に基づき、地域社会に貢献する目的を持って行う「元気大津づくり活動」に対し、水水ポイントを付与し、活動を促進する。						残された課題	活動実績のない登録者への継続確認。	
担当課	総合政策課		R6事業費 （千円）		946 千円			今後の施策展開の方向性	健康ポイント事業や他のボランティア活動補助金との調整を図りながら、デジタル化を進め業務の効率化を図る。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
参加登録者数		人/年	1,289	1,325	1,427		1,500		

事業名	区長会助成事業						解決した課題	県外視察研修及び、庁内での研修会を実施し、地域の課題について区長に学んでいただくことができた。	
事業概要	大津町区長会に補助金を交付することで、同会の活動を支援し、地域の共助や活性化を推進するとともに、地域と町の協力関係を強化する。						残された課題	各地区の役員の成り手不足や区長業務の負担増、地域に増える外国人居住者との関係性など。	
担当課	総務課		R6事業費 (千円)		732 千円			今後の施策展開の方向性	同研修などを通して同会による各地域の課題解決に向けた取り組みを支援し、これからの時代に適応した地域活性化を図っていく。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修回数		回	1	2	2		2		

事業名	まちづくり担い手育成事業補助金						解決した課題	平成30年度の制度開始以来、延べ15件の申請があり人材育成に寄与している。
事業概要	次代の大津町のまちづくりの担い手となる人材を育成するために、団体が行う研修等の経費に対し補助金を交付する。						残された課題	近年の制度利用は、0件か1件となっており、行政区囃託員会議等でも周知しているがあまり活用がされていない状況である。制度内容の見直しやPR方法の検討等の取り組みが必要である。
担当課	総合政策課		R6事業費 (千円)		8		今後の施策展開の方向性	制度の周知を図り、利用しやすい制度となるよう継続して見直しに取り組む。
				千円				
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7		
制度利用申請数		件	0	0	1		5	

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」「つながり」と“安心”の持てるまち	施策評価 A
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	1	効率的・効果的な行財政の運営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画に基づく施設の運営コスト削減や平準化 ・民間資本やノウハウ導入による官民連携推進 ・健全な財政維持に向けた課税・徴収・処分、啓発による税の関心向上
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な視点による公共施設の適正管理や財政需要の増加を踏まえた事業の見直しによる財源の確保 ・指定管理者制度やPFI等を検討し、より効率的な施設運営の実施 ・課税対象者の把握と適正・公平な課税及び滞納者の早期把握による徴収率の向上と厳正な滞納処分

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公共施設等総合管理計画	施設に係る運営コスト削減や改修費平準化を目指し、策定した計画を元に、施設マネジメントの効率化を図る。	4,232	財政課	A	●
2	財産管理費	庁舎、公用車、普通財産等の適正管理を行う。	115,204	財政課	B	
3	町税の徴収事務	賦課された町税（個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税）の徴収率の向上を図るために必要な諸施策（滞納処分業務）を随時実施する。	17,558	税務課	A	●
4	軽自動車税課税事務	地方税法に基づき、賦課期日（4月1日）現在において、町内に主たる定置場のある軽自動車等の所有者又は使用者に対して課税し納税通知書を発送する。	3,342	税務課	A	
5	固定資産税課税事務	地方税法に基づき、賦課期日（1月1日）における固定資産（土地・家屋・償却資産）について、適正な評価を行い賦課し、納税通知書を発送する。	29,798	税務課	A	●
6	個人町民税及び法人町民税課税事務	個人町民税・法人町民税の課税に係る納税通知書・台帳等各種帳票類の作成、納税通知書等の印刷・封入・発送を行う。	28,199	税務課	A	●
7	会計管理事業	大津町各会計及び基金出納事務を行う。	12,935	会計課	A	
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	6	1	0	0	7		A
合計点数	600	75	0	0	675	96.4	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	固定資産税課税事務							解決した課題	令和6年7月に地籍情報システムについて新たに5年間の長期継続契約を結び、滞りなく移行を行うことができた。
事業概要	地方税法に基づき、賦課期日（1月1日）における固定資産（土地・家屋・償却資産）について、適正な評価を行い賦課し、納税通知書を発送する。								残された課題
担当課	税務課		R6事業費 (千円)		29,798			今後の施策展開の方向性	
				千円					
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
収納率(現年分)		%	99.52	99.53	99.53		99.00		

事業名	個人町県民税及び法人町民税課税事務							解決した課題	毎年、行われる税制改正に対応し、申告対応と賦課業務を円滑に行うことができた。
事業概要	個人町県民税・法人町民税の課税に係る納税通知書・台帳等各種帳票類の作成、納税通知書等の印刷・封入・発送を行う。							残された課題	毎年、実施される税制改正への対応と申告時期から賦課時期にかかる急激な事務量の負担を標準化システムへの対応とともに業務量軽減の手段を検討していく必要がある。
担当課	税務課		R6事業費 (千円)		28,199 千円				今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
収納率(現年分)		%	99.30	99.25	99.27		99.00		

事業名	町税の徴収事務							解決した課題	町税収納率は目標を上回ることができた。
事業概要	賦課された町税（個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税）の徴収率の向上を図るために必要な諸施策（滞納処分業務）を随時実施する。							残された課題	キャッシュレス決済やコンビニ納付等の納税環境が整備される中で、口座振替率が年々減少傾向にある。確実な納期内納付を促進するため、より効果的な口座振替の勧奨や手続きの簡素化を図る必要がある。
担当課	税務課		R6事業費 （千円）		17,558 千円				今後の施策展開の方向性
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
収納率(現年度)		%	99.31	99.30	99.33		99.10		

事業名	公共施設等総合管理計画							解決した課題	公共施設等の土地、建物等の調査を行い、調書の作成を行った
事業概要	施設に係る運営コスト削減や改修費平準化を目指し、策定した計画を元に、施設マネジメントの効率化を図る。							残された課題	個別施設計画を補填し、総合管理計画を再設定する必要がある。
担当課	財政課		R6事業費 (千円)		4,232			今後の施策展開の方向性	総合管理計画を適正な状態に更新し、施設マネジメントの効率化を図る
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
公共施設等総合管理計画の更新			計画見直し	計画改定			計画運用		

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性		
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7			目標値

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」「つながり」と「安心」の持てるまち	施策評価 A
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	2	職員の人材育成・人材確保	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な研修の効果的な実施 ・各種支援制度等の効果的運用による自発的な取組推進 ・人事交流を通じた多面的な人材育成 ・適正な目標設定と人事評価による指導・業務管理合理化 ・希望・適正にも配慮した配置による職員能力の発揮 ・組織力向上に向けた管理職のマネジメント力強化 ・行政課題やサービスを見込んだ職員採用計画に基づいた人材確保
想定する事業の成果	効果的な職員研修の実施、各種研修への参加、人事交流等により職員の人材育成を進めるとともに、有為な人材を採用、確保しながら組織力を向上させることで適正な事務の執行及び住民サービスの向上を図る。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	職員研修事業	人材育成基本方針に基づき、各種職員研修を計画的に開催するとともに自己申告研修や研修機関への派遣等により職員の意識改革や能力向上を図る。	5,006	総務課	A	●
2	会計年度任用職員雇用事業	常勤職員の補助的業務や臨時的な業務を行うために、資格免許職、一般事務職などの会計年度任用職員を募集し、面接試験にて採用（任用）を行う。	104,513	総務課	A	
3	その他の人事秘書事業	職員にかかる健康診断や職員管理関係システム、表彰関係等の費用	22,816	総務課	A	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	3	0	0	0	3		A
合計点数	300	0	0	0	300	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	職員研修事業						解決した課題	人材育成基本方針に基づき、計画的に会計年度任用職員も含めた全職員へ研修を実施した。また、常勤職員に対しては実現力講座やロジカルシンキング研修などテーマを絞って集中的に研修を行った。
事業概要	人材育成基本方針に基づき、各種職員研修を計画的に開催するとともに自己申告研修や研修機関への派遣等により職員の意識改革や能力向上を図る。						残された課題	事務上のミスの減少、若手職員の実務能力の向上、管理職のチェック機能強化などに向けてより力を入れて研修に取り組む必要がある。また、若年層の離職防止等に向けメンター制度研修などにも取り組んでいく。
担当課	総務課	R6事業費 (千円)		5,006 千円			今後の施策展開の方向性	今後も引き続き、人材育成基本方針に基づき、職員研修を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修の参加人数	人	735	1,612	1,904		500		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」「つながり」と「安心」の持てるまち	施策評価 A
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	3	業務効率化とサービスの向上	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力活用、業務効率化、サービス品質向上 ・自治体システム共通化・標準化 ・「自治体DX推進計画」の重点事項への取り組み ・「大津町DX推進計画」の推進 ・地域のデジタル化、使い方研修等による支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体システム標準化・共通化の円滑な移行 ・大津町DX推進計画の推進 ・DXを始めとした業務改善による業務効率化、住民サービスの向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	熊本連携中枢都市圏連携事業	熊本市及び周辺市町村において「熊本連携中枢都市圏」を形成し、事業を連携させながら圏域の活性化を図る。(6事業2,745千円)	各課にて計上	総合政策課	B	
2	DX推進計画推進事業	国の自治体DX推進計画やデジタル田園都市国家構想に基づき、令和4年度に策定した大津町DX推進計画の取組みを推進する。	2,264	総務課	A	●
3	総合行政システム事業	町基幹業務を電算化した「総合行政システム」を運用。事務処理時間の短縮や住民サービス向上に寄与。	174,930	総合政策課	A	
4	地域情報化整備事業	ネットワーク環境をはじめ情報基盤を整備し、業務効率化や情報セキュリティの強化のための基盤を整備する。	47,738	総合政策課	A	
5	コンビニ交付事業	住民票、印鑑証明、税証明書などの各種証明書のコンビニ交付サービス	4,859	住民課	A	
6	住民基本台帳ネットワークシステム整備事業	地方公共団体のネットワーク化による行政事務の効率化	22,058	住民課	A	
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	5	1	0	0	6		A
合計点数	500	75	0	0	575	95.8	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	D X 推進計画推進事業						解決した課題	車型スマホ教室を開催し、デジタルデバインド対策に取り組んだ。DXワーキンググループを開催し、分野別の課題感の共有ができた。
事業概要	国の自治体D X 推進計画やデジタル田園都市国家構想に基づき、令和4年度に策定した大津町D X 推進計画の取組みを推進する。						残された課題	大津町D X 推進計画のアクションプランの進捗管理や計画業務改善に対する機運の醸成。
担当課	総務課	R6事業費 (千円)		2,264 千円			今後の施策展開の方向性	今後の行政需要の多様化や職員不足による負担感の増大を見据え、デジタル等を活用した業務効率化の推進及び職員の意識改革を引き続き行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
-	-	-	-	-		-		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち	B
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	4	広域行政の推進・多様な主体との連携	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的行政課題の改善に向けた連携・協力体制強化 ・「熊本連携中枢都市圏」を通じた圏域の活性化、事業合理化 ・地域課題の解決に向けた、包括連携協定による調査・研究、事業実施
想定する事業の成果	・広域で取り組むことによる、行政サービスの効率性・効果性の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	熊本連携中枢都市圏連携事業（再掲）	熊本市及び周辺市町村において「熊本連携中枢都市圏」を形成し、事業を連携させながら圏域の活性化を図る。 (6事業2,745千円)	各課にて計上	総合政策課	B	
2	包括連携協定事業（再掲）	各団体と協定を結び、地域課題についての調査・研究において相互協力を行う。	0	総合政策課	B	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R6事業費 (千円)		千円				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」「つながり」と「安心」の持てるまち	施策評価
基本施策	3	人権を尊重する地域社会の形成	B
施策の体系(柱)	1	人権が尊重される地域づくり	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会を通じた人権啓発活動推進 ・部落差別解消推進法を踏まえた人権啓発推進、町民への周知徹底 ・インターネットによる人権侵害防止の取組推進 ・人権啓発福祉センターにおける、より多様な人が参加できる活動展開 ・安心・安全・便利に参加できる新たな参加環境づくり ・誰もが尊重される社会の実現に向けた取組推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、職場及び地域など、あらゆる機会を通じた人権啓発活動の実施 ・インターネットによる人権侵害について、学校や地域社会との連携による人権教育の実施 ・誰もが尊重される地域社会の実現に向けた取り組みの実施 ・人権啓発福祉センターや児童館を人権のまちづくりの拠点として地域や世代間交流を深め、広く多くの方に参加いただける活動の実施

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	人権啓発福祉センター運営費	人権啓発福祉センター（隣保館）の運営費	16,437	人権推進課	B	●
2	児童館運営費	人権啓発福祉センター（児童館）の運営費	4,348	人権推進課	B	●
3	人権啓発福祉センター建物改修事業	人権啓発福祉センター（隣保館・児童館）の長寿命化のための改修工事	0	人権推進課	B	
4	人権対策事業	地域や企業、各種団体など対象にした一般向け啓発活動を行う。また、各課等の町職員研修や部落差別等撤廃・人権擁護審議会委員等の会議や活動を通じて人権意識を高め、地域リーダーとしての育成を図る。	1,037	人権推進課	B	●
5	人権教育啓発事業	県や教育委員会等と連携し、学校における児童生徒向けの出前講座やまちづくり懇談会を実施しながら、次世代の人権尊重社会の実現のため、人権教育、啓発活動の推進を図る。	6,993	人権推進課	B	●
6	大津町人権・同和教育推進協議会補助事業	「行政推進」「就学前・学校教育」「社会教育」「進路保障」の4部会で組織され、人権・同和教育推進大会や人権を考えるみんなのつどいを開催し、全町民を対象とした人権教育・啓発活動を推進する。	1,514	人権推進課	B	
7	団体活動助成事業	部落差別をはじめ様々な人権に関する問題が存在する中、行政と連携した啓発活動や人権のまちづくりに向けた人権運動団体に対して助成を行う。	2,529	人権推進課	B	
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	7	0	0	7		B
合計点数	0	525	0	0	525	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	人権啓発福祉センター運営費							解決した課題	福祉の向上や人権啓発での住民交流の拠点施設として、人権問題等の解決のために一人世帯訪問や地域福祉に関する各種事業を実施した。
事業概要	人権啓発福祉センター（隣保館）の運営費							残された課題	来館者の固定化と高齢化の傾向が見られるため、気軽に集える親しみやすい施設を目指す。
担当課	人権推進課		R6事業費 （千円）		16,437			今後の施策展開の方向性	人権問題等の解決のため、各種講座やサークル活動などを実施し、誰もが気軽に利用できる人権啓発の学習、啓発と交流の場として発展・定着させる。
					千円				
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
隣保館来館者数（年間）		人	6,489	7,487	9,856		10,000		

事業名	人権教育啓発事業							解決した課題	集会や人権教育交流支援事業の学習会により、参加者に対する啓発ができた。
事業概要	県や教育委員会等と連携し、学校における児童生徒向けの出前講座やまちづくり懇談会を実施しながら、次世代の人権尊重社会の実現のため、人権教育、啓発活動の推進を図る。							残された課題	研修内容等を検討し、これまで参加が少なかった町民に向けた啓発を実施していく必要がある。
担当課	人権推進課		R6事業費 (千円)		6,993			今後の施策展開の方向性	人権問題の解消に向け、行政と教育が両輪となって問題に取り組んでいく。
				千円					
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
学習会参加者数		人/年	875	991	1031		1,200		

事業名	児童館運営費							解決した課題	利用者によるロコミの広がりや、広報掲載を増やしたことで認知してもらうことができ、来館に繋がった。
事業概要	人権啓発福祉センター（児童館）の運営費							残された課題	町内での認知がまだ足りてないところがあるので、引き続き広報が必要である。また、関連施設と連携していく必要がある。
担当課	人権推進課		R6事業費 （千円）		4,348			今後の施策展開の方向性	世代に応じたイベントを開催し、来館できる機会を増やす。 関連施設と情報を共有する。
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
児童館来館者数（年間）		人	3,908	3,850	5,267		5,300		

事業名	人権対策事業							解決した課題	町職員以外にも、関係機関や団体への人権学習会を実施し、部落差別解消推進法の周知や啓発を行った。
事業概要	地域や企業、各種団体など対象にした一般向け啓発活動を行う。また、各課等の町職員研修や部落差別等撤廃・人権擁護審議会委員等の会議や活動を通じて人権意識を高め、地域リーダーとしての育成を図る。								
担当課	人権推進課		R6事業費 (千円)		1,037			残された課題	頻発する部落差別事象や、啓発事業に否定的な意見を持った人の存在など、今もなお人権課題が残されており、より一層の啓発が必要である。
				千円					
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
人権が尊重されていると感じる町民の割合		%/年	44.2	42.1	46.5		55	今後の施策展開の方向性	部落差別をはじめとする様々な人権問題についての研修会や学習会を重ね、人権問題への理解を深め、人権尊重の住みよいまちづくりを目指す。

事業名	人権啓発福祉センター建物改修事業						解決した課題	令和4～5年度に隣保館を改修（屋根、外壁、機械・電気設備等）し、長寿命化を図った。
事業概要	人権啓発福祉センター（児童館）の長寿命化のための改修事業						残された課題	老朽化に伴う児童館改修工事
担当課	人権推進課	R6事業費 （千円）		0			今後の施策展開の方向性	令和6年度に国の事業採択を得られず工事を延期した。引き続き協議を行い国の事業採択を目指す。
				千円				
目標指標（KPI）		単位	R4	R5	R6	R7		
－		－	－	－	－	<div></div>	－	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」「つながり」と「安心」の持てるまち	施策評価 B
基本施策	3	人権を尊重する地域社会の形成	
施策の体系(柱)	2	男女共同参画の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・性別にかかわらず、個性と能力を発揮できるまちづくりの推進 ・男女共同参画に関する正しい情報に触れ、学ぶ機会の創出 ・あらゆる暴力の防止啓発活動、窓口明確化、相談・連携体制整備構築 ・働く意欲をもつ女性が能力と個性を発揮できるまちの実現に向けた取組 ・仕事と家庭の調和の実現に向けた啓発と環境整備推進
想定する事業の成果	男女が互いに人権を尊重し、「女性」や「男性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる豊かな社会の実現

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R6事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	男女共同参画推進事業	各種研修会や講演会、出前講座等の実施、企業・関係団体との連携、啓発活動団体への支援、男女共同参画審議会の開催、人材バンク登録事業の推進など	1,162	人権推進課	B	●
2	地域リーダー育成事業	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成研修生を募集し、地域や職場などで活躍する人材の育成・発掘	41	人権推進課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	男女共同参画推進事業							解決した課題	男女共同参画審議会委員および新任担当職員が、研修により現在の社会情勢や男女共同参画にかかる法制度や支援事業、推進事例について専門機関から研修を受け、審議・町事業の実施に活かすことができている
事業概要	各種研修会や講演会、出前講座等の実施、企業・関係団体との連携、啓発活動団体への支援、男女共同参画審議会の開催、人材バンク登録事業の推進など							残された課題	研修で得た知識や経験を、審議会在任期間後も活かす場が必要。継続した啓発活動への参加協力や人材バンク登録、各種審議会等への推薦などにより、リーダーとして活躍する場への繋がりが重要である。
担当課	人権推進課		R6事業費 (千円)		41			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修生の参加		人	—	1.0	2.0		2.0		

事業名	地域リーダー育成事業						解決した課題	学校での出前講座でのグループワークや啓発作品コンテスト、各種講座開講など、住民参加型の事業により、住民の身近な視点から男女共同参画の認知度を向上させた。	
事業概要	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成研修生を募集し、地域や職場などで活躍する人材の育成・発掘						残された課題	教育の場での意識啓発、職場の環境整備などが進む一方、女性の政治の場への参加割合の低さや若年女性の地域離れが課題となっている。	
担当課	人権推進課		R6事業費 (千円)		41 千円		今後の施策展開の方向性	根強く残る性別による固定的役割分担意識や慣習を改めるため、より一層、家庭や地域、学校や職場などあらゆる分野で啓発を進めることが必要。 今後も審議会や各種団体と連携しながら、子どもから高齢者まで幅広い世代への交流を通して意識啓発を継続していく。	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7			目標値
「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担意識に同感しない人の割合		%	77.9	76.5	76.5				85.0

事業名							解決した課題		
事業概要							残された課題		
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R6事業費 (千円)				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)		単位	R4	R5	R6	R7	目標値	